



Title	北海道大学農学部附属牧場の維管束植物相
Author(s)	高橋, 英樹; 佐藤, 利幸
Citation	北海道大学農学部牧場研究報告, 18, 33-122
Issue Date	2001-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/48960
Type	departmental bulletin paper
File Information	18_33-122.pdf



北海道大学農学部附属牧場の維管束植物相

高橋 英樹¹⁾・佐藤 利幸²⁾

¹⁾ 北海道大学総合博物館, 札幌市 060-0810・²⁾ 信州大学理学部生物科学科, 松本市, 390-8621

要 旨

高橋英樹・佐藤利幸(1999) 北海道大学農学部附属牧場の維管束植物相, 北大農学部牧場研究報告18: 33-122

日高支庁静内町に位置する北大附属牧場466haからは、これまで249種の維管束植物が報告されていた。今回シダ植物39種、種子植物467種の計506種を確認した。この内、自生種が452種、帰化種(栽培逸出や山地への植林種を含む)が54種であった。形態上の特徴や近縁種との違いについて記述した植物目録と、採取・確認林班、証拠標本を引用した植物標本リストを作成した。

北海道の低地～山麓地帯の地域フロラと比較すると、面積あたりの維管束植物種数は比較的高く平均以上を示している。適度の家畜による攪乱と、森林と牧草地とが隣接して配列されていることによる立地環境の多様さが要因となっていると思われる。また分類構成をみると、特にキク科種数が多いのが目をひき、牧草地など明るい攪乱立地の存在によると思われる。

本地域に特徴的な植物として太平洋型分布をする温帯系植物が挙げられる。このような植物として少なくとも48種が認められ、クリ型分布とされるコゴメウツギ、ミツデカエデ、モミジガサなどは牧場で比較的普通に見られる。また23種の「日本あるいは北海道の絶滅のおそれのある植物」を確認し、このうちフクジュソウ、マルミノウルシの個体数は極めて多い。サクラソウは種としての分布の東限近くにあたり、エゾノジャンシンは日高地方固有種である。以上の温帯系植物や絶滅危惧植物は、附属牧場の生態系の保全・管理上、特段の配慮が必要である。またこれらの種のいくつかは不嗜好植物と推定され、放牧馬による適度な林間放牧が、温帯系植物や絶滅危惧植物の保全にプラスの影響を与えている可能性が示唆される。

キーワード: 静内、維管束植物、植物相、分類構成、地理分布、絶滅危惧種

緒 言

日高地方の植物相としては日高山脈の高山帯やアポイ岳周辺など、高山や特殊岩地帯の植物が注目を集めてきた。このため低地～山麓地帯の植物相に関する報告は比較的少ない(館脇1939a,b,c)。また、北海道における地域フロラ調査は未だ完全でなく、しかも証拠標本を伴わない不完全な報告が多い。本報告は静内町の低地～山麓地帯に位置する附属牧場の維管束植物相を明らかにする事を目的とする。これまで、牧場内の牧草地植物については広瀬ら(1967)、小関ら(1981)、沢田・津田(1983)、沢田ら(1983)、佐藤ら(1970)の記録があるが、森林

も含めた附属牧場全体の植物の記録としては、予報的な牧場の植物目録（辻井 1985、以下「85年目録」と略す）が出されているのみである。今報告は85年目録を改訂し、さらに北海道の他地域の低地フロラとの比較や地理分布型、絶滅危惧種の生育状況などの解析を通して、本牧場の維管束植物相の特徴を明らかにすることを目的とする。

調査場所および方法

牧場は日高山脈の南西山麓にあたり、笹山（標高806メートル）の南斜面の標高約100～360メートルに位置している。敷地中央をケパウ川が流れ、敷地の東側境界を炭山川が流れている。2月の平均気温が約-5℃、8月が約20℃である。海岸から16キロメートル内陸に入っているため海岸に近い静内市街に較べると気温の日および年較差が大きく、特に夜間気温の低下が著しい（高橋ら 1985）。本地域における積雪期間は100日以下と短く、深雪は稀である。同じ日高支庁の浦河の記録では積雪日数は年平均84日、10cm以上の積雪日数は年平均18日に過ぎない（1961年から1990年までの平均値：国立天文台 1994）。このため積雪による冬期間の植物の保護は不完全で、いわゆる太平洋型分布をする温帯系植物が多い。

調査対象としたのは附属牧場466haである。その内、林間放牧地は327haを占め、主体は落葉広葉樹林であるが一部植林された小規模な針葉樹林がある。それ以外は牧草地や採草地、建物とその周辺の攪乱地などである。調査日時と踏査林班は表1にまとめた。牧場内は林間放牧

表1 調査年月日と調査林班

年	月日（調査者 ¹⁾ /調査林班 ²⁾
1994	7月20日 (HT/02-06); 9月29日 (HT/00,07,10,11)
1995	5月24-25日 (HT & TS/00,02,05); 7月6-7日 (HT/00,02,08,12); 8月3日 (TS/07,09); 9月2-3日 (TS/01,06); 10月29日 (HT/07)
1996	5月10日 (HT/01,02,04); 7月13日 (HT/00,01,02,04); 10月18日 (HT/00,03)
1997	4月25日 (HT/02,03,05,12); 5月16-17日 (HT/E9.02,04,06,11); 6月20日 (HT/00,02,03,04,05,07); 7月4-5日 (HT/3-4ku,10); 10月1-2日 (HT/00,S1-3,05)
1998	5月1日 (HT/09,10,11); 5月17日 (HT/00,08); 6月9-10日 (HT/00,E6-8,E9,11ku,12ku,04,06,11); 7月1日 (HT/00,12); 7月16-17日 (HT/00,02,03,12); 8月14日 (HT/00,08,10,11); 8月27-28日 (HT/00,04,07); 10月4日 (HT/00,S2,02,06); 10月11日 (HT/00,07)
1999	5月2日 (HT/04,05); 6月16日 (HT/00,12ku,02,05,07)

¹⁾ HT- 高橋英樹, TS- 佐藤利幸。

²⁾ 林班の場所については図1を参照。

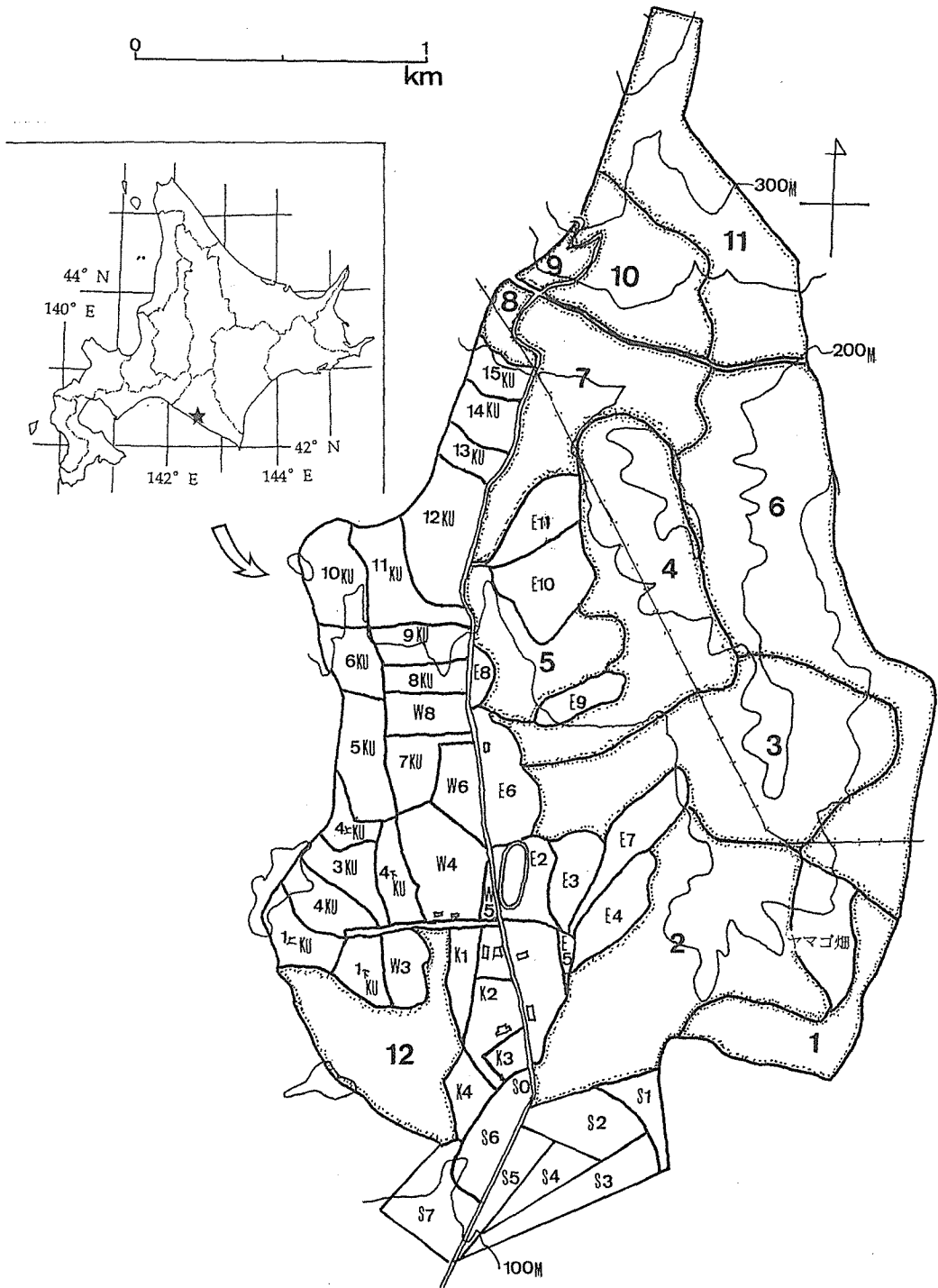


図1 静内町北海道大学農学部附属牧場林班図

地を林班1から12までに分け、それ以外は00林班としてくくり必要に応じてさらに細分した(図1)。調査は5年間おこなったが、1994～1996年は季節、場所とも限られた調査だった。97、98年には4月下旬から10月中旬まで網羅し、99年は6月まで補足調査をおこなった。調査日数は延べ35日にのぼる。それでもまだすべての地域を踏査できないが、ほぼ現存する種数の95%近くは確認したと思われる。

植物目録を作るにあたっては証拠標本があるもののみを採用した。Appendixには標本リストを載せ、確認林班、標本番号を引用した。確認した林班数や標本数は牧場での個体数を間接的に反映したものと言えるが、林班の数字がないからといって当該林班に生育しないことは意味しない。

結果および考察

植物種の分類構成について

85年目録では附属牧場の維管束植物として249種が報告された。今回の報告では506種が記録できたので種数はほぼ2倍に増えた。面積あたりの維管束植物種数を、北海道各地の低地～山麓地帯の地域フロラのうち比較的調査が進んでいる、函館山、野幌原始林、愛別町石垣山、ユルリ・モユルリ島と比較したのが表2である。ほぼ同じ面積の道央愛別町石垣山より多い。これは石垣山に比べ、牧場においては落葉樹林と人工的な草地とのモザイク的な配列による多様

表2 北海道における低地地域フロラの比較

地域	面積 (ha)	標高 (m)	種数*	主な植生
函館山 ¹⁾	c. 330	0-333	587	落葉広葉樹林
野幌森林公園 ²⁾	3,400	30- 90	677	針広混交林
愛別町石垣山 ³⁾	c. 450	270-525	397	針広混交林
ユルリ・モユルリ島 ⁴⁾	205	0- 43	299	湿草原
静内町附属牧場 ⁵⁾	466	110-360	504	落葉広葉樹林と 草地

* 種内分類群と雑種は除く。

¹⁾ 菅原・小松(1958)、²⁾ 村野(1994)、³⁾ 西川・吉田(1985)、⁴⁾ 高橋ら(1996)、⁵⁾ 本研究。

な生育立地が見られることを反映していると思われる。函館山は北日本でもフロラが豊富な場所として知られており、これよりは劣るものの、牧場の面積当りの植物種数は北海道の平均以上であると言える。

植物の分類構成の特徴を大まかに比較するため、種子植物／シダ植物、キク科／ラン科の種数を比較してみた（表3）。前者の比率はほぼ函館山、野幌と同じで、種子植物のおよそ10分の1がシダ植物という関係になっている。なお愛別町石垣山は日本全体の値を越えるほどシダ植物が豊富な場所であり種子植物／シダ植物比は小さく、ユルリ・モユルリ島は寒冷湿地という立地環境・植生を反映してシダ植物が極端に少ないため比率は大きくなっている。一方、牧場のキク科／ラン科種数比の値は、比較したいいずれの地域よりも高い値を示している。特にキ

表3 北海道における低地地域フロラの種子植物／シダ植物およびキク科／ラン科種数比

地域	種子植物／シダ植物	キク科／ラン科
函館山	535/52=10.3	52/14=3.7
野幌森林公園	627/50=12.5	67/25=2.7
愛別町石垣山	346/51= 6.8	40/10=4.0
ユルリ・モユルリ島	288/11=26.2	39/12=3.2
静内町附属牧場	465/39=11.9	57/12=4.8
日本全体	4040/415= 9.7	359/168=2.1

表4 北海道の低地地域フロラにおける種子植物の優占科の種数

日本全体	函館山	野幌	愛別町石垣山	ユルリ島	静内町附属牧場
1 キク ¹⁾ 359(8.9 ²⁾)	キク 52(9.7)	キク 67(10.7)	キク 40(11.6)	キク 39(13.5)	キク 57(12.3)
2 イネ 347(8.6)	イネ 51(9.5)	イネ 58(9.3)	イネ 32(9.2)	マメ 29(10.1)	イネ 44(9.5)
3 ヲツリタ ²⁾ 322(8.0)	ユリ 39(7.3)	ヲツリタ ²⁾ 40(6.4)	バラ 18(5.2)	ヲツリタ ²⁾ 24(8.3)	ヲツリタ ²⁾ 28(6.0)
4 バラ 177(4.4)	バラ 37(6.9)	バラ 32(5.1)	ヲツリタ ²⁾ 18(5.2)	バラ 18(6.2)	バラ 26(5.6)
5 ラン 168(4.2)	マメ 19(3.6)	タデ 28(4.5)	キンボ ²⁾ ヲツ 14(4.0)	キンボ ²⁾ ヲツ 12(4.2)	ユリ 26(5.6)
	(34.1)	(37.0)	(36.0)	(35.2)	(42.3)
6 ユリ 168(4.2)	セリ 19(3.6)	ラン 25(4.0)	ユリ 13(3.8)	セリ 12(4.2)	シン 17(3.7)
7 キンボ ²⁾ ヲツ 146(3.6)	シン 18(3.4)	ユリ 24(3.8)	タデ 12(3.5)	ユリ 12(4.2)	タデ 16(3.4)
8 マメ 119(2.9)	タデ 16(3.0)	マメ 23(3.7)	スキ/シタ 11(3.2)	ラン 12(4.2)	セリ 14(3.0)
9 ゴ ²⁾ マノハ ²⁾ ヲツ 93(2.3)	ヲツ ²⁾ ショ 16(3.0)	キンボ ²⁾ ヲツ 18(2.9)	ヲツ ²⁾ ショ 10(2.9)	タデ 9(3.1)	キンボ ²⁾ ヲツ 13(2.8)
10 ツツジ 91(2.3)	ヲツリタ ²⁾ ヲツ 15(2.8)	シン 18(2.9)	シン 10(2.9)	マメ 9(3.1)	ラン 12(2.6)
種数総計 4040	535	627	346	288	465

¹⁾ 科名

²⁾ パーセント

ク科の種数が多いことが特徴であり、牧草地などの明るい草原や攪乱地の存在が大きな影響を与えているものと思われる。

種子植物の上位10科を比較したのが表4である。日本全体では10位以内に入る大きな科のラン科、ゴマノハグサ科、ツツジ科などが、北海道の地域フロラにおいては10位以内に入らなかったり10位以内でもより低い位置を占めることが特徴である。牧場の上位10位以内の科で、日本の上位10位以内に入らないものとしては、シソ科、タデ科、セリ科が挙げられるが、同様の事は函館山、野幌、石垣山などでも認められるので、これらの科の種数が日本の平均に比べて相対的に多いのは、牧場だけの特異的な傾向ではなく北海道全体の傾向と思われる。一方、牧場においては上位5位以内の科への種数の集中度が高く、ユルリ・モユルリ島のような特殊で単純な立地環境での高い値に次いでいる。これはキク科種数の高さが反映された結果で、ここでも牧草地などの明るい草原環境が牧場全体としてみた場合の植物の種構成に影響を与えていることを示している。

全体の506種中、帰化植物（栽培逸出や山地への植林種を含む）は54種を占め、帰化率は10.7%となる。北海道全体の帰化率が10～13%と言われる（森田 1981）ので、牧場全体としてみれば帰化率は北海道の平均的な値である。今回の調査で、牧草地（東9）内に、これまで日本からは報告（太刀掛 1998）のない帰化植物を見いだした。問題の種は釧路市の滝田謙譲氏により、スベリヒユ科の *Montia linearis* (Doug.) Greene と同定され、マキバナマハコベの新称が与えられた。

地理分布について

渡辺・大木（1960）、館脇（1960）、伊藤（1981）、佐藤（1987）、植村・武田（1987）らにより北海道における温帯系植物の分布類型が論議されてきた。いずれも種の水平分布パターンをいくつかに類型化するものである。日高地方は冬の少雪により日本海側とは対照的な太平洋型分布の種が生育する地域となっている。本地域で、冬期の多雪に適応した常緑の灌木類（ハイイヌガヤ、ハイイヌツゲ、エゾユズリハなど）が欠落しているのは、このことを反映している。また樹幹上に着生するシダ植物（オシャグジデンダ、イワオモダカなど）が多いことは、本地域の夏期の空中湿度が高い事を示唆している。

附属牧場で見られる太平洋型分布をする温帯系植物については表5にまとめた。多くの種は既文献の整理によるものだが、今回新たに北海道の分布情報を再整理し、推定した種も含めた。ここでは東北地方から日高地方まで分布するものをクリ型分布（この中で北海道西南部の渡島半島と日高地方とに不連続に分布するものをモミジガサ亜型、日高地方のみに飛んで分布するものをコゴメウツギ亜型として分ける）として17種認め、日高地方を越え太平洋側を道東まで分布するものをアカシデ型分布としてまとめ31種を認めた。クリ型分布をするコゴメウツギ、ミツデカエデ、モミジガサが牧場で比較的普通に見られることは特記される。

表5 附属牧場に見られる温帯系植物の分布型

[分布型] 番号.種名 (文献)
[クリ型] 59.クリ (2,3,4), 144.ヤマネコノメソウ (2) **, 155.ヘビイチゴ (3,4), 177.コゴメウツギ (1,2,3,4,5) *, 193.サンショウ (1,2,3,4,5) **, 197.ミツデカエデ (1,2,5) **, 200.クロビイタヤ (2,4) *, 221.ヒナスミレ (2), 255.カノツメソウ (5) **, 266.サクラソウ (1,2,3,4) *, 278.オオカモメヅル (1), 289.ムラサキシキブ (1,2,5) **, 291.クサギ (1,3,4), 342.モミジガサ (1,3,4,5) **, 346.オオガングビソウ (1) *, 390.ヒメアマナ (!), 401.ツルボ (1). [アカシデ型] 17.イワイタチシダ (3,4), 28.ヘビノネゴザ (5), 39.イワオモダカ (3,4,5), 46.ネコヤナギ (3), 48.イヌコリヤナギ (3,4), 57.アカシデ (2,3,4,5), 62.コナラ (3,5), 130.ムラサキケマン (3,4), 164.カマツカ (1,2,3,4), 169.カスミザクラ (3,4), 224.ヒカゲスミレ (!), 254.タニミツバ (!), 260.ヤマツツジ (2,3,4), 261.ナツハゼ (3,4), 267.ハクウンボク (3), 290.カリガネソウ (3,4), 292.ジャコウソウ (!), 312.オオヒナノウスツボ (!), 319.ガマズミ (3,4,5), 351.オオノアザミ (1), 396.ホソバノアマナ (!), 408.シュロソウ (5), 441.アシボソ (!), 455.ミヤコザサ (5), 459.ヒロハノハネガヤ (!), 460.ハネガヤ (!), 479.ハタベスゲ (!), 481.ゴウソ (!), 485.サップロスゲ (!), 486.シラコスゲ (!), 488.タガネソウ (5).

* コゴメウツギ亜型: 渡島半島では分布が未確認。

** モミジガサ亜型: 渡島半島と日高地方に不連続分布する。

(!)印がある種は、本研究で新たに認めたもの。その他は文献で既に指摘されており文献は括弧内に引用した。

(1) 館脇(1939a)、(2) 館脇(1960)、(3) 渡辺・大木(1960)、(4) 伊藤(1981)、(5) 植村・武田(1987)。

その地域に分布し存在することと逆に、特定の種が欠落する事も考えられる。既に述べたように北海道日本海側の多雪地帯に適応した日本海分布の温帯系植物は本地域に認められない。さらに日高地方には帰化植物のブタナやヘラオオバコが少ないことが指摘されており、今回の牧場調査でもこれらの種は確認できなかった。帰化植物の道内分布パターンについても、自生植物と同様に今後検討する必要がある。

絶滅危惧植物、貴重種の保全

高橋（1997）は、牧場における広義の「絶滅危惧植物」の現状と保全について予報的に報告した。今回は2000年に環境庁より発表されたレッドデータブック（環境庁自然保護局 2000）に掲載されている種を「日本の絶滅のおそれのある植物」として、北海道のレッドリスト（北海道 2000）に掲載されている種を「北海道の絶滅のおそれのある種」として改めてまとめた（表6）。その結果、牧場内には「日本の絶滅のおそれのある種」が16種、「北海道の絶滅のおそれのある種」が14種生育していることが分かった。両リストでの重複を整理すると、計23種の「日本あるいは北海道の絶滅のおそれのある種」が牧場に生育している事になる。このうち牧場内で個体数が多いマルミノウルシ、フクジュソウの多年草は動物にとっての不嗜好植物（表7）ともなっている。このことは、牧場においては絶滅危惧植物の保全に馬の林間放牧が

表6 附属牧場に生育する絶滅のおそれのある植物

ランク* 番号.種名	
日本：	
I 類	114.シコタンキンボウゲ, 191.マルミノウルシ, 200.クロビイタヤ, 274.ホソバノツルリンドウ, 306.エゾナミキ, 390.ヒメアマナ.
II 類	92.タチハコベ, 108.フクジュソウ, 124.ヤマシャクヤク, 136.エゾノジャニンジン, 219.オオバタチツボスミレ, 266.サクラソウ, 287.エゾノハナシノブ, 490.エゾハリスゲ, 495.ユウシュンラン.
北海道：	
絶滅危惧	495.ユウシュンラン.
絶滅危急	108.フクジュソウ, 119.シラネアオイ, 191.マルミノウルシ, 265.クリンソウ, 266.サクラソウ, 390.ヒメアマナ.
希少	123.オクエゾサイシン, 124.ヤマシャクヤク, 144.ヤマネコノメソウ, 287. エゾノハナシノブ, 315.キヨスミウツボ, 480.ヤガミスゲ.
留意	389.カタクリ.

* ランクは日本が環境庁自然保護局（2000）、北海道が北海道（2000）に依った。

上記の種に加え、シラオイエンレイソウがあり、IA にランクされている。しかし、附属牧場のシラオイエンレイソウは両親種と混生しており、3倍体の雑種と推定されるので除いた。

表7 附属牧場において比較的普通に生育する植物が示す放牧馬の採食に対する戦略

〔戦略〕 番号.種名

〔化学的防衛〕 29.イッポンワラビ(!), 32.ミヤマシケシダ(!), 108.フクジュソウ(!), 116.キツネノボタン, 121.ヒトリシズカ, 122.フタリシズカ, 182.イヌエンジュ(!), 191.マルミノウルシ(!), 265.クリンソウ, 266.サクラソウ(!), 290.カリガネソウ, 291.クサギ, 304.ヤマハッカ(!), 316.ハエドクソウ, 344-347.ヤブタバコ属, 372.メナモミ(!), 385.オオウバユリ, 389.カタクリ, 464.ザゼンソウ.

〔物理的防衛〕 64.カラハナソウ(!), 67.ムカゴイラクサ(!), 82.ミゾソバ(!), 153.キンミズヒキ(!), 171-173.キイチゴ属, 193.サンショウ, 237.ケヤマウコギ(!), 241.タラノキ, 283.オオバノヤエムグラ(!), 349-353.アザミ属.

(!)印がついている種は本研究で新たに推定されたもの。他は既に高槻(1989)によりニホンジカの不嗜好植物として指摘されている。

プラスに働いている可能性を示唆する。自生地の適度の攪乱が絶滅危惧植物の保全にプラスに働く例は、野火や放牧馬による海岸草地、季節的な水深の変動による水田生態系、季節的な氾濫を伴う河畔植生などで報告されている。家畜の林間放牧による適度な攪乱は、ササの繁茂を抑えることで多数の林床植物の生育を促し、選択的な採食は、他地域では他種に抑圧される希少種が牧場内では繁茂する結果を生み出している可能性がある。本牧場のようなササ群落を林床にもつ林地に放牧が行われた場合、放牧圧が適度であれば植物の種類数はいったん著しく増加することが既に指摘されている(辻井 1985)。

絶滅の危険性から測られる絶滅危惧という尺度以外にも、植物地理学的な観点から、地域の特徴を表す植物を貴重種あるいは着目すべき種として選定しうる。本地域では、既に表5で示した太平洋型分布をする温帯系植物のクリ型分布種、アカシデ型分布種が、このような植物地理学的な観点からの貴重種として認められる。

日高地方に位置する附属牧場の生態系を長期的に保全・管理する場合には、以上の太平洋型分布をする温帯系植物48種、「日本あるいは北海道の絶滅のおそれのある植物」23種の消長について、特段に配慮する必要がある。

放牧家畜による採食行動と植物の反応

古く館脇(1939c)は放牧馬の不食によるスズランの増殖にふれている。附属牧場内の牧草

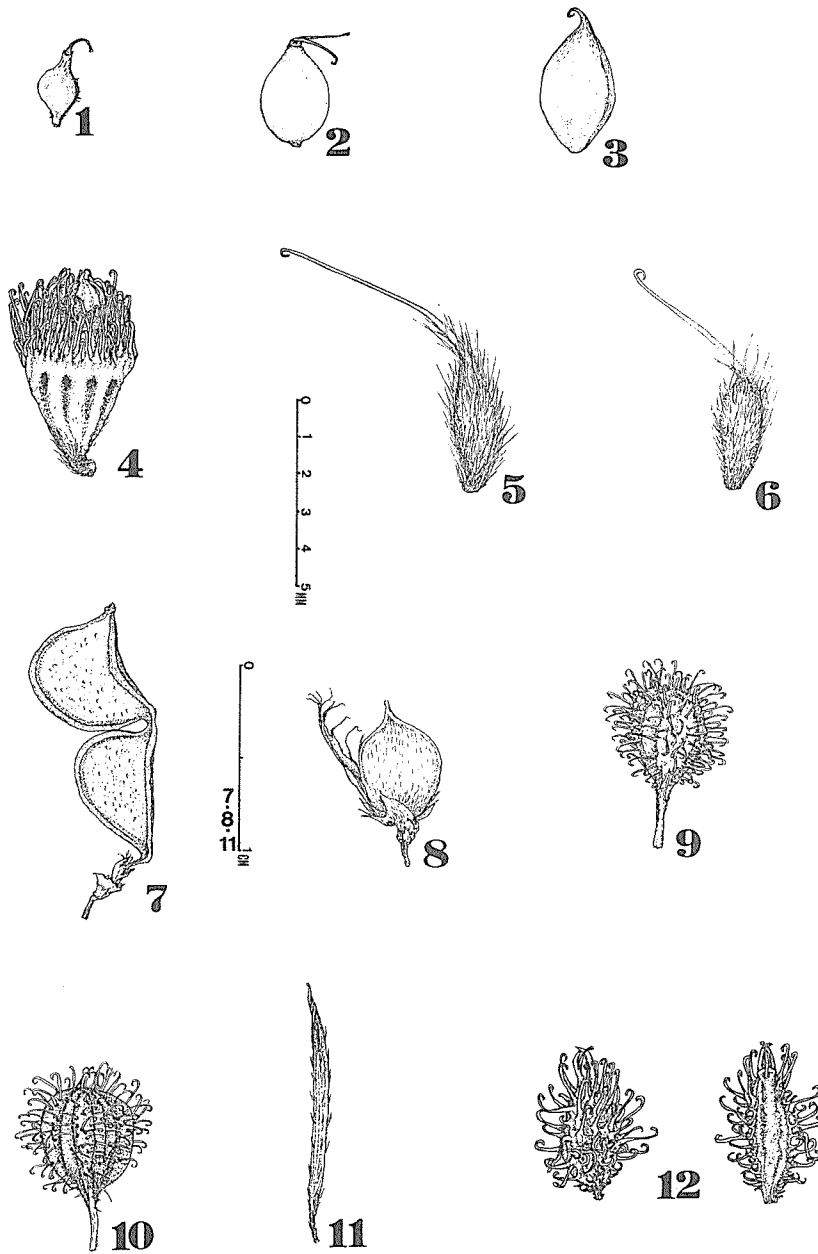


図2 牧場内に見られる付着動物散布種子・果実 (1)

1. クサコアカソ (イラクサ科、*Takahashi 17610*) . 2. ミズヒキ (タデ科、*Takahashi 17636*) . 3. キツネノボタン (キンポウゲ科、*Takahashi et al. 22349*) . 4. キンミズヒキ (バラ科、*Takahashi et al. 22340*) . 5. オオダイコンソウ (バラ科、*Takahashi 5229*) . 6. ダイコンソウ (バラ科、*Takahashi 17743*) . 7. ヤブハギ (マメ科、*Takahashi 17638*) . 8. ヤマハギ (マメ科、*Takahashi 17687*) . 9. タニタデ (アカバナ科、*Takahashi 17694*) . 10. ミズタマソウ (アカバナ科、*Takahashi 25733*) . 11. ヤブニンジン (セリ科、*Takashima s.n.*) . 12. ウマノミツバ (セリ科、*Takahashi et al. 22404*) .

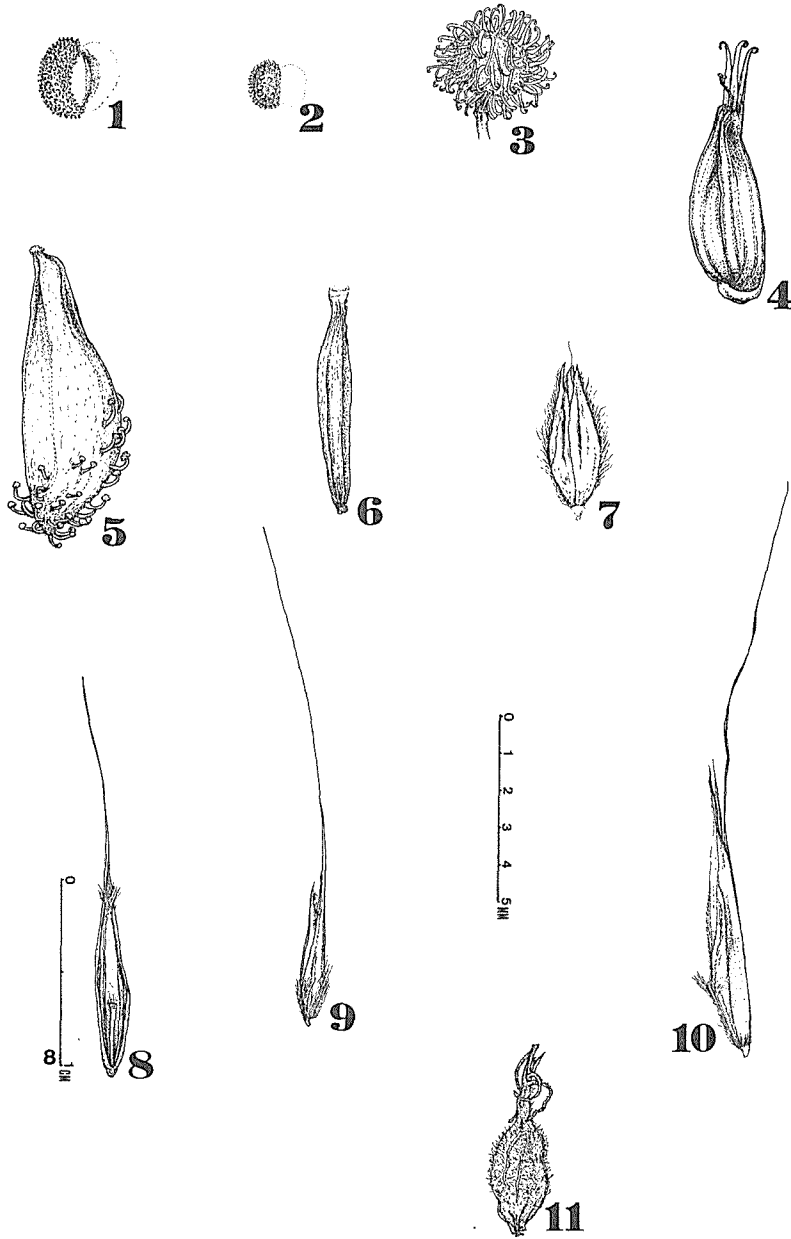


図3 牧場内に見られる付着動物散布種子・果実 (2)

1. キクムグラ (アカネ科, *Takahashi 18146*) . 2. オオバノヤエムグラ (アカネ科, *Takahashi et al. 25839*) . 3. クルマムグラ (アカネ科, *Takahashi 20466*) . 4. ハエドクソウ (ハエドクソウ科, *Takahashi et al. 22427*) . 5. ノブキ (キク科, *Takahashi et al. 22372*) . 6. オオガンクビソウ (キク科, *Takahashi 22654*) . 7. オオスズメノテッポウ (イネ科, *Takahashi & Sato 17860*) . 8. キツネガヤ (イネ科, *Takahashi 25708*) . 9. ミヤマネズミガヤ (イネ科, *Takahashi 17734*) . 10. カニツリグサ (イネ科, *Takahashi 20484*) . 11. ビロードスゲ (カヤツリグサ科, *Takahashi et al. 24841*) .

地での観察によると（佐藤ら（1970）、小関ら（1981））、放牧牛の嗜好性の悪い特殊な野草としてクサソテツ、カリガネソウ、キンミズヒキが挙げられている。

ここでは、牧場内で比較的多く見られる不嗜好植物について、高槻（1989）がリストしたニホンジカの不嗜好植物を元にし、2次代謝産物の有無や有毒植物の記録から推定した新たな種類を加えて、放牧馬の採食に対する植物側の戦略として再整理した（表7）。しかし稲葉ら（1998）の野外観察によると放牧馬による採食率ではハエドクソウが草本類では6番目と高いことが示されている。今後、植物の化学成分の分析、成分の季節的な変化などの研究展開が必要である。

また牧場内の普通種には動物散布、特に付着動物散布（中西 1994）される種子・果実（図2、3）を持つ種が多い事も特記される。このような種の多くが一般に「不嗜好植物」である点についても、今後詳細な検討が必要である。一般に、付着動物散布では被食動物散布とちがって、散布者である動物になんら報酬を与えず植物が一方的に利益を得ている（中西 1994）と言われる。しかし家畜にとっての「不嗜好植物」であれば、動物による種子散布は大変効率の悪いものになってしまう。「不嗜好」をもたらしている化学的・物理的戦略は植物の生育期間を通して変化し、特に種子散布時の秋にはこれらの戦略の効率が低下している可能性がある。動物－植物間の相互関係の定量的な研究は今後の大きな課題である。

謝 辞

牧場の前専任教官近藤誠司助教授、現専任教官秦寛助教授には調査に際して特別の配慮を頂いた。牧場の大学院生稲葉弘之君、植物園の大学院生内田暁友君、釧路市の植物研究家滝田謙譲氏からは貴重な植物情報と標本を提供して頂いた。特に滝田氏には、植物の同定において貴重な助言を頂いた。また札幌市の武田ハツさんには種子・果実の図を描いて頂いた。記して感謝する。

文 献

- 広瀬可恒・小竹森訓央・下飯沢隆・河野義勇・橋本吉雄、牧草を主体とした乳用雄小牛の育成・肥育に関する研究 第1報 ホルスタイン去勢牛による放牧地の簡易造成。北大・牧場研究報告, 3: 23-45, 1967.
- 北海道（編）、北海道レッドリスト（北海道の絶滅のおそれのある野生生物リスト）。北海道環境生活部、札幌。
- 稲葉弘之・河合正人・植村滋・秦寛・近藤誠司・大久保正彦、北海道和種馬の夏季林間放牧における採食植物種。北大農学部演習林研報, 55: 18-30, 1998.
- 伊藤浩司、北海道の高山植物と山草。誠文堂新光社、東京、1981.
- 環境庁自然保護局（編）、改訂日本の絶滅のおそれのある野生生物植物Ⅰ（維管束植物）。自然環境研究センター、東京、2000.
- 勝山輝男、日本産アオスゲ類の再検討。神奈川県立博物館研究報告自然科学, (22): 53-67, 1993.
- 国立天文台（編）、理科年表。丸善、東京、1994.
- 小関忠雄・野名辰二・大久保正彦・関根純二郎・朝日田康司、地形および放牧強度が傾斜草地の生産性に及ぼす影響。北大・牧場研究報告, 10: 53-73, 1981.

- 森田弘彦, 北海道における帰化雑草の特徴と防除上の問題点. 雑草研究, 26: 200-214, 1981.
- 村野紀雄, 野幌森林公園における高等植物出現種について. 北海道環境科学研究センター所報, (21): 1-34, 1994.
- 中西弘樹, 種子ひろがる — 種子散布の生態学. 平凡社, 東京, 1994.
- 西川恒彦・吉田正弘, 北海道上川郡愛別町石垣山の植物相. 生物教材, (19・20): 11-34, 1985.
- Ohashi, H., A systematic enumeration of Japanese *Salix* (Salicaceae). J.Jpn. Bot., 75: 1-41, 2000.
- 佐藤忠昭・小竹森訓央・広瀬可恒, 牧草を主体とした乳用雄子牛の育成・肥育に関する研究 第7報 踏耕法改良草地植生の経年推移. 北大・牧場研究報告, 5: 36-46, 1970.
- 佐藤利幸, ブナ北限域におけるシダフロラ特性—北海道におけるシダ植物の出現頻度・水平分布・垂直分布にもとづく比較定量—. 中西哲博士追悼植物生態・分類論文集, 271-289, 1987.
- 沢田 均・平野繁・島本義也・津田周弥, 放牧草地における近接した植物群落の構造—北海道大学附属牧場の事例. 北大・牧場研究報告, 11: 17-28, 1983.
- 沢田 均・津田周弥, 放牧草地における埋土種子の変異—北海道大学附属牧場の事例. 北大・牧場研究報告, 11: 29-38, 1983.
- 菅原繁蔵・小松泰造, 函館山植物誌. 市立函館図書館, 函館, 1958.
- 太刀掛優, 帰化植物. 比婆科学教育振興会, 庄原, 1998.
- 高橋英樹, 北大農学部附属牧場の林間放牧地における絶滅危惧植物. 北海道の絶滅危惧植物の現状, 2: 48-51, 1997.
- 高橋英樹・笈田一子・高橋美智子・世那覇モト子, ユルリ島のフロラ(予報)と絶滅危惧植物の現状. 北海道の絶滅危惧植物の現状—道東を中心として, 45-64, 1996.
- 高橋英紀・谷宏・高木亮司, 北海道大学農学部附属牧場とその周辺の気候. 北大・牧場研究報告, 12: 33-43, 1985.
- 高槻成紀, 植物および群落に及ぼすシカの影響. 日生態会誌, 39: 67-80, 1989.
- 館脇 操, 日高新冠の植物. 御料林, (128): 33-39, 1939a.
- 館脇 操, 日高新冠の森林植物 1. 御料林, (138): 14-34, 1939b.
- 館脇 操, 新冠の森林植物 2. 御料林, (139): 37-53, 1939c.
- 館脇 操, 北海道植物の分布経路. 北陸の植物, 8: 43-52, 1960.
- 辻井達一, 北海道大学農学部附属牧場の牧野林植生とその遷移(予報). 北大・牧場研究報告, 12: 45-66, 1985.
- 植村慈・武田義明, 北海道の温帯植物の分布について. 中西哲博士追悼植物生態・分類論文集, 259-269, 1987.
- 渡辺定元・大木正夫, 東北海道における温帯要素について. 北陸の植物, 8: 97-101, 1960.

Vascular Plants of Livestock Farm of Hokkaido University, Shizunai, Hidaka Subprefecture, Hokkaido

Hideki Takahashi¹⁾, Toshiyuki Sato²⁾

¹⁾ The Hokkaido University Museum, Sapporo, 060-0810 Japan

²⁾ Biological Institute, Faculty of Science, Shinshu University, Matsumoto,

390-8621 Japan

Abstract

Livestock Farm of Hokkaido University is located at the southwestern foot of the Hidaka Mountains, and it stretches from 100m to 360m above sea level. The Farm has

an area of about 466ha; much of its area (327ha) is covered with deciduous broad-leaved forests, and the remainder is covered with pastures, meadows, and so on. Descriptive manual of vascular plants of the Farm which is prepared here, includes essential synonymy, notes on habitat, frequency and local distribution, taxonomic commentary, phenology, and as appendices; list of the specimens preserved; index to botanical and vernacular names.

There are 39 pteridophyte species and 467 species of seed plants found in the Farm, and thus the total of vascular plants amounts to 506 species. Among them 452 plant species are native and 54 species are naturalized in a broad sense. Plants of this area are comparatively rich in species numbers per unit area among several lowland regional floras in Hokkaido. This is probably affected by a wide variety of habitats from natural forests to pastures and meadows in the Farm.

Temperate plants which have the Pacific Ocean-type distribution characterize the Farm flora (at least 48 species). *Stephanandra incisa*, *Acer cissifolium*, and *Cacalia delphiniifolia* are commonly found in the forests of the Farm in particular. Sixteen threatened species in Japan and fourteen threatened species in Hokkaido were recognized, and among them *Adonis amurensis* and *Euphorbia ebracteolata* are very common in the Farm. *Primula sieboldii* of the Farm is regarded as one of the easternmost populations of this species and *Cardamine schinziana* is endemic to Hidaka Subprefecture. These temperate and threatened plants are regarded as good indicators of the present state of the conservation of the Farm ecosystem. Moderate grazing and browsing of horses which are pastured in the forests may reinforce the plant species richness and promote the growth of some threatened species through preferential damage to other plants.

Key words: Shizunai, vascular plants, flora, taxonomic composition, geographical distribution, threatened species

[北海道大学農学部附属牧場維管束植物目録]

附属牧場に生育するシダ植物以上の維管束植物を対象とした。野生種とともに、帰化植物・栽培逸出種、山野に植林されている樹種も含めた。但し、官舎敷地内に植栽されている植物は除いた。科の順番はエングラースystemに従い、科内は学名のアルファベット順とした。学名は原則として平凡社の「日本の野生植物」によったが一部新しい見解に従ったものがある。異名の引用はよく使われるもののみに限った。学名の後の括弧内に－とあるのは85年目録に掲載されていなかった種類で、今回新たに確認したものを示す。帰化植物については森田（1981）による北海道への侵入時期区分に従い、明治帰化、戦前帰化、戦後帰化に分けた。変種や品種などの種内変異については同一番号として、種内に記載した。花や果実の標本がなく属までしか同定できない種類や雑種については番号は与えずにリストした。

記載ではなるべく近縁種との違いが分かるような特徴に限って取り上げた。「まれ」、「普通」等の表現は、牧場内での標本数や確認林班数などの量的評価であり、北海道や日本全体での評価ではない。植物体の大きさの目安としては、「小型」が膝くらいまで（～40cm）、「中型」が胸くらいまで（～120cm）、「大型」が胸以上の高さ（120cm～）を示す。絶滅のおそれのある種については日本は環境庁（2000）、北海道は北海道（2000）のランクによった。開花期や結実期は標本に基づいたものである。科の最後にはメモとして、85年目録に掲載されながらも今回確認できなかった種類や特記事項などを記した。

シダ植物 <Pteridophyta>

----ヒカゲノカズラ科 Lycopodiaceae-----

001. トウゲシバ、ホソバトウゲシバ *Lycopodium serratum* Thunb. (－)

暗い適湿の林床にややまれの小型の常緑草本。茎は何回か又状に分岐し直立、葉の縁に鋸歯がある。＊85年目録に記録されているヒカゲノカズラはまだ確認できない。

----トクサ科 Equisetaceae-----

002. スギナ *Equisetum arvense* L.

草地、道路ふちから林床まで幅広い立地に普通の小型の夏緑草本。地上茎は二形を成し、栄養茎はスギナ、孢子茎はツクシと呼ばれる。孢子茎は5月中旬～下旬。

003. トクサ *Equisetum hyemale* L.

やや暗い川のふちや適湿の林床（1、6林班の東側境界近く）にあるが、それ以外ではまだ見ない。硬質の小型～中型の常緑草本。茎は濃緑色で分岐しない。

----ハナヤスリ科 Ophioglossaceae-----

004. エゾフユノハナワラビ *Botrychium multifidum* (S. G. Gmel.) Rupr. var. *robustum* (Rupr. ex Milde) C. Chr.

林床にやや普通の小型の冬緑性多年草。栄養葉は三角状長楕円形でやや革質。初春や秋に目

立つ。孢子葉は栄養葉より高く立ち、柄の先に円錐状の穂をつける。

005. ナガホノナツノハナワラビ *Botrychium strictum* Underw. (一)

林床に生える夏緑性草本。ナツノハナワラビに似るが、栄養葉の小羽片は無柄、孢子葉は全体細長く穂状。エゾフユノハナワラビに較べると少なく葉は草質。

006. ナツノハナワラビ *Botrychium virginianum* (L.) Sw. (一)

林床に生える夏緑性草本。栄養葉の小羽片は有柄、孢子葉は全体幅広く円錐状。前種と同様、エゾフユノハナワラビよりは少なく葉は草質。

-----ゼンマイ科 *Osmundaceae*-----

007. ヤマドリゼンマイ *Osmunda cinnamomea* L.

やや湿った林床や湿地にややまれの夏緑性シダ。葉は二形で一ヶ所からそう生し、栄養葉は卵状披針形で2回羽状深裂。中央に孢子葉が直立する。栄養葉の葉柄の鱗片は薄茶色の綿毛状であるのがよい特徴。

008. ゼンマイ *Osmunda japonica* Thunb. (一)

草地の縁にまれの夏緑性シダ。葉は二形で一ヶ所からそう生し、栄養葉は三角状広卵形で2回羽状複葉、羽片は幅広く披針形で「シダ」らしく見えない葉である。葉柄にヤマドリゼンマイ同様の綿毛がある。

-----コバノイシカグマ科 *Dennstaedtiaceae*-----

009. オウレンシダ *Dennstaedtia wilfordii* (Moore) H. Christ (一)

暗い林床にやや普通の小型の夏緑性シダ。葉身は全体長楕円状披針形で2回～3回羽状深裂。孢子のうは葉裂片の先につき包膜はコップ状。

010. ワラビ *Pteridium aquilinum* (L.) Kuhn var. *latiusculum* (Desv.) Underw. ex Hell. (一)

やや日当りのよい草原や林床にややまれに生える中型の夏緑性シダ。葉柄が長く、葉身は三角状卵形で3～4回羽状、裂片は長楕円形、鈍頭全縁。

-----ミズワラビ科 *Parkeriaceae*-----

011. クジャクシダ *Adiantum pedatum* L.

やや明るい林床や落葉樹林斜面にまれの小型の夏緑性シダ。葉身は卵形～円形、偽叉状に分岐して各枝の上側に単羽状の小羽片をつける。全体がクジャクの羽に似ており分かりやすい種類

012. イワガネゼンマイ *Coniogramme intermedia* Hieron. (一)

やや暗い湿った谷すじにまれの小型の夏緑性シダ（本州では常緑）。葉身は卵状長楕円形。羽片や小羽片は狭長楕円形で先端は尾状に伸びる。途中で2又に分岐する多数の平行に走る葉脈と、葉縁の細かい鋸歯が特徴で、ゼンマイと同様「シダ」らしく見えない葉である。

-----チャセンシダ科 *Aspleniaceae*-----

013. クモノシダ *Asplenium ruprechtii* Kurata (－)

3 林班のみから採取されている、樹幹上にコケと一緒に着生する小型の常緑性シダ。単葉で狭披針形～狭三角形、先端が細くなり、つる状に伸び先端に芽をつける。

----オシダ科 *Dryopteridaceae*-----

014. オシダ *Dryopteris crassirhizoma* Nakai

林床にごく普通の中型の半常緑性シダ。一ヶ所からろう斗状に叢生し大型の葉が展開し目立つ。葉身は倒披針形で2回羽状深裂、下部の羽片はしだいに短くなり、葉柄や葉軸に鱗片が多い。

015. シラネワラビ *Dryopteris expansa* (Pr.) Fr. - Jenkins et Jermy

林床にまれ(2林班)の小型～中型の夏緑性シダ。葉身は五角状の長橢円形状卵形、3回羽状深裂。最下羽片の基部小羽片が大きいのが特徴。

016. ミヤマベニシダ *Dryopteris monticola* (Makino) C. Chr. (－)

林床に普通の中型の夏緑性シダ。オシダに似るが葉身は長橢円状卵形で2回羽状深裂、葉身の下部で狭くならず葉柄も長い。オシダよりは少ない。

017. イワイタチシダ *Dryopteris saxifraga* H. Ito (－)

やや暗い林床の斜面にまれ(6林班)の中型の常緑性シダ。葉身は卵状長橢円形で2回羽状、葉柄や中軸に黒色の鱗片が密に直角につくのがよい特徴。

018. タニヘゴ *Dryopteris tokyoensis* (Matsum. ex Makino) C. Chr. (－)

やや暗い林床の小流ふちにまれ(12林班)に生える中型の半常緑性シダ。オシダに似てろう斗状に葉が叢生する。葉身は倒披針形で単羽状複生。羽片の最下裂片が大きく耳形となるのがよい特徴。

019. ホソイノデ *Polystichum braunii* (Spenn.) Fee (－)

林床にややまれに生える半常緑性シダ。イノデ類は小羽片の形が特徴的で先端や鋸歯の先は芒状に伸びる。羽片は葉身下部にむかってしだいに短くなる。

020. サカゲイノデ *Polystichum retroso-paleaceum* (Kodama) Tagawa (－)

林床の斜面にややまれに生える夏緑性シダ。イノデ類の一種で羽片は葉身下部にむかって短くならない。北海道全体として見るとホソイノデより暖地に多い。近縁種イワシロイノデとの違いは今後の検討課題である。

021. ジュウモンジシダ *Polystichum tripterum* (Kunze) C. Presl

林床の斜面や谷筋にややまれの半常緑性シダ。イノデ類の一種だが、最下羽片が特に大きくなり葉全体として十文字形になるのがよい特徴。

----ヒメシダ科 *Thelypteridaceae*-----

022. ヒメシダ *Thelypteris palustris* (Salisb.) Schott

道路ふちの溝にやや普通の小型の夏緑性シダ。根茎は長く横送り葉は一ヶ所からまとまって

出ない。葉はやや二形となる。葉柄は葉身と同じくらい長い。葉身は広披針形で2回羽状。

023. ミヤマワラビ *Thelypteris phegopteris* (L.) Sloss. (－)

やや暗い林床にややまれに生える小型の夏緑性シダ。葉身は三角状長楕円形。2回羽状深裂で羽片の基部は中軸に流れる。

----メシダ科 *Athyriaceae*-----

024. エゾメシダ *Athyrium brevifrons* Nakai ex Kitag. (－)

溝のふちや林内にやや普通に生える夏緑性シダ。葉は一ヶ所から叢生し、葉身は広卵状披針形～披針形で3回羽状。葉柄基部の鱗片は披針形～広披針形で茶色。

025. ミヤマメシダ *Athyrium melanolepis* (Franch. et Sav.) H. Christ (－)

溝のふちや林内にややまれに生える夏緑性シダ。エゾメシダに似るが、葉柄基部の鱗片は黒色で光沢がありぬじれる。鱗片の特徴からはエゾメシダとの中間的な個体も見られる。

026. イヌワラビ *Athyrium niponicum* (Mett.) Hance (－)

林床から林縁にやや普通に生える夏緑性シダ。根茎は長く横送るので葉は叢生しない。葉身は卵形～卵状長楕円形。2回羽状複生～3回羽状深裂。葉の上部は急に狭くなって伸び鋭尖頭になるのがよい特徴。北海道では南部にまれに点在して分布する。

027. ヤマイヌワラビ *Athyrium vidalii* (Franch. et Sav.) Nakai (－)

林床にまれの夏緑性シダ。葉は叢生し、葉身は卵形～三角状卵形。北海道全体では普通に見られる。

028. ヘビノネゴザ *Athyrium yokoscense* (Franch. et Sav.) H. Christ (－)

明るい林床や林縁にやや普通の夏緑性シダ。葉は叢生し、小羽片の辺縁に鋸歯がある。葉柄基部の鱗片は細くて中央部が黒いのがよい特徴。北海道では南部に多い。

029. イッポンワラビ *Cornopteris crenulatoserrulata* (Makino) Nakai (－)

林床にごく普通の中型の夏緑性シダ。葉身は三角状～三角状楕円形。葉の辺縁が多少ともにかわ質になり、最下羽辺の最下小羽片が極端に小さい。胞子のう群には包膜がない。北海道では南部に多い。

030. ホソバシケシダ *Deparia conilii* (Franch. et Sav.) M. Kato (－)

林床に普通に生える小型の夏緑性シダ。葉はやや二形で、葉身は狭披針形～披針形で鋭尖頭。単羽状複生から2回羽状深裂。北海道南部に点在する。

031. オオメシダ *Deparia pterorachis* (H. Christ) M. Kato — *Athyrium pterorachis* Christ (－)

林床にまれに生える中型の夏緑性シダ。葉柄の基部が膨れ翼状となる。葉身は大きく長楕円形～広披針形で2回羽状深裂、下部に向かってしだいに狭くなる。北海道では山地ほど多くなる。

032. ミヤマシケシダ *Deparia pycnosora* (H. Christ) M. Kato (－)

林床にごく普通に生える小型の夏緑性シダ。ろうと状に葉が叢生する。葉身は長楕円形～倒披針形で下部に向かってしだいに狭くなる。葉柄や中軸に毛が多い。北海道では広く普通に分布。

033. クサソテツ *Matteuccia struthiopteris* (L.) Tod.

草地縁などの明るい湿地に普通の夏緑性シダ。一ヶ所からろう斗状に葉が叢生する。葉は二形で栄養葉は鮮緑色。葉身は倒卵形～倒卵状披針形で下部へ向かってしだいに羽片が小さくなる。

034. イヌガンソク *Onoclea orientalis* (Hook.) Hook. (－)

林床や林縁にやや普通の夏緑性シダ。葉は栄養葉と孢子葉の二形。栄養葉は大型で夏に伸びる。葉身は卵状広楕円形で単羽状、葉柄が長い。羽片は浅裂～中裂、最下羽片は特に短くはない。茶褐色に乾いた孢子葉は春先によく目立つ。

035. コウヤワラビ *Onoclea sensibilis* L. var. *interrupta* Maxim.

草地縁などの明るい湿地に普通に生える小型の夏緑性シダ。根茎が伸びるため葉は1本ずつ出、出始めは葉身、葉柄とも赤紫色を呈する。葉は二形。栄養葉は広卵形～三角状楕円形、単羽状で羽片はほぼ全縁、中軸に流れ翼をつくる。孢子葉は夏すぎから伸び、孢子のう群が数珠状にならぶ。

----ウラボシ科 *Polypodiaceae*-----

036. ホテイシダ *Lepisorus annuifrons* (Makino) Ching (－)

林内の樹幹上のコケにやや普通に着生する夏緑性シダ。葉は単葉。葉身は紙質で披針形。ミヤマノキシノブより葉が幅広い。

037. ミヤマノキシノブ *Lepisorus ussuriensis* (Regel et Maack) Ching var. *distan*
(Makino) Tagawa (－)

樹幹や倒木上のコケにやや普通に着生する常緑性シダ。葉は単葉。葉身は硬紙質で線状披針形。

038. オシャグジデング *Polypodium fauriei* H. Christ (－)

樹幹や倒木上のコケにやや普通に着生する冬緑性シダ。葉身は狭卵形～広披針形で羽状深裂。乾燥標本にすると植物体が巻く。

039. イワオモダカ *Pyrrosia hastata* (Thunb. ex Houtt.) Ching (－)

林内の樹幹コケ上に普通に着生する常緑性シダ。葉身は三角状披針形～披針形で掌状に3～5裂する。温帯系の種で北海道全体としては南部の霧のかかりやすい所にまれに産する。

種子植物 < *Spermatophyta* >

< 裸子植物 *Gymnospermae* >

----マツ科 *Pinaceae*-----

040. トドマツ (植栽) *Abies sachalinensis* (F. Schmidt) Mast.

林内各所に植栽される常緑針葉樹。樹皮がやや白っぽく滑らかで若い葉の先は2裂する。

041. カラマツ (植栽) *Larix kaempferi* (Lamb.) Carriere

林内各所に植栽される落葉針葉樹。葉は長枝では単生し短枝では20-30本束生する。

042. ドイツトウヒ (植栽) *Picea abies* (L.) H. Karst. (一)

林内にまれに植栽される常緑針葉樹。葉は1-2mm長で断面は偏平でなく四角形。

043. チョウセンゴヨウ (植栽) *Pinus koraiensis* Siebold et Zucc. (一)

林内各所に植栽される常緑針葉樹。5葉性のマツ。葉長は10cm前後あり、球果は卵状円錐形で大きく長さ13cm程度。

044. キタゴヨウ (植栽?) *Pinus parviflora* Siebold et Zucc. var. *pentaphylla* (Mayr) Nehry (一)

林内にまれにある5葉性のマツで、植栽されたものと思われる。葉長は5cm内外。球果をつけたよい標本を採っていないが、もっとも可能性の高いものとして本種に同定しておく。

*庁舎敷地には2葉性のバンクスマツ *Pinus banksiana* やアカエゾマツ *Picea glehnii*、さらにヒノキ科のニオイヒバ *Thuja occidentalis* が植栽されている。

----イチイ科 *Taxaceae*-----

*85年目録にはイチイが記録されている。庁舎敷地に植栽木があるが自然状態では確認していない。館脇(1939b)によると「日高新冠事業区では比較的少ない」とされる。

<被子植物 Angiospermae>

<双子葉植物: 離弁花類 Dicotyledoneae: Choripetalae>

----クルミ科 *Juglandaceae*-----

045. オニグルミ *Juglans mandshurica* Maxim. var. *sachalinensis* (Miyabe et Kudo) Kitam.

日当りのよい河畔や牧草地にやや普通の落葉性木本。通常は高さ10mまでで枝が広がり、枝は先まで太い。羽状複葉で小葉は11-19枚、葉柄や葉軸に褐色の毛が密生する。花は5月中旬~下旬。

----ヤナギ科 *Salicaceae*-----

046. ネコヤナギ *Salix gracilistyla* Miq. (一)

日当りよい川の縁にややまれの落葉低木で高さ3mくらいまで。若枝は軟毛を密生する。葉は長楕円形で最初両面とも絹毛があり、後に表面は無毛となる。

047. エゾノバッコヤナギ *Salix caprea* L. — *S. hultenii* Floderus var. *angustifolia* Kimura

日当りよい林縁にやや普通の落葉高木で大きなものは高さ10mに達する。葉は広楕円形~楕円形で長さ10cm以上になる。裏面に白色の縮毛が密生するのがよい特徴。ここではバッコヤナギとエゾノバッコヤナギの区別をしない。ヤナギ属の学名はOhashi(2000)による。

048. イヌコリヤナギ *Salix integra* Thunb.

日当たりよい草原や林縁にやや普通の落葉低木で普通は高さ3mくらいまで。葉や花序が対生するのが特徴。葉は狭楕円形～長楕円形で長さ10cmまで、両面とも無毛。温帯系の種。花は5月中旬～下旬。

049. キヌヤナギ *Salix schwerinii* E. Wolf — *S. pet-susu* Kimura

日当たりよい草原や林縁にややまれの落葉性木本。枝は灰色の密毛をしき、葉は披針形～楕円状披針形で10cm以上になる。裏面に白色直毛が密生し銀白色を呈するのがよい特徴。

050. オノエヤナギ、ナガバヤナギ *Salix udensis* Trautv. et Mey. — *S. sachalinensis* F. Schmidt

日当たりよい川のふちや草原ふち、牧草地に普通の落葉性木本。一見タチヤナギにも似るが、若葉の縁は裏側に巻き、葉は披針形～披被針形で縁には低い波状鋸葉があり裏面は白色を帯びる。雌花の苞はやや暗褐色で白色長軟毛がある。子房には白色の短毛があり花柱は長く子房と同長。花は5月上旬～中旬。

051. タチヤナギ *Salix triandra* L. — *S. subfragilis* Andersson

日当たりよい林縁にややまれの落葉性木本。若葉は中ほどが褐色を帯びる。葉は披針形～狭披針形で裏面は少し白色を帯び、縁の細鋸葉がはっきりしている。雌花の苞は淡黄緑色、子房は緑色でほぼ無毛。花柱は非常に短い。花は5月上旬～中旬。

*85年目録に記録のあるドロヤナギ、オオバヤナギは確認できない。

----カバノキ科 Betulaceae-----

052. ケヤマハンノキ *Alnus hirsuta* Turcz.

林縁にややまれの落葉高木。葉は通常広卵形～広円形で鈍頭～円頭だが変異が大きく、葉先が尖るものもある。縁に不整の欠刻や鋸歯があり、小枝や葉裏に赤褐色の毛がある。

053. ハンノキ *Alnus japonica* (Thunb.) Steud.

日当たりよい湿地や林縁、牧草地にややまれの落葉高木。小枝はほぼ無毛。葉に柄があり葉身は長楕円形で鋭尖頭。

054. ウダイカンバ *Betula maximowicziana* Regel (—)

林内にややまれの落葉高木で大木になる。シラカンバとともに白い樹皮が特徴。葉は広卵形で基部心形となり長さ10cm以上で側脈は8-13対。花は5月下旬、果実は10月下旬で長い雌花穂を垂下させる。

055. シラカンバ *Betula platyphylla* Sukatchev var. *japonica* (Miq.) H. Hara

明るい林にややまれの落葉高木。葉は3角状広卵形で長さ10cmまで、側脈は5-8対。

056. サワシバ *Carpinus cordata* Bl. (—)

林内にきわめて普通の落葉高木。葉は卵状長楕円形、洋紙質で基部が心形、長さ7-15cmで側脈は平行して15-23対もある。花は5月下旬、果実は7月以降。

057. アカシデ *Carpinus laxiflora* (Siebold et Zucc.) Bl. (—)

林内にややまれの落葉高木。葉は卵状楕円形で長さ3-7cmで側脈は7-15対が平行。温帯系の種。果実は7月以降。

058. アサダ *Ostrya japonica* Sargent (一)

林内にやや普通の落葉高木。樹皮が割れ逆むけ状に反り返る。葉柄は短く有毛、葉身にも毛があり裏面脈上に残存する。縁は不整の重鋸歯。花は5月上旬～中旬。

*85年目録に記録のあるハシバミはまだ確認していない。

----ブナ科 Fagaceae-----

059. クリ *Castanea crenata* Siebold et Zucc. (一)

草地(南0)のふちにある落葉中高木。葉は長楕円形～長楕円状披針形で先は鋭尖形。長さ20cm近くまで達し、15-25対の側脈があり縁は鋭い芒状の鋸歯。牧場周辺には自然状態のクリがあることから、牧場内の株も、もともとの自生が残されたものと思う。温帯系の種。

060. カシワ *Quercus dentata* Thunb. ex Murray

林縁にややまれの落葉高木。葉柄はほとんどない。葉身は倒卵状長楕円形で20cm以上と大型で、縁は波状の鈍鋸歯。若枝に灰褐色の密短毛がある。

061. ミズナラ *Quercus crispula* Blume

林縁や林内に普通の落葉高木。葉柄はほとんどない。葉身は倒卵状長楕円形で通常20cmくらいまで、鋭～鈍頭の鋸歯がある。枝に密毛はない。時にカシワとの中間的な個体があり、鋸歯があまり尖らず、枝にやや毛がある。花は5月中旬～下旬、果実は9月下旬。

062. コナラ *Quercus serrata* Thunb. ex Murray (一)

林縁や林内にミズナラより少ないが、やや普通の落葉高木。明らかな葉柄があり、葉身は長楕円形。花は5月中旬～下旬。

----ニレ科 Ulmaceae-----

063. ハルニレ *Ulmus davidiana* Planchon var. *japonica* (Rehder) Nakai

林内や草地縁の明るい溝沿いにやや普通の落葉高木。葉柄に軟毛があり、葉身は倒卵状長楕円形で短毛がありややざらつく。縁は重鋸歯で基部はやや左右不相称。果実は翼果となり、5月中旬～下旬。

*85年目録に記録のあるオヒョウは確認できない。館脇(1939b)は「日高新冠事業区では極めて少ない」とする。

----クワ科 Moraceae-----

064. カラハナソウ *Humulus lupulus* L. var. *cordifolius* (Miq.) Maxim.

日当りよい林縁や草地の縁にやや普通で、つる状に茂る多年草。茎に下向きの刺毛があり、葉は卵円形で時に3裂し基部は心形。雌雄異株で雌株には卵円形の球花状の雌花穂がつく。花は8月中旬、果実は9月下旬～10月中旬。

065. ヤマゲワ *Morus australis* Poir.

日当りよい林縁や草地の縁にやや普通の落葉低木。葉の縁が不定形に切れ込むのが特徴だが株により切れ込み程度には大きな差がある。花は5月下旬～6月上旬、果実は7月上旬～中旬。

----イラクサ科 Urticaceae-----

066. クサコアカソ *Boehemeria tricuspis* (Hance) Makino var. *unicuspis* Makino

林内から林縁にややまれの中型多年草。植物体に刺毛はなく、茎と葉柄が赤色を帯びる。葉は対生し卵円形で3主脈があり葉先端の歯牙は深く切れ込み先端は長く伸びる。葉先端が明らかに3裂になるアカソ var. *tricuspis*の型はまだ確認していない。花は8月中旬、果実は9月下旬。

067. ムカゴイラクサ *Laportea bulbifera* (Siebold et Zucc.) Wedd.

林内に普通の小型～中型の多年草。植物体に刺毛があるので素手で触るとちくちくする。葉は互生なので対生のイラクサ属 *Urtica* と区別できる。葉腋に球形で薄茶色のむかごができるのが特徴だが幼植物ではないことがある。

068. ミズ *Pilea hamaoi* Makino (－)

やや攪乱された溝や林道縁などにやや普通の小型の1年草。植物体は多汁質で刺毛はない。葉は2-5cm長で5対内外の鋸歯があり、そう果は2mm内外。果実は9月下旬～10月上旬。

069. アオミズ *Pilea mongolica* Wedd. (－)

やや暗い林道縁にややまれ小型の1年草。ミズに似るが植物体はより大きく、葉は3-10cmで5-10対の鋸歯があり、そう果は逆に小さく約1.2mm。果実は10月上旬。

070. コバノイラクサ *Urtica laetevirens* Maxim. (－)

林内に生える、エゾイラクサより小さい中型の多年草。植物体に刺毛がある。葉は卵形～広卵形で対生し、托葉は節に4枚ずつある。次種のエゾイラクサよりはまれ。花は10月中旬。

071. エゾイラクサ *Urtica platyphylla* Wedd.

林内や林縁の草原にやや普通で大型の多年草。植物体に刺毛がある。葉は狭卵形～卵状長楕円形で対生し、托葉は節に2枚ずつある。花は6月～9月。

----ヤドリギ科 Loranthaceae-----

072. ヤドリギ *Viscum album* L. subsp. *coloratum* Komarov

ハルニレなどの落葉樹樹上に、ややまれに半寄生する常緑性木本。鳥の巣状に枝につくので冬から早春に目立つ。

----タデ科 Polygonaceae-----

073. ミズヒキ *Antenoron filiforme* (Thunb.) Roberty et Vautier — *Polygonum filiforme* Thunb.

林床に普通の小型～中型の多年草。葉の中央に黒い斑がはいるのがよい特徴。花は細長い総状花序につき、がく裂片は赤色。和名は花序全体の姿が「水引」に似ることによる。花は9月～10月上旬。

074. ヤナギタデ *Persicaria hydropiper* (L.) Spach (－)

やや攪乱された草地縁などにややまれに生える小型の1年草。花は細長い総状花序につき、がくは黄緑色で、腺点が密にある。花は10月。

075. オオイヌタデ *Persicaria lapathifolia* (L.) S.F. Gray (－)

林道沿いの攪乱地にややまれに生える中型の1年草。サナエタデに似るが、茎の節部分が膨れ、葉の側脈は明らかで20-30対あり総状花序は密で5cm長をこえ先が垂れる。托葉鞘の外側は無毛で縁毛も全くない個体から、外側に毛があり疎に縁毛がありハルタデに似た個体まである。花は9月下旬～10月中旬。

076. イヌタデ *Persicaria longiseta* (De Bruyn) Kitag.

中央道路縁や林道などに普通の小型～中型の1年草。花序は密な穂状をなし、がくは紅色。花は8月～10月中旬。

077. タニソバ *Persicaria nepalensis* (Meisn.) H. Gross (－)

中央道路縁や林内にややまれの小型の1年草。茎はよく分枝し無毛。葉は卵形、基部は楔形で葉柄に流れる。花序は頭状。花は8月下旬～10月。

078. ヤノネグサ *Persicaria nipponensis* (Makino) H. Gross (－)

中央道路縁にまれの小型～中型の1年草。茎に小さな下向きの刺毛があり、葉は卵形～広披針形、基部は切形か浅心形。総状花序は短い穂状だが頭状ではない。花柄には腺毛がある。花は10月上旬まで。

079. イシミカワ *Persicaria perfoliata* (L.) H. Gross

明るい湿地ふちにややまれの1年草。他物によりかかり、やぶ状になる。茎に鋭い下向きの刺毛がある。葉は三角形で葉柄は葉身基部に楕状につく。花は短い総状花序。果実は10月上旬。

080. サナエタデ *Persicaria scabra* (Moench) Mold. (－)

牧草地の縁にまれに生える小型～中型の1年草。オオイヌタデに似るが、節は膨れず、葉の側脈は不明で20対以下、総状花序は密で3cm内外と短く先は垂れない。花は10月。

081. アキノウナギツカミ *Persicaria sieboldi* (Meisn.) Ohki (－)

中央道路沿いの明るい湿地にやや普通の1年草。茎は枝を分け下向きの刺毛がある。葉身は卵状披針形～長披針形で基部は矢じり形となり茎を抱くように見える。花序は数花が頭状につく。花は9月～10月上旬。

082. ミゾソバ *Persicaria thunbergii* (Siebold et Zucc.) H. Gross (－)

湿った道路縁や林道縁に普通の1年草。卵状鉾形の葉が特徴で、茎に下向きの刺毛があり、やぶ状に繁茂する。花序は頭状だが花数には変化があり、花柄には腺毛があることが多い。花は9月～10月上旬。

083. ハナタデ *Persicaria yokusiana* (Makino) Nakai (－)

やや暗い林道縁や林床に普通の1年草。イヌタデに似るが、より薄い色の花が細長い総状花

序に疎らにつき、葉の先はより尾状に伸びる。花は8月中旬～10月上旬。

084. ミチヤナギ *Polygonum aviculare* L.

道路上などの荒れ地にややまれの多年草。葉に大小があり、花は腋生し、果実は3稜形で各面は内側にくぼむ。果時、花被片は筒部の2～3倍長ある。果実は9月。

***. ミチヤナギ属 *Polygonum* sp.

前種より葉が細く先が尖る。オクミチヤナギP. *arenastrum* var. *platycarpum*と思われるが果実がないので保留しておく。今後の検討課題である。

085. オオイタドリ *Reynoutria sachalinensis* (F. Schmidt) Nakai — *Polygonum sachalinense* F. Schmidt

日当りよい道路、林道、林縁に普通の大型の多年草。茎は枝を張り弓状に曲がる。葉は長さ15-30cmと大きく長卵形～卵形、基部は心形。

086. スイバ *Rumex acetosa* L. (—)

林内(2林班)にややまれの中型の多年草。エゾノギシギシに似るが、茎生葉に柄がなく矢じり状に茎を抱く。果時、翼状に発達した内花被片の縁には歯牙がない。果実は7月上旬。

087. ヒメスイバ(明治帰化) *Rumex acetosella* L.

攪乱地や草地、道路ふちに普通の小型の1年～多年草。根出葉は鉋状で耳部は開出する。雌雄異株。花は5月下旬から。

088. エゾノギシギシ(明治帰化) *Rumex obtusifolius* L.

林内や草地にやや普通の中型多年草。果時、内花被片の縁辺にはっきりした歯牙がある。スイバにも似るが、茎葉の基部は矢じり形にならない。花は7月、果実は9月～10月。

-----ヤマゴボウ科 *Phytolaccaceae*-----

*85年目録に記録のあるヤマゴボウは確認できない。

-----スベリヒユ科 *Portulacaceae*-----

089. マキバヌマハコベ(戦後?帰化、滝田新称) *Montia linearis* (Doug.) Greene (—)

牧草種子に混じって外国から帰化した植物と思われる。これまで(太刀掛 1998)帰化植物としては報告されていない。牧草地(東9)で1997年より3年間見ておりここでは定着している。花は5月上旬から、果実は6月。和名、学名ともに滝田の考証による。

-----ナデシコ科 *Caryophyllaceae*-----

090. ミミナグサ(広義) *Cerastium holosteoides* Fries (—)

攪乱された道路ふちや草地に普通に生える小型の越年～多年草。葉は対生し、茎や葉縁に毛がある。小花柄は伸び、がく片より長い。がく片が5.5mm以上をオオミミナグサvar. *holosteoides*、がく片が4-5mmのものを狭義のミミナグサvar. *hallaisanense*としているが、中間的な個体も多く2変種に峻別することは難しい。ここでは2変種を含めて広義のミミナグサとして扱った。また茎上部に毛が密でがく片が6mmに達し、小花柄がやや短めの個体があり、

一見オランダミミナグサにも思えるが、腺毛はなくこれも含めた。花は5月～7(10)月。

091. オオヤマフスマ *Moehringia lateriflora* (L.) Fenzl

やぶなどにやや普通の小型の多年草。葉は対生し無柄で広楕円形～倒披針形。花は5月下旬～7月上旬。

092. タチハコベ *Moehringia trinervia* (L.) Clairv. (－)

林縁や林内にややまれに生える小型の1年～越年草。一見ハコベに似るが葉の3脈が明らかで、がく片の先は尖り花弁は2裂せずがく片より短い。北海道全体では産地が限られ、日本絶滅危惧II類。花は6月上旬～中旬。

093. ツメクサ *Sagina japonica* (Sw.) Ohwi (－)

道路ふちなど攪乱された所に生える小型の1年～越年草。葉は針形で深緑色。花・果実は7月。

094. マツヨイセンノウ (明治帰化) *Silene alba* (Mill.) E. H. L. Krause (－)

道路縁にまれに侵入している中型の越年～多年草。茎には短毛や腺毛が密生。花は7月。

095. ノミノフスマ *Stellaria alsine* Grimm var. *undulata* (Thunb.) Ohwi

林内から林縁に普通の小型の越年草。葉は対生し柄がなく長楕円形。集散花序の下につく花の柄が長く張り出すのが特徴。花・果実は5月下旬～7月。

096. ウシハコベ *Stellaria aquatica* (L.) Scop. (－)

道路縁など攪乱地に生育する小型～中型の越年～多年草。ハコベに似るがより大型の葉で、茎下部では有柄、茎上部で無柄。茎上部には腺毛がある。花は6月～7月、果実は10月。

097. ハコベ *Stellaria media* (L.) Villars (－)

攪乱地などにややまれの小型の越年草。葉は対生で茎下部の葉は有柄だが上部にいくにつれ無柄となる。茎葉の毛は目立たない。花は多くの場合茎の先に集散花序につきまれに葉腋に単生する。がく片は長楕円形でやや鈍頭。花は5月～7月。

098. ミヤマハコベ *Stellaria sessiliflora* Yabe (－)

ハコベに似る多年草だが半日陰の林床や湿った牧草地ふちに生育する。葉は対生し長い柄があり卵形～心円形、先は鋭尖形。花は葉腋に単生し、がく片は長楕円状披針形で鋭頭。花は5月、果実は7月。

099. カラフトホソバハコベ (戦後帰化) *Stellaria graminea* L. (－)

庁舎近くの草地やその周辺に侵入している小型～中型の多年草。茎葉は対生。花は小さいが白く美しくて目立ち、7月～10月。

*85年目録に記録されているノミノツヅリ、オオバナノミミナグサ、シラオイハコベ、エゾオオヤマハコベは確認できない。このうちオオバナノミミナグサは通常、海岸近くの草原に生えるので牧場では考えにくい。

----アカザ科 *Chenopodiaceae*-----

100. シロザ *Chenopodium album* L.

荒れ地にややまれに生育する中型の1年草。茎は直立して多くの枝を分ける。葉は3角状～菱状卵形で若い葉には白粉がある。

----ヒユ科 *Amaranthaceae*-----

101. イノコズチ *Achyranthes bidentata* Blume var. *japonica* Miq. (－)

中央道路の溝のふちにまれに生える中型の多年草で一見ハエドクソウにも似る。葉は対生し長楕円形～倒卵状長楕円形で鋭尖頭。穂状花序は長く、花後、軸に下向きに圧着する果実が特徴的。果実は10月。

----モクレン科 *Magnoliaceae*-----

102. キタコブシ *Magnolia praecocissima* Koidz. var. *borealis* (Sargent) Koidz.

— *Magnolia kobus* DC. var. *borealis* Sargent

林内にやや普通の落葉高木。樹皮が白っぽくなめらかで葉が長倒卵形で長さ20cmまで、やや表面がしわ状にくぼむのが特徴。白い花は遠目にも目だが隔年で花付きが悪くなる。花は5月上旬。

103. ホオノキ *Magnolia obovata* Thunb.

林内にやや普通の落葉高木。葉は枝の先に集まってつき倒卵状長楕円形の葉は大型で長さ20cm以上。裏面は白色を帯びる。白い大型の花は径20cmほどで6月中旬。

----マツブサ科 *Schisandraceae*-----

104. チョウセンゴミシ *Schisandra chinensis* (Turcz.) Baill.

林縁にやや普通のつる性木本。樹幹を登はらせず灌木などににからむ。葉は長倒卵形～倒卵形、縁に凸頭波状歯牙がある。花は黄白色で5月下旬～6月上旬。赤い集合果は垂れ下がり、薬酒の材料として利用される。

----カツラ科 *Cercidiphyllaceae*-----

105. カツラ *Cercidiphyllum japonicum* Siebold et Zucc.

林内の比較的湿った谷筋に普通の落葉高木で大木になる。雌雄異株。主幹が倒れたり枯死しても脇から萌芽するため特有の樹形をみせる。葉は対生し円心形で縁に波状の鈍鋸歯があり裏面は粉白を帯びる。葉の芽だしは帯赤色を呈する。果実は7月以降。

----キンポウゲ科 *Ranunculaceae*-----

106. エゾトリカブト *Aconitum yezoense* Nakai

林床にやや普通の中型～大型の多年草。葉が3全裂する。晩夏に青紫色の花をつけるが、芽だしは早く、5月上旬で茎は40cmくらいにもなっている。有毒植物。花、果実は9月下旬～10月上旬。

107. ルイヨウショウマ *Actaea asiatica* H. Hara

林床にまれの中型の多年草。茎葉は2－4回3出複葉。小葉は卵形または狭卵形で鋭尖頭。

108. フクジュソウ (広義) *Adonis amurensis* Regel et Radde

林床にきわめて多い多年草。狭義のフクジュソウ *A. ramosa* とキタミフクジュソウ *A. amurensis* とに分ける見解がある。牧場には1茎に多花でがく片が花弁と同長かやや短いフクジュソウ型と1茎に1花でがく片が花弁と同長かやや長いキタミフクジュソウ型がある。両型を種として扱うのが妥当かどうかさらに検討する必要がある。ここでは広義のフクジュソウとして扱う。有毒植物と言われるので、放牧家畜の採食から逃れている可能性がある。日本絶滅危惧II類、北海道絶滅危急種。花は4月下旬、果実は5月中旬。

109. ヒメイチゲ *Anemone deblis* Fisch.

林床にややまれの多年草。早春植物の一種。茎葉は3枚が輪生し、3全裂し裂片は線状披針形。他のイチリンソウ属 *Anemone* に較べると花が小さく、花弁状の白いがく片は5-6枚で長さ6-8mm。花は4月下旬~5月上旬、果実は5月下旬。

110. ニリンソウ *Anemone flaccida* F. Schmidt

林床や牧草地ふちなどにやや普通の多年草。茎葉は3枚が輪生し、無柄で深く欠刻する。白い花が1茎あたり2、3個つく。花弁状の白いがく片は6枚前後で長さ8-15mm。花は5月上旬~下旬。

111. アズマイチゲ *Anemone raddeana* Regel

林床に普通の多年草。牧場のイチリンソウ属 *Anemone* としては一番個体数が多い。茎葉は3枚が輪生し、有柄で3出複葉。時に葉縁が裏側にまくれた個体は一見ヒメイチゲに誤認しやすい。花弁状の白いがく片は12枚前後で長さ12-20mm。花は4月下旬~5月上旬、果実は5月下旬。

112. エゾノリュウキンカ *Caltha palustris* L. var. *barthei* Hance

溪流沿いや林内の湿地に比較的普通の中型の多年草。フキに似た形のつやのある葉を持ち、花は黄色で目立つ。フキと同様に葉柄を山菜(ヤチブキ)として利用する。花は4月下旬~5月中旬、果実は5月下旬以降。

113. サラシナショウマ *Cimicifuga simplex* Wormsk.

林床にややまれの中型~大型の多年草。葉は2-3出複葉に切れ込み、ヤマブキショウマの葉に似る。白い花は単一または基部で分枝する長い総状花序につく。果実は10月。

114. シコタンキンボウゲ *Ranunculus grandis* Honda var. *austrokurilensis* (Tatew.) H. Hara (一)

明るい適湿地にまれの多年草。葉は3-5深裂し、小葉に柄はない。黄色花は径20mm以上に達する。茎の中部以下や葉柄に斜上~開出する毛がある。日本絶滅危惧IB類。花、果実は6月。

115. ハイキンボウゲ *Ranunculus repens* L.

湿った林縁などにやや普通の多年草。地上を匍匐する枝を出し、葉は3出複葉、3小葉に柄がある。黄色花で径20mm程度、茎下部に目立った毛はない。花は5月下旬~6月中旬。

116. キツネノボタン *Ranunculus silerifolius* Lev.

道路縁などの攪乱された適湿地に普通に生える小型の多年草。集合果の形はコンペイトウ状で特徴的。3小葉に柄があり、ハイキンボウゲにも似るが花はより小さく径12mm程度、茎に毛があるので区別できる。花は7月～10月、果実は10月。

117. カラマツソウ *Thalictrum aquilegifolium* L. var. *intermedium* Nakai

林床にやや普通の中型の多年草。葉は2～4回3出複葉。花序は散房状の円錐形。果実には柄があってぶら下がる。花は5月下旬～6月下旬。

118. アキカラマツ *Thalictrum minus* L. var. *hypoleucum* (Siebold et Zucc.) Miq.

林床や草原、草地縁などにやや普通の中型～大型の多年草。葉は2～4回3出複葉。花序は円錐状になり多数花をつける。果実は9月下旬。

*85年目録に記録されているオクトリカブト、ウマノアシガタは確認できない。オクトリカブトはこれまで日高地方から報告されておらず、存在は疑問である。

--- シラネアオイ科 *Glaucidiaceae*-----

119. シラネアオイ *Glaucidium palmatum* Siebold et Zucc.

林内にややまれに生える小型～中型の多年草。葉は大きな腎円形で掌状に7～11中裂し、花弁状の薄紫色のがく片は4枚で大きく平開する花は径7-10cm。開花は5月中旬～下旬。北海道絶滅危急種。

--- メギ科 *Berberidaceae*-----

120. メギ (逸出) *Berberis thunbergii* DC. (－)

林内にまれ(1林班)にみられる刺を持った低木。人為的に持ち込まれたか、植栽された植物の種子が鳥により散布されたものと思う。

---- センリョウ科 *Chloranthaceae*-----

121. ヒトリシズカ *Chloranthus japonicus* Siebold

林床に生える小型の多年草。やや普通だがフタリシズカより少ない。地上茎の先に4枚の輪生する葉をつけ、白い穂状花序を1本つける。花は5月上旬から。

122. フタリシズカ *Chloranthus serratus* (Thunb.) Roem. et Schult. (－)

林床にやや普通の小型の多年草。地上茎の先に2枚ずつ対生する葉が2段つくのがヒトリシズカとの区別点。花序は単一あるいは1～2本分枝する。花は5月～7月。

---- ウマノスズクサ科 *Aristolochiaceae*-----

123. オクエゾサイシン *Asiasarum heterotropoides* (F. Schmidt) F. Maek. (－)

林床にやや普通の小型の多年草。茎は地を這い、先にやや厚めで卵心形の2枚の葉を持つ。花は濃褐色の壺状で特徴的。花は5月上旬から、果実は5月～6月。北海道希少種。

---- ボタン科 *Paeoniaceae*-----

124. ヤマシャクヤク *Paeonia japonica* (Makino) Miyabe et Takeda (－)

やや暗い林内にごくまれ(12林班)の小型～中型の多年草。茎葉が3～4枚互生し、葉は普通2回3出複葉。裏は白色を帯びる。花がないとベニバナヤマシャクヤクとの区別は困難だが、葉裏は無毛なのでここではヤマシャクヤクにあてた。園芸・薬用に採取される。日本絶滅危惧II類、北海道希少種で牧場では1ヶ所でしか見ていない。果実は7月。

*85年目録ではベニバナヤマシャクヤクが記録されている。

----マタタビ科 Actinidiaceae-----

125. サルナシ、コクワ *Actinidia arguta* (Siebold et Zucc.) Planch. ex Miq.

林縁にやや普通のつる性木本だが幹を登はんせず横に広がる。葉はマタタビに較べると厚く表面にやや光沢がある。葉柄は赤色を帯びる。花は7月上旬～中旬。

126. マタタビ *Actinidia polygama* (Siebold et Zucc.) Planch. ex Maxim. (－)

林縁にやや普通に生育するつる性木本。葉はサルナシより薄質で光沢がない。一部の葉には白斑がはいるが赤く色づくことはない。花は7月中旬～下旬。

*85年目録で記録されているミヤママタタビはまだ確認できない。一方、普通にあるマタタビが記録されていないことから、これとの誤認と思われる。

----オトギリソウ科 Hypericaceae (Guttiferae)-----

127. オトギリソウ *Hypericum erectum* Thunb.

攪乱された場所にややまれの小型の多年草。葉は広披針形、なかば茎を抱き対生。葉を透かすと黒点があるのがオトギリソウ属の特徴。花は7月下旬～8月中旬。

----ケシ科 Papaveraceae-----

128. クサノオウ *Chelidonium majus* L. var. *asaiticum* (H. Hara) Ohwi

攪乱されたやぶなどにまれ(南7の道のふち)の小型の多年草。植物体は粉白色を帯び、茎葉を切ると黄色い乳液が出る。花は7月上旬～中旬。

129. エゾエンゴサク *Corydalis ambigua* Cham. et Schltldl.

林床に普通に生える小型の多年草。地下に径1-2cmの球形の塊茎がある。花の色は通常青紫色だが薄いものから赤っぽいものまで変化に富み、葉は1～3回3出複葉で小葉の幅にも変化がある。花は4月下旬～5月上旬。

130. ムラサキケマン *Corydalis incisa* (Thunb.) Pers. (－)

林内や林縁にやや普通の小型の越年草。花の色は紫色、地下に球茎はない。温帯系の種。花は5月下旬～6月上旬。

----アブラナ科 Brassicaceae (Cruciferae)-----

131. ヤマハタザオ *Arabis hirsuta* (L.) Scopoli (－)

やや暗い林内にやや普通の小型～中型の越年草。根生葉は長楕円状へら形で毛が多い。白色花で長角果は長線形で長く直立する。花は5月下旬～6月上旬、果実は7月上旬～中旬。

132. ハルザキヤマガラシ、セイヨウヤマガラシ(戦後帰化) *Barbarea vulgaris* R. Br.

(一)

日当りのよい草地縁にややまれの中型の草本。茎葉は無柄で基部耳形となって茎を抱く。黄色花は5月中旬～下旬。

133. ナズナ、ペンペンゲサ *Capsella bursa-pastoris* Medicus (一)

攪乱地にやや普通の小型～中型の越年草。根出葉は頭大羽状に分裂するが変化が大きい。茎葉は基部が矢じり形で茎を抱く。白色花で、三味線のばち形の果実が特徴。花は5月中旬～6月下旬。

134. タネツケバナ *Cardamine flexuosa* With. (一)

道路や草地縁の湿地や側溝にやや普通の小型の1年～越年草。葉は羽状複葉で白色花、花弁は長さ3-4mmと小さい。花は5月中旬～下旬。

135. コンロンソウ *Cardamine leucantha* (Tausch.) O. E. Schulz

林内に比較的普通の中型の多年草。アブラナ科としては全体大きく、羽状複葉の小葉は長橢円状披針形で先は鋭尖形。白色花で長角果は線形。花は5月下旬から、果実は9月。

136. エゾノジャニンジン *Cardamine schinziana* O. E. Schulz (一)

林縁の湿地にまれ(6林班)の小型の多年草。羽状複葉で小葉は細長い、花は白色で花弁は長さ7-8mmと大きい。日高地方に固有の種で日本絶滅危惧II類。花は5月中旬～下旬。

137. マメゲンバイナズナ(明治帰化) *Lepidium virginicum* L. (一)

道路縁にまれに生える小型の1年～越年草。花は緑白色で小さい。短角果は円形～広卵形で先がくぼむ。花、果実は7月中旬。

138. イヌガラシ *Rorippa indica* (L.) Hiern (一)

攪乱された明るい草地にまれに生える多年草。スカシタゴボウに似るが、長角果は線形で斜上または開出。葉は単葉。黄色い花、果実は8月。

139. スカシタゴボウ *Rorippa islandica* (Oeder) Borlas

攪乱地のやぶなどにまれの小型～中型の1年～越年草。黄色花で角果はあまり伸びず長橢円形。葉は単羽状から羽状に浅～深裂する。花・果実は7月。

140. キレハインヌガラシ(戦後帰化) *Rorippa sylvestris* (L.) Besser (一)

草地や牛舎の縁などの攪乱地にやや普通の草本。葉は羽状複葉で花は黄色、長角果。根茎で広がる。花は6月下旬～7月下旬。

----ベンケイソウ科 *Crassulaceae*-----

141. ミツバベンケイソウ *Hylotelephium verticillatum* (L.) H. Ohba (一)

林床にまれに生える小型～中型の多年草。茎は直立し、茎葉は3輪生、やや粉白を帯びる。

----ユキノシタ科 *Saxifragaceae*-----

142. ツルネコノメソウ *Chrysosplenium flagelliferum* F. Schmidt

湿地や小流ふちにやや普通の小型の多年草。ネコノメソウ属は計5種ある。本種はつる状に

走出枝を伸ばし、葉は互生し葉の歯がヤマネコノメソウより深いのが特徴。花は5月上旬から。

143. ネコノメソウ *Chrysosplenium grayanum* Maxim.

湿地にやや普通の小型の多年草。葉は対生する。ネコノメソウ属の中では最も耐水性があるようで、一時的に溜った水中で生育していることもある。花は5月上旬から、果実は7月。

144. ヤマネコノメソウ *Chrysosplenium japonicum* (Maxim.) Makino (－)

林内や牧草地の湿地にやや普通の小型の多年草。葉は互生しツルネコノメソウに似るが、葉がつくあたりの茎に開出毛がある。葉の歯もツルネコノメソウに較べるとより浅い。花は5月。北海道希少種。

145. チシマネコノメソウ *Chrysosplenium kamchaticum* Fisch. ex Seringe (－)

林内の適湿地にやや普通の小型の多年草。葉は対生し茎に毛はない。根出葉が厚く脈にそって白くなり、根際から地上に走出枝を出す。花は5月、果実は7月。

146. マルバネコノメソウ *Chrysosplenium ramosum* Maxim. (－)

林内の適湿地にややまれ(11林班)の小型の多年草。ネコノメソウ、チシマネコノメソウと同様に葉は対生するが、茎は有毛。

147. ノリウツギ、サビタ *Hydrangea paniculata* Siebold et Zucc.

林縁や明るい湿地縁などに比較的普通の落葉低木。対生する葉をもち、茎の先端に白い花の円錐状花序をつけ周辺に中性花をつける。果実は9月～10月。

148. ツルアジサイ、ゴトウヅル *Hydrangea petiolaris* Siebold et Zucc.

樹幹を登はんするツル性木本。イワガラミに似るがこちらの方がずっと多い。葉縁の鋸歯がより小さく、中性花のがく片は数枚からなる。春先林内を歩くと、冬の間に落ちた花序が林床に見られ、近くにあることが分かる。花は7月、果実は9月～10月。

149. エゾノクロクモソウ *Saxifraga fusca* Maxim. var. *fusca* (－)

小流ふちの崖などに比較的普通の多年草。葉は腎円形で縁に三角形の鋸歯がある。緑白色の花。花と果実は9月～10月。

150. イワガラミ *Schizophragma hydrangeoides* Siebold et Zucc.

樹幹を登はんするツル性木本でツルアジサイよりもまれ。ツルアジサイに似るが葉縁の鋸歯がより粗く、葉裏はより白く葉柄がしばしば赤く色づく。花序の中性花のがく片は1枚。花は8月。

151. ブダヤクシュ *Tiarella polyphylla* D. Don

やや暗い林床にややまれに生える小型の多年草。茎は立ち、根出葉と茎葉が2、3枚つく。葉は円心形で浅く5裂、鈍鋸歯がある。花は5月、果実は9月。

*85年目録にはトリアシショウマ、ウメバチソウ、ダイモンジソウが記録されているがまだ確認していない。やや普通にあるエゾノクロクモソウがリストされていないので、「ダイモンジソウ」はこれとの誤認と思われる。

----バラ科 Rosaceae-----

152. ヒメキンミズヒキ *Agrimonia nipponica* Koidz. (一)

攪乱された草地縁などにややまれの小型の多年草。キンミズヒキに似るが、羽状複葉は3－5小葉と少なく、花、果実もより小さい。花は8月中旬～下旬。

153. キンミズヒキ *Agrimonia pilosa* Ledeb. var. *japonica* (Miq.) Nakai

攪乱された草地縁から林床まできわめて普通の小型～中型の多年草。茎は多毛、葉は羽状複葉で小葉は5－9枚。多数の黄色い花をつけた細長い花穂。株、葉、花、果実の大きさはかなり変異がある。花、果実は8月～10月。

154. ヤマブキショウマ *Aruncus dioicus* (Walt.) Fern. var. *tenuifolius* (Nakai) H. Hara

林縁にややまれの中型で雌雄異株の多年草。ユキノシタ科のトリアシショウマに似て2回3出複葉だが、茎基部に鱗片状の密毛がなく、葉脈がより直線的に並行してでる。花は7月。

155. ヘビイチゴ *Duchesnea chrysantha* (Zoll. et Mor.) Miq. (一)

やや適湿の林縁や林道、草地などにやや普通の小型の多年草。葡萄状の茎に葉が互生し3小葉からなる。がく片の間に大きな副がく片を伴う。温帯系の種。花は5月下旬～6月。

156. オニシモツケ *Filipendula kamtschatica* (Pall.) Maxim.

林縁の草原や林床にややまれの中型～大型の多年草。葉は円心形で掌状に5中裂し、葉柄に小形の側小葉を数個つける。托葉は草質で緑色。白色花は7月。

157. エゾノシモツケソウ *Filipendula yezoensis* H. Hara (一)

中央道路沿いの牧草地(南5)ふちにまれに生育する中型の多年草。オニシモツケに似るが托葉は膜質で褐色、赤色の花である。花は7月。

158. オオダイコンソウ *Geum aleppicum* Jacq.

林床や林縁のやぶに普通の多年草。ダイコンソウに似るが、根生葉の頂小葉は先が尖り基部はくさび形。果序が長卵形になる。果実は7月上旬～中旬。

159. ダイコンソウ *Geum japonicum* Thunb. (一)

林床に普通の多年草。オオダイコンソウに似るが、根生葉の頂小葉は幅広く先は鈍形で基部は広いくさび形。果序は長く伸びず球形。花は7月、果実は9月～10月。

160. ヒメヘビイチゴ *Potentilla centigrana* Maxim. (一)

道路縁にまれに小型の多年草。地上を葡萄する茎から3小葉を出し、一見ヘビイチゴに似るが花は小さく副がく片がない。花は6月。

161. ミツモトソウ *Potentilla cryptotaeniae* Maxim. (一)

攪乱地にややまれの小型～中型の多年草。全体に開出毛が多く茎は立ち3小葉からなる。エゾノミツモトソウに似るが小葉の先は尖り、托葉は細く葉柄に沿ってつく。黄色花は8月～9月。

162. ミツバツチグリ *Potentilla freyniana* Bornm. (一)

林縁や牧草地ふち、道路ふちなどにやや普通の小型の多年草。花をつけた茎は立ち根生葉は3小葉となる。黄色花は5月。

163. エゾノミツモトソウ (明治帰化) *Potentilla norvegica* L. (－)

庁舎北側の攪乱地に生える多年草。茎は立ちミツモトソウに似るが、葉は3－5小葉で先は鈍形。托葉はより大型で深い鋸歯があり、葉柄には基部のみで付く。黄色花は7月。

164. カマツカ *Pourthiaea villosa* (Thunb.) Decne. var. *laevis* (Thunb.) Stapf. (－)

林内にまれに生える落葉低木。葉は紙質でややかく、先はやや尾状に伸びる。縁には鋭い小型の鋸歯が多数ある。温帯系の種。

165. ミヤマザクラ *Prunus maximowiczii* Rupr. (－)

林内や林縁に普通にある落葉性木本。サクラ属としては葉が小さめで縁には二重鋸歯がある。花序につく苞が大きく目立つ。白色花。花は5月中旬～下旬。果実は6月下旬以降。

166. スモモ (植栽) *Prunus salicina* Lindley (－)

牧草地の縁などに植栽されている落葉性木本。白い花が前年の枝の葉腋に1－3個つき、葉より早く咲く。花は5月中旬。

167. オオヤマザクラ、エゾヤマザクラ *Prunus sargentii* Rehder

林内に普通の落葉性木本。出始めの葉は赤茶色で葉の基部は円形～浅心形。花はピンク色で散形花序につく花柄はほとんどない。花は5月上旬。果実は6月以降。

168. シウリザクラ *Prunus ssiori* F. Schmidt

林縁にややまれの落葉性木本。葉が大きく基部心形となり鋸歯がのぎ状に伸びるのが特徴。春先は葉柄が赤色を帯び目立つ。多数の白色花をつけた総状花序となる。

169. カスミザクラ *Prunus verecunda* (Koidz.) Koehne (－)

林内にややまれの落葉性木本。葉の基部は鈍形～円形。エゾヤマザクラに似るが葉柄や花柄、小花柄に毛があり、花序は散房花序で花柄が伸びる。温帯系の種。花は5月中旬。

***. サクラ属 *Prunus* sp.

カスミザクラに似るが、葉柄に毛がない個体があり、検討する必要がある。

170. ノイバラ *Rosa multiflora* Thunb. (－)

林道縁にまれ(2林班)のブッシュ状の落葉低木。植物体に刺があり、葉は羽状複葉となり花は円錐状につく。まだ開花を確認していない。自生ではなく鳥散布などにより移入されたものかもしれない。

171. クマイチゴ *Rubus crataegifolius* Bunge

攪乱された草地や牧草地内の明るい湿地のふちに比較的普通に生えるブッシュ状の落葉低木。葉は単葉で広卵形～卵円形で3－5浅～中裂する。花は6月下旬。キイチゴ属*Rubus*は3種あり、いずれも植物体に刺があるので家畜による採食がされにくいものと思う。

172. ウラジロイチゴ、エビガライチゴ *Rubus phoenicolasius* Maxim.

明るい牧草地にややまれに生えるブッシュ状の落葉低木。茎上部に赤い腺毛が目立ち、葉は3小葉、葉裏に白綿毛が密生し小葉の先は鋭頭。花は7月。

173. ナワシロイチゴ *Rubus parvifolius* L. (－)

明るい牧草地や草地縁にクマイチゴとともに普通に生えるブッシュ状の落葉低木。葉は3小葉からなり、小葉は鈍頭～円頭で他のキイチゴ属のように鋭頭にならない。花は7月。

174. ナガボノシロワレモコウ *Sanguisorba tenuifolia* Fisch. ex Link var. *alba* Trautv. et Mey.

湿地の縁にややまれの中型の多年草。羽状複葉となり小葉は11～15枚。花穂は円柱形で細く、枝の先に垂れ下がる。花は9月。

175. アズキナシ *Sorbus alnifolia* (Siebold et Zucc.) C. Koch

林内にやや普通にある落葉性木本。若枝に皮目が目立つ。ナナカマド属だが単葉となり、側脈が顕著で8～10対、縁には重鋸歯がある。

176. ホザキシモツケ *Spiraea salicifolia* L.

やや明るい適湿の林縁にまれ(2林班)の落葉低木でブッシュ状になる。葉は狭長卵形～狭卵形で縁には鋭い鋸歯がある。多数のピンク色の花が円錐花序につく。日本絶滅危惧II類。

177. コゴメウツギ *Stephanandra incisa* (Thunb.) Zabel (－)

林内に普通に生育する茎が細くブッシュ状になる落葉低木。葉は三角状広卵形で、先は尾状にとがり、やや羽状に浅～中裂して重鋸歯がある。北海道では日高地方のみにある温帯系の種。花は7月。

*85年目録に記録されているエゾノコリンゴ、ズミ、キジムシロ、ヒロハノカワラサイコ、エゾノウワミズザクラ、オオタカネイバラ、エゾイチゴ、ナナカマドはまだ確認できていない。このうちエゾノウワミズザクラは館脇(1939b)にもなく、この地域に考えにくく誤認と思われる。

-----マメ科 Fabaceae (Leguminosae)-----

178. ヤブマメ *Amphicarpaea bracteata* (L.) Fernald subsp. *edgeworthii* (Benth.)

Ohashi var. *japonica* (Oliver) Ohashi

やや明るいやぶにややまれに生えるつる性の多年草。葉は3小葉で小葉は広卵形～卵形。花は淡い紫色で長さ15-20mm。果実は扁平で両縁に伏毛があり9月。

179. ヤブハギ *Desmodium podocarpum* DC. var. *mandshuricum* Maxim. (－)

やや暗い林道や林縁にややまれに生える小型～中型の多年草。3小葉。淡赤色の花は長さ3-4mmで8月、果実は関節を持つ豆果で9月下旬。

180. ヤマハギ、エゾヤマハギ *Lespedeza bicolor* Turcz.

日当りのよい草原、道路ふちや崖近くの明るい林床に普通のブッシュ状落葉半低木。細い枝の先は垂れ、葉は3小葉、花は紅紫色。果実は9月下旬。

181. メドハギ *Lespedeza juncae* (L. fil.) Pers. var. *subsessilis* Miq. (－)

攪乱された日当りのよい草原にまれに生える中型の多年草。茎は立ち上がり、葉は3小葉をなし小葉は細長く狭倒卵形～線形。淡黄色の花は9月。

182. イヌエンジュ *Maackia amurensis* Rupr. et Maxim. subsp. *buergeri* (Maxim.) Kitam.

林内から牧草地にやや普通の落葉性小高木。羽状複葉で出始めの葉は銀白色でよく目立つ。特に牧草地(12区)では幼木が多数残っており、家畜に採食されない不嗜好植物と思われる。

183. ムラサキツメクサ、アカツメクサ(牧草・明治帰化) *Trifolium pratense* L.

道路縁などに逸出し普通に生える小型の多年草。茎は立ち、葉は3小葉、小葉の先は鈍頭で先はややとげ状に突出する。赤紫色の花は8月～10月。

184. シロツメクサ(牧草・明治帰化) *Trifolium repens* L.

ムラサキツメクサと同様の生育地に普通に生える多年草。茎は地上を這い、葉は3小葉、小葉は先がややくぼむ。白色の花は7月～10月。

185. ツルフジバカマ *Vicia amoena* Fisch. (－)

明るいやぶのふちにややまれの多年草。羽状複葉で小葉は10～16枚。葉軸の先は伸びて枝分かれし他物にからむ。果実は10月。

186. クサフジ *Vicia cracca* L.

やぶのふちにややまれの多年草。羽状複葉で上種と同様他物にからむ。小葉はずっと小さく数が18～24枚と多い。花は9月。

*85年目録では他にエゾノレンリソウ、クズ、ナンテンハギが記録されているがまだ確認していない。

----カタバミ科 Oxalidaceae-----

187. カタバミ *Oxalis corniculata* L. (－)

草地や攪乱地に生える小型の多年草。エゾタチカタバミに似るが茎は地上を這う。3出掌状複葉で托葉は耳状でより明ら。黄色花と果実は7月～10月。

188. エゾタチカタバミ *Oxalis fontana* Bunge (－)

林道沿いや牧草地のやぶなどにやや普通の小型の多年草。茎が立つ。3出掌状複葉で托葉はやや不明瞭。黄色花と果実は7月～9月。

----フウロソウ科 Geraniaceae-----

189. ゲンノショウコ *Geranium nepalense* Sweet subsp. *thunbergii* (Siebold et Zucc.) Hara

林縁ややぶなどに普通の多年草。葉身は3～5中～深裂する。花、果実は8月～10月。

190. ミツバフウロ *Geranium wilfordii* Maxim. (－)

林縁ややぶなどに比較的普通の多年草。葉身は3深裂し葉裂片の先が尖る。花、果実は8月。

*85年目録にはエゾフウロが記録されているが確認できない。一方、比較的普通のミツバフウロが記録されていないのでこれの誤認と考えられる。

----トウダイグサ科 Euphorbiaceae-----

191. マルミノウルシ *Euphorbia ebracteolata* Hayata (一)

林床に普通の多年草。地上部はやや多汁質で地下部が肥大し、葉は長橢円形で鈍頭、帯赤色を呈する。植物体に白い乳液があるため家畜に採食されない不嗜好植物と思われる。日本絶滅危惧IB類、北海道絶滅危急種。花は4月下旬～6月上旬、果実は6月下旬。

*85年目録ではノウルシが記録されているが確認できない。牧場に普通のマルミノウルシが記録されていないのでこれの誤認と思われる。

----ミカン科 Rutaceae-----

192. キハダ、ヒロハノキハダ *Phellodendron amurense* Rupr.

日当りのよい林縁にややまれの落葉高木で時に大木となる。葉は対生し羽状複葉、2－6対の小葉があり、小葉の先は鋭く尖り基部はゆがんだ鈍形、縁は細鋸歯で目だたず裏面は白色を帯びる。花は6月下旬。

193. サンショウ *Zanthoxylum piperitum* (L.) DC. (一)

やや暗い林内にややまれにある落葉低木。枝に刺があり葉は互生で羽状複葉。芳香があり、果実や葉は香辛料として利用される。温帯系の種。果実は9月下旬。

----ニガキ科 Simaroubaceae-----

194. ニガキ *Picrasma quassioides* (D. Don) Benn. (一)

林内や林縁に比較的普通の落葉高木で高さは10mくらいまで。葉は互生し、羽状複葉で小葉は3－6対、縁の鋸歯は明瞭。枝は赤褐色で皮目が目立ち、枝を切ってなめると苦い。花は6月上旬～中旬。

----ウルシ科 Anacardiaceae-----

195. ツタウルシ *Rhus ambigua* Lavall. ex Dipp.

林内から草地までに普通のつる性の木本。幹に登はんするが、地上を這うだけで繁茂している場合もある。3小葉を持ち、春先の葉は赤紫色でつやがあり秋には紅葉する。かぶれる事があるので注意が必要である。花は5月下旬～6月上旬、果実は7月下旬以降。

196. ヤマウルシ *Rhus trichocarpa* Miq.

明るいやぶのふちにややまれの落葉小高木。葉は互生で羽状複葉、5－6対の小葉があり葉柄に褐色の短軟毛がある。花は6月上旬。

*85年目録で記録されているヌルデは確認できない。これまで出されている分布図からもヌルデが日高地方に分布するのは疑わしく、誤認と思われる。

----カエデ科 Aceraceae-----

197. ミツデカエデ *Acer cissifolium* (Siebold et Zucc.) K. Koch (一)

林内に普通の落葉高木。カエデ属Acerは葉が対生になる。葉は3小葉より成り、小葉は楕円形。花序は長い総状につく。温帯系の種。花は5月中旬、果実は6月中旬以降。

198. カラコギカエデ *Acer ginnala* Maxim. (一)

明るい草地縁の溝にまれ(南2)の落葉低木。葉は楕円形で3浅裂、全体に大きな重鋸歯がある。

199. ハウチワカエデ *Acer japonicum* Thunb. (一)

林内にまれの落葉高木。大型の葉で葉身は9-11浅中裂、裂片のふちに重鋸歯がある。花序は散房状、花は赤く5月中旬。牧場に生えるカエデ属の中では個体数が少ない。

200. クロビイタヤ *Acer miyabei* Maxim. (一)

林内にやや普通の落葉高木。葉身は3-5中裂し、裂片はさらに1-2裂し、裂片の先は円〜鈍形。葉の両面に短立毛がある。円錐状散房花序で、淡黄色の花は6月中旬〜下旬。種小名は北大宮部金吾博士への献名。温帯系の種で、日本絶滅危惧IB類。

201. エゾイタヤ *Acer pictum* Thunb. subsp. *mono* (Maxim.) H. Ohashi — *Acer mono* Maxim. var. *glabrum* (Lev. et Van.) H. Hara

林内に普通な落葉高木。葉が5-7中裂し、裂片には通常鋸歯はなく先は尾状鋭尖頭する。葉が5-7浅裂するものをアカイタヤsubsp. *mayrii*とし、同様に5-7浅裂し葉裏全体に短毛のあるものをオニイタヤsubsp. *pictum*とし日高地方に分布するとされるが、毛の有無は生育段階によっても変わり今後の検討が必要である。花序は散房状、花は黄色で5月中旬〜下旬、果実は7月中旬以降。

202. オオモミジ *Acer amoenum* Carr. var. *amoenum* (一)

林内にエゾイタヤと共に普通な落葉高木。葉は7中裂し細かくそろった単重鋸歯がある。花序は散房状、花は帯暗赤色で5月中旬〜下旬、果実は8月下旬以降。

*85年リストではヤマモミジが記録されているが、オオモミジがないので、この誤認と思われる。

----ツリフネソウ科 *Balsaminaceae*-----

203. キツリフネ *Impatiens noli-tangere* L.

水湿地のふちに普通に生育する中型の多年草。茎は多汁質でツリフネソウに似るが、葉に鋸歯がなく赤色花。

204. ツリフネソウ *Impatiens textori* Miq.

キツリフネと同様、水湿地のふちに普通に生育する中型の多年草。葉に鋸歯があり黄色花。果実は9月。

----モチノキ科 *Aquifoliaceae*-----

*85年目録ではハイイヌツゲが記録されているが確認できない。館脇(1939b)にもなく疑わしい。

----ニシキギ科 Celastraceae-----

205. ツルウメモドキ *Celastrus orbiculatus* Thunb.

日当りのよい道路縁や林縁にややまれのつる性の落葉木本。他物によりかかって横に広がる。葉身は洋紙質で楕円形～倒卵円形。さく果は球形で黄熟し裂けて中から赤い仮種皮が見える。葉裏の脈に立毛がある型をオニツルウメモドキ var. *papillosus* として分け、牧場内でも時に見られる。花は6月上旬～中旬、果実は10月中旬。果実をつけた枝は花材として使われる。

206. ツルマサキ *Euonymus fortunei* (Turcz.) Hand. - Mazz.

林内にやや普通に生える樹幹を登はんするつる性の常緑木本。地上をほう茎に着く葉は小さく3cm長くらいまでで暗緑色となり、脈に沿って白くなる。樹幹を登はんする茎の葉は5cm長とかなり大きくなり、より革質で一見別種のように見える。

207. ツリバナ *Euonymus oxyphyllus* Miq. (－)

林内にまれの落葉小高木。葉は対生し卵形～楕円形。花は5数性で6月上旬、さく果は球形で翼はない。

208. マユミ *Euonymus sieboldianus* Bl.

林内や林縁の適湿地に普通の落葉小高木。葉は対生し葉身は長楕円形～楕円形。花は6月、果実は倒三角状心形のさく果で4稜あり、9～10月。ツリバナ類とともに材はエリマキと呼ばれ細工物に使われる。

*85年目録で記録されているヒロハツリバナ、オオツリバナはまだ確認していない。

----ミツバウツギ科 Staphyleaceae-----

209. ミツバウツギ *Staphylea bumalda* (Thunb.) DC.

明るい林縁や林内に普通のブッシュ状の落葉低木。葉は対生し3小葉から成る。白色の花は6月上旬～下旬、さく果は平たい風船状で先が二つに分かれ7月下旬以降に成熟。

----ツゲ科 Buxaceae-----

210. フッキソウ *Pachysandra terminalis* Siebold et Zucc.

やや暗い適湿の林内にやや普通の小型の常緑多年草。緑色の茎は分枝して地上をはい、先が立ち上がる。葉は互生だがやや輪生状に集まってつき、葉身は厚く深緑色で倒卵状へら形。穂状花序となる。カバープランツとして植栽されることがある。花は5月。

----ブドウ科 Vitaceae-----

211. ノブドウ *Ampelopsis brevipedunculata* (Maxim.) Trautv. var. *heterophylla* (Thunb.) H. Hara

明るい道路縁や林縁にやや普通に生えるつる性の落葉半木本。葉は次種より小さく幅4-10cm、3-5裂する。果実は10月。

212. ヤマブドウ *Vitis coignetiae* Pulliat ex Planch.

林縁に生育するやや普通のつる性の落葉木本。葉は大きく円心形で幅10-25cm、3-5浅裂

し縁に不整な歯牙があり、裏面にクモ毛がある。

----シナノキ科 Tiliaceae-----

213. シナノキ *Tilia japonica* (Miq.) Simonkai

林内に普通の落葉高木。葉はゆがんだ円形で先は尾状に伸び、基部はゆがんだ心形。葉の長さは大きいものでは10cmに達する。若い時を除けば星状毛はない。材は白色で細工物に利用される。

214. オオバボダイジュ *Tilia maximowicziana* Shirasawa (－)

林内に、シナノキと同様普通に生える落葉高木。葉はゆがんだ楕円形で先は短く尾状にとがり、基部はゆがんだ浅心形～心形。長さ10cm以上、若い枝や葉柄、葉裏に星状毛が密に生える。葉裏に毛がない型をモイワボダイジュ var. *yesoana* として分け、牧場内ではかえてこの変種の方が多い。花は7月中旬～下旬。

----ジンチョウゲ科 Thymelaeaceae-----

215. ナニワズ *Daphne pseudo-mezereum* A. Gray subsp. *jezoensis* (Maxim.) Hamaya (－)

林床にやや普通にみられる小型の落葉小低木。全株無毛。葉は枝先に互生してつき、倒披針状長楕円形。花は4月下旬～5月上旬。つぼみは前年の10月には既に用意されている。

----グミ科 Elaeagnaceae-----

216. アキグミ *Elaeagnus umbellata* Thunb. (－)

明るい林床にまれ(2林班)の落葉低木。葉の裏が銀白色になる。採取したのは稚樹で花は確認していない。牧場外より鳥によって種子散布されたものだろう。

----スミレ科 Violaceae-----

217. タチツボスミレ *Viola grypoceras* A. Gray (－)

林内や林縁、牧草地ふちなどに多い地上茎性の小型の多年草。オオタチツボスミレに似るが、花の距まで青紫色になり、托葉は櫛の歯状に深く切れ込み、より顕著。花は5月上旬～下旬。

218. オオタチツボスミレ *Viola kusanoana* Makino (－)

林内にまれの、地上茎をもつ小型の多年草。タチツボスミレに似るが、ずっと少ない。葉がより丸みをおび、花は青紫色だが距は白い。花は5月上旬。

219. オオバタチツボスミレ *Viola langsdoerffii* Fisch. subsp. *sachalinensis* W. Becker

— *Viola kamtschadalarum* W. Becker et Hultén (－)

林内にまれに見られる地上茎性の中型の多年草。全体大きく高さ20cm以上となり、托葉に鋸歯がないかあってもまばらで浅い。日本絶滅危惧II類。

220. ミヤマスミレ *Viola selkirkii* Pursh (－)

林内に見られ地上茎を持たない小型の多年草。ヒナスミレほど葉の先が伸びない。花は5月上旬。

221. ヒナスミレ *Viola takedana* Makino (－)

林内にやや普通に見られる地上茎を持たない小型の多年草。ミヤマスミレに似るが葉の先はより細く尖る。花は5月上旬。

222. サンシキスミレ (栽培逸出) *Viola tricolor* L. (－)

庁舎北側に数株みられる地上茎のある小型の草本。古い園芸植物で逸出したものと思われる。花は7月。

223. ツボスミレ、ニョイスミレ *Viola verecunda* A. Gray (－)

牧草地や林の縁のやや湿ったところに比較的普通に生える地上茎を持つ小型の多年草。花が小さくて通常白いがまれに青紫色のものがある。葉は左右基部がはり出しブーメラン形に近くなる。托葉は全縁かまばらな鋸歯で分かりやすい種。花は5月中旬～6月下旬と遅い。

224. ヒカゲスミレ *Viola yesoensis* Maxim. (－)

林内にやや稀(1、2林班)に生える地上茎のない小型の多年草。白い大型の花をつけ植物体に毛が多い。温帯系の種。花は5月上旬から中旬。

*85年目録ではスミレ属としてエゾノタチツボスミレ、アイヌタチツボスミレの2種のみを記録しているが確認できない。一方、牧場に普通のツボスミレやタチツボスミレは載っていない。

----ウリ科 Cucurbitaceae-----

225. アマチャヅル *Gynostemma pentaphylla* (Thunb.) Makino (－)

やや暗い林内にまれに生えるやぶにからまる全体柔らかい多年草。葉は5枚内外の小葉からなる鳥足状複葉。

226. ミヤマニガウリ *Schizopepon bryoniaefolius* Maxim. (－)

やや暗い林縁のやぶにからまり全体やや無毛で柔らかい多年草。葉は円心形で不明に5-7浅裂する。

----ミソハギ科 Lythraceae-----

227. エゾミソハギ *Lythrum salicaria* L.

牧草地ふちの側溝にややまれに生える中型の多年草。茎葉は対生し広披針形、無柄でやや茎を抱く。赤紫色の花からなる穂状花序が枝先に直立してつき、目立つ。花は8月中旬～下旬。

----アカバナ科 Onagraceae-----

228. ウシタキソウ *Circaea cordata* Royle (－)

林内にややまれの小型～中型の多年草。茎には開出する毛がある。茎葉は対生し葉身は卵形で基部は心形になるのが特徴。花は8月。

229. タニタデ *Circaea erubescens* Franch. et Savat.

林内にやや普通にある小型～中型の多年草。茎は帯紅色で若時以降はほとんど無毛。茎葉は対生し葉身は卵形～狭卵形で基部は円い。花は7月下旬～8月。

230. ミズタマソウ *Circaea mollis* Siebold et Zucc. (－)

林内にややまれの小型～中型の多年草。茎に反曲する細毛がある。茎葉は対生、葉身は狭卵形～卵状狭長楕円形。基部はくさび形～円形。花は8月。

231. イワアカバナ *Epilobium cephalostigma* Hausskn. (－)

林縁や小川の縁に生える小型～中型の多年草。茎の上部に細屈毛がある。柱頭は頭状。
アカバナ属 *Epilobium*では柱頭の形を確認しないと同定は難しい。花は7月～8月。

232. カラフトアカバナ *Epilobium glansulosum* Lehm. var. *asiaticum* H. Hara (－)

林縁や小川の縁に生える小型～中型の多年草。茎上部に屈毛と腺毛が混じる。柱頭は棍棒状。
花は8月。

233. アカバナ *Epilobium pyrricholophum* Franch. et Savat. (－)

草地縁にややまれの小型～中型の多年草。茎上部に腺毛が密生するのがよい特徴。柱頭は棍棒状。花は8月。

234. メマツヨイグサ (戦前帰化) *Oenothera biennis* L.

道路縁や荒地、牧草地に侵入するややまれの中型～大型の越年草。茎や果実に毛があり、大きな黄色花を付ける。冬期には越冬するロゼット葉が目立つ。花は8月。果実は9月。

*85年目録にはヤナギラン、エゾアカバナが記録されているがまだ確認していない。

----ウリノキ科 *Alangiaceae*-----

235. ウリノキ *Alangium platanifolium* (Siebold et Zucc.) var. *trilobum* (Miq.) Ohwi (－)

林内にまれ(6林班)の落葉小高木。葉は4角状円心形で、3－5浅裂し基部は心形。ウリに似た特徴のある葉形から和名がついた。花は6月中旬。

----ミズキ科 *Cornaceae*-----

236. ミズキ *Swida controversa* (Hemsl.) Sojak — *Cornus controversa* Hemsl. (－)

ややまれの落葉高木。枝は横に水平状に広がる。葉は互生し広卵形～楕円形で全縁、裏面は粉白色で5－9対の平行する葉脈が目立つ。

*85目録にはゴゼンタチバナが記録されているが確認できない。針葉樹林がほとんど発達しない本地域では生育は考えにくい。

----ウコギ科 *Araliaceae*-----

237. ケヤマウコギ *Acanthopanax divaricatus* (Siebold et Zucc.) Seem. (－)

林内から林縁に多い落葉低木で高さ3mくらいまで。枝に刺があり葉は5小葉からなる。若枝や花序に灰褐色の縮毛が密生する。果実は9月下旬～10月中旬。

238. コシアブラ *Acanthopanax sciadophylloides* Franch. et Savat.

林内にまれ(6林班)に生育する落葉高木で10m以上になる。植物体に刺はなく、葉は5小葉から成る。館脇(1939b)も「日高新冠事業区に、その産少なく」としている。

239. ヒメウコギ (栽培逸出) *Acanthopanax sieboldianus* Makino

林内にまれ (9 林班)。コシアブラに似て 5 小葉となる。栽培逸出と思われる。

240. ウド *Aralia cordata* Thunb.

中型～大型の多年草でやや普通。葉は長柄があり 2 回羽状に複生する。山菜として広く利用される。

241. タラノキ *Aralia elata* (Miq.) Seemann

日当りのよい林縁や牧草地縁などに普通に生える落葉低木。茎葉に刺がある。葉は互生して枝先につき 2 回羽状複葉。山菜 (タランボ) として広く利用される。

242. ハリギリ *Kalopanax pictus* (Thunb.) Nakai

林内に普通にある落葉高木で大木になる。枝に刺があり葉は円形で大きいものは径 20cm 以上となり 5 - 9 中裂する。

*85 年目録にはエゾウコギが記録されているが、館脇 (1939b) にもなく、この地域には考えにくい。一方、牧場に多いケヤマウコギが載っていないので、これを誤認したものと思う。

-----セリ科 *Apiaceae*(*Umbelliferae*)-----

243. エゾノヨロイグサ *Angelica anomala* Lallemant

林床にやや普通にある大型の多年草。2 - 3 回 3 出羽状複葉で、オオバセンキュウに似るが、より小葉の質が厚く、葉裏が白色を帯びる。花は 7 月下旬～8 月。

244. アマニユウ *Angelica edulis* Miyabe ex Yabe (－)

林床にやや普通の大型の多年草。1 - 2 回 3 出羽状複葉、小葉は広卵形で基部心形となる。

245. オオバセンキュウ *Angelica genuflexa* Nuttall (－)

林床に普通に生育する大型の多年草。1 - 2 回 3 出羽状複葉でエゾノヨロイグサに似るが、葉の質がより薄く裏は白くならず淡緑色。花は 8 月。

246. エゾニユウ *Angelica ursina* (Rupr.) Maxim.

草原や明るい林床にややまれに生える大型の多年草。2 回 3 出羽状複葉。

247. シャク *Anthriscus aemula* Schischkin

林床ややぶに比較的普通に生える中型～大型の多年草。2 回 3 出羽状複葉で小葉は細裂する。山菜としても利用されるという。花は 6 月、果実は 7 月。

248. セントウソウ *Chamaele decumbens* (Thunb.) Makino (－)

落葉樹林林床から牧草地ふちまでに多い小型～中型の多年草。1 - 3 回 3 出羽状複葉で小葉は卵形でさまざまに切れ込む。セリ科のなかでは珍しく春に花をつける。花は 5 月上旬～下旬、果実は 6 月下旬。

249. ミツハ *Cryptotaenia japonica* Hassk. (－)

林床や草原に生える中型の多年草。和名のとおり葉は 3 小葉からなる。小葉は卵形で柄がなく縁には重鋸歯がある。香りがあり山菜として広く利用される。果実は 9 月。

250. オオハナウド *Heracleum dulce* Fisch.

やや攪乱されたやぶなどにややまれに生える中型～大型の多年草。葉は3出葉～羽状に5小葉になる。茎や葉柄に粗い毛がある。花は7月。

251. セリ *Oenanthe javanica* DC. (－)

小流ふちや側溝のやぶなどにややまれの小型の多年草。1－2回3出羽状複葉、小葉は卵形であらい鋸歯がある。山菜として利用される。

252. ヤブニンジン *Osmorhiza aristata* (Thunb.) Rydb.

やや暗い林床に普通の中型の多年草。2回3出羽状複葉、小葉は卵形で鋸歯がある。花は5月下旬、果実は7月。

253. ウマノミツバ *Sanicula chinensis* Bunge

やや暗い林床に普通の多年草。葉は3全裂し側小葉はさらに2深裂する。和名はミツバに似るが利用できないことによる。果実は9月～10月。

254. タニミツバ *Sium serrata* (Franch. et Savat.) Kitag. (－)

小流ふちや湿った林縁にややまれに生育する多年草。単羽状複葉で側小葉は1－2対で細かい鋸歯がある。温帯系の種。果実は9月。

255. カノツメソウ *Spuriopimpinella calycina* (Maxim.) Kitag. (－)

林床に普通に生育する多年草。2回3出複葉で上部の葉は3出葉。小葉は広卵形～広披針形で基部はくさび形で上半部に鋸歯がある。温帯系の種。花は8月、果実は10月。

256. ヤブジラミ *Torilis japonica* (Houtt.) DC.

林床にやや普通に生育する多年草。1－2回3出羽状複葉、羽片は細かく切れ込む。花は7月。

<双子葉植物: 合弁花類 Dicotyledoneae: Sympetalae>

----イチヤクソウ科 Pyrolaceae-----

257. ウメガサソウ *Chimaphila japonica* Miq. (－)

やや暗い林内にまれに生える小型の常緑草本状の小低木。茎が立ち、葉は互生だがやや輪生状に集まって数段つき、やや堅く濃緑色で時に脈が白色になる。花は7月。

258. イチヤクソウ *Pyrola japonica* Klenze ex Alef. (－)

やや暗い林内にやや普通にある小型の常緑多年草。根生葉はやや厚く表面は暗緑色で時に脈が白くなる、葉裏は赤色を帯びる事がある。花は総状花序にまばらにつく。花は7月中旬～下旬。

259. ジンヨウイチヤクソウ *Pyrola renifolia* Maxim. (－)

やや暗い林内にまれに生える小型の常緑多年草。細く長い根茎により栄養繁殖して広がる。根生葉は腎臓形で葉柄は細い。花は細い花茎に総状にまばらにつく。

*85年目録にはベニバナイチヤクソウが載っているが、やや普通にあるイチヤクソウが載って

いない。イチヤクソウは時に葉柄や花茎が赤色を帯びることがあり、これをベニバナイチヤクソウと誤認する事がある。

-----ツツジ科 Ericaceae-----

260. ヤマツツジ *Rhododendron obtusum* (Lindl.) Planchon var. *kaempferi* (Planchon) Wilson — *Rhododendron kaempferi* Planchon

尾根筋のやや乾いたところにややまれに生育する落葉低木。若枝や葉柄に淡褐色の伏した偏平の毛が密生する。牧場の技官によると「昔はかなりあったが園芸用に採取された」と言う。温帯系の種。花は6月上旬～中旬。

261. ナツハゼ *Vaccinium oldhamii* Miq. (—)

尾根筋から崖の上などのやや乾いた立地にまれに生育する落葉低木。若枝に短軟毛と腺毛があり、葉の縁にも腺毛が生える。

-----サクラソウ科 Primulaceae-----

262. オカトラノオ *Lysimachia clethroides* Duby (—)

林縁や草原にややまれの中型の多年草。葉は互生し葉裏に淡色の腺点が目立つ。茎の先に白い花を長い総状花序につけ先が垂れる。

263. コナスビ *Lysimachia japonica* Thunb. (—)

やや攪乱した林内にややまれの地上をほう小型の多年草。葉は対生し、葉腋に黄色い花をつける。花は6月下旬～7月中旬。

264. クサレダマ *Lysimachia vulgaris* L. var. *davurica* (Ledeb.) R. Kunth (—)

林縁や草原にやや普通に生える中型の多年草。葉は2－4枚が輪生または対生し、葉裏に黒色の腺点がある。茎の先に黄色花を円錐花序につける。

265. クリンソウ *Primula japonica* A. Gray (—)

林内や牧草地縁の適湿地にやや普通に生える中型の多年草。牧場では北部に多い。大型の柄のない根生葉をつける。花茎の先に2－5段に輪生してピンク色の花をつける。園芸用に栽培される。北海道絶滅危急種。花は6月上旬～中旬。

266. サクラソウ *Primula sieboldii* E. Morr. (—)

やや明るく適湿の林縁にややまれの小型の多年草。牧場では南部に多い。根生葉には長い葉柄がある。花茎の先にピンク色の花を散形につける。温帯系の種で日高地方は本種の北限地帯にあたる。園芸用に採取され少なくなっている日本絶滅危惧II類、北海道絶滅危急種。花は5月下旬。

-----エゴノキ科 Styracaceae-----

267. ハクウンボク *Styrax obassia* Siebold et Zucc. (—)

林内にやや普通にある落葉高木。葉は倒卵形～広倒卵形で、大きいものは長さ20cmに達し、縁に不規則な微凸歯牙があり裏面は星状毛が密生して灰白色。花は6月中旬。

----モクセイ科 Oleaceae-----

268. アオダモ *Fraxinus lanuginosa* Koidz. f. *serrata* (Nakai) Murata (－)

林内に普通の落葉高木だがヤチダモほど大きくならない。葉は対生し、羽状複葉で2(－3)対の小葉、縁には明瞭な細鋸歯がある。バット用材として利用される。花は5月中旬～6月中旬。

269. ヤチダモ *Fraxinus mandshurica* Rupr. var. *japonica* Maxim.

湿った林内や林縁にやや普通の落葉高木でしばしば大木になる。アオダモより少ない。葉は対生し、羽状複葉で4－5対の小葉から成る。小葉基部に茶褐色の縮毛があるのが特徴。果実は翼果で7月中旬以降。

270. イボタノキ *Ligustrum obtusifolium* Siebold et Zucc. (－)

林内にまれの落葉低木。庁舎周辺にも栽植されている。葉は対生して長楕円形、鈍頭で全縁。葉は半常緑的に冬に残る。花は7月。

271. ハシドイ、ドスナラ *Syringa reticulata* (Bl.) H. Hara

やや明るく適湿の林内から林縁、牧草地に普通の落葉小高木。葉は対生し広卵形～卵形で全縁。花は白色で円錐花序に密につき7月中旬。

----リンドウ科 Gentianaceae-----

272. エゾリンドウ *Gentiana triflora* Pallas

湿地のふちや草原に生育する小型～中型の多年草。牧場では南部にある。葉は対生し披針形で長さ6-10cm、裏面は粉白色を帯びる。上向きの青紫色花は茎の先や上部の葉腋につき3-5cm長。花は9月下旬～10月上旬。

273. フデリンドウ *Gentiana zollingeri* Fawcett

腐植質の多い林床や道路ふちの草地などやや普通の小型越年草。葉は対生し広卵形で長さ0.5-1cmと小さく、長さ1.5-2cmの青紫色の花を茎の先に上向きにつける。花は5月中旬～下旬。

274. ホソバナツルリンドウ *Pterygocalyx volubilis* Maxim. (－)

林内にまれに生えるつる性の多年草。茎は細く葉は対生で披針形、先が長く尖る。日本絶滅危惧IB類。

275. アケボノソウ *Swertia bimaculata* (Siebold et Zucc.) Hook. et Thoms. (－)

やや明るい道路ふちにまれの小型～中型の1年～越年草。黄白色の花は9月中旬～下旬。

*85年目録にはツルリンドウが記録されているが、まだ確認していない。

----ガガイモ科 Asclepiadaceae-----

276. イケマ *Cynanchum caudatum* (Miq.) Maxim. (－)

林縁のやぶなどにやや普通のつる性の多年草。茎を切ると白い乳液が出、葉は対生する。ガガイモに似るが、葉は卵形で基部は深い心形。花は白色で8月。

277. ガガイモ *Metaplexis japonica* (Thunb.) Makino

牧場南部の中央道路沿いに生えるつる性の多年草。茎を切ると白い乳液が出る。若い時は茎に毛が多い。葉は対生し長卵形で基部心形。花は淡紫色で8月。

278. オオカモメヅル *Tylophora aristolochioides* Miq. (－)

林内にまれのつる性の多年草。茎は無毛でわずかに毛がある。葉は対生し膜質で無毛、広披針形。まだ花、果実を見ない。

----アカネ科 Rubiaceae-----

279. クルマバソウ *Asperula odorata* L.

林床にやや普通の小型の多年草。葉は通常6－8枚輪生して数段につき倒披針形、茎の下部でも5－6枚ある。茎に逆刺がない。花がないとクルマムグラに見誤りやすいが、押し葉標本では葉が黒くならず、葉裏中脈上に上向きの刺毛がある。花は5月下旬～6月、果実は9月。

280. エゾノヨツバムグラ *Galium kamtschaticum* Steller var. *kamtschaticum* (－)

林床にまれの小型の多年草。葉は4枚輪生し長楕円形、3脈が目立つのがよい特徴。茎には逆刺がない。

281. キクムグラ *Galium kikumugura* Ohwi (－)

林床に普通の小型の多年草。やや軟弱な植物体。小さく狭倒卵形の葉は4－6枚輪生し、先は刺状にとがる。中脈の1脈しか目立たない。花の基部に1枚の苞が目立ち、果実には曲がった短毛がある。花は5月～6月、果実は7月。

282. ミヤマキヌタソウ *Galium nakaii* Kudo (－)

林内にまれの小型多年草。葉は4枚輪生し広披針形で3本の脈が目立つ。花は青緑色で6月。

283. オオバノヤエムグラ *Galium pseudo-asprellum* Makino (－)

林内から林縁に普通の多年草。茎は枝わかれし横に広がり、逆刺がある。葉は4－6枚輪生し倒披針形から倒披針状長楕円形。茎の中部の葉は6枚で大きい。花序は長く、3－4回分枝する。花は7月、果実は8月～10月。

284. ホソバノヨツバムグラ *Galium trifidum* L. var. *brevipedunculatum* Regel (－)

湿った溝などにまれの小型～中型の草本。狭長楕円形の葉が4枚内外輪生し、茎や葉縁に逆刺がある。果実が無毛なのはよい特徴。果実は10月。

285. クルマムグラ *Galium trifloriforme* Komar. var. *nipponicum* (Makino) Nakai (－)

林床に普通の小型～中型の多年草。茎に逆刺がなくクルマバソウに似るが、葉は中部以上では6枚輪生で安定し、7－8枚になることなく、披針形である。葉は茎のごく下部部では4－6枚になる。押し葉標本では葉が黒くなることが多く、葉裏中脈には刺状毛がない。果実は6月～7月。

*85年目録にはオククルマムグラ、ヨツバムグラが載っているが確認していない。ヨツバムグラはこの地域には考えにくい。一方で普通にあるキクムグラが載っていないので、これと誤認したと思われる。

----ヒルガオ科 Convolvulaceae-----

286. ネナシカズラ *Cuscuta japonica* Choisy (－)

牧場北部の草原にやや普通に生育する葉緑体をもたない寄生植物。オオヨモギなどの高茎草本に巻きつき養分を取る。茎は細く無毛、葉は鱗片状で目立たない。果実は9月～10月。

----ハナシノブ科 Polemoniaceae-----

287. エゾノハナシノブ *Polemonium coeruleum* L. subsp. *yezoense* (Miyabe et Kudo) Hara (－)

林床から林縁にまれ(6林班)に生える中型の多年草。互生する葉は羽状複葉。日本絶滅危惧II類、北海道希少種。

----ムラサキ科 Boraginaceae-----

288. エゾムラサキ *Myosotis sylvatica* (Ehrh.) Hoffm. (－)

林道縁などにややまれに生える多年草。茎葉とも毛が多く、花序の先はくると巻いている。淡青色の花は径5-6mm、6月上旬～中旬。

*85年目録ではタチカメバソウが報告されているが確認できない。

----クマツヅラ科 Verbenaceae-----

289. ムラサキシキブ *Callicarpa japonica* Thunb. (－)

やや乾いた林内にややまれの落葉低木。葉は対生し先は尾状に鋭尖、基部も長いくさび形、葉柄や若い茎に褐色の粉状毛がある。温帯系の種。花は7月下旬～8月上旬(?)。

290. カリガネソウ *Caryopteris divaricata* (Siebold et Zucc.) Maxim. (－)

放牧地から林にかけてやや普通に生育する中型～大型の多年草。茎の断面は四角形で上部枝分れし、葉は対生して広卵形。花は青紫色で目立つ。植物体を切ると悪臭があり、不嗜好植物。温帯系の種。花は8月中旬、果実は10月上旬。

291. クサギ *Clerodendron trichotomum* Thunb.

明るい林縁や牧草地縁などにやや普通に生える落葉低木。葉は対生し広卵形、縁は不明の鋸歯かほぼ全縁。若い葉に悪臭がある。温帯系の種。花は8月上旬。

----シソ科 Lamiaceae(Labiatae)-----

292. ジャコウソウ *Chelonopsis moschata* Miq. (－)

林床にややまれにある中型の多年草。茎の先は斜めに傾く、葉は広倒披針形で先は長くとがり、葉腋に大きな淡紅色の花をつける。花は8月上旬。

293. クルマバナ *Clinopodium chinense* (Benth.) O. Kuntze subsp. *grandiflorum* (Maxim.) H. Hara var. *parviflorum* (Kudo) H. Hara (－)

林内や林縁にやや普通に生える小型～中型の多年草。花序の小苞は線形で長く、花は仮輪状に離れてつく。花は7月中旬～8月下旬。

294. イヌトウバナ *Clinopodium micranthum* (Regel) H. Hara (－)

林内や林縁にやや普通に生える小型の多年草。がくに開出する長毛が多いのが特徴。花は8月。

295. ナギナタコウジュ *Elsholtzia ciliata* (Thunb.) Hylander

道路ふちや草地などの攪乱地にややまれ生える小型の多年草。花が一方に偏ってつき、なぎなた形の穂状花序になる。全体に芳香が強い。花は9月。

296. チシマオドリコソウ (明治帰化) *Galeopsis bifida* Boenn. (－)

中央道路ふちのやぶにまれに生える小型～中型の多年草。茎に下向きの剛毛が目立つ。

297. シロネ *Lycopus lucidus* Turcz. (－)

明るい湿地のふちにやや普通に生える中型の多年草。葉は狭長楕円形でがく歯は針状にとがる。花は8月。

298. ヒメシロネ *Lycopus maackianus* (Maxim.) Makino (－)

湿地のふちにややまれ生える小型～中型の多年草。葉は披針形で下部の葉はやや羽状欠刻様となる。がく歯は針状にとがる。葉の幅や茎の太さがより細い事でシロネから区別されるが、中間的な個体(18151)もある。

299. コシロネ *Lycopus ramosissimus* Makino var. *japonicus* (Matsum. et Kudo) Kitam. (－)

湿地のふちにまれに生える小型～中型の多年草。葉は菱状狭卵形でがく歯は三角形で鋭尖頭。果実は10月。

300. エゾシロネ *Lycopus uniflorus* Michx.

湿地のふちにまれに生える小型の多年草。葉は菱状卵形でがく歯は三角形鈍頭。

301. ハッカ *Mentha arvensis* L. var. *piperascens* Malinv. (－)

やや湿った草地のふちにまれに生える小型～中型の多年草。葉は狭卵形～長楕円形、上部の葉腋に淡紫色の花が集まる。全体に芳香がある。花は8月下旬。

302. ヒメジソ *Mosla dianthera* (Hamilt.) Maxim. (－)

ややまれに生える小型～中型の1年草。葉は1-3cmの葉柄があり葉身は卵形～広卵形、数対の粗い鋸歯があり鋭頭。花は8月下旬～9月上旬。

303. ウツボグサ *Prunella vulgaris* L. subsp. *asiatica* (Nakai) H. Hara

比較的攪乱された場所にややまれに生える小型の多年草。葉は1-3cmの葉柄があり葉身は卵状長楕円形。花穂は密に多数花をつける。花は7月上旬～中旬。

304. ヤマハッカ *Rabdosia inflexa* (Thunb.) Maxim. (－)

林内に普通の中型の多年草。葉は広卵形～三角状広卵形で葉柄に翼があるのが特徴。花は8月下旬～9月。

305. ヒメナミキ *Scutellaria dependens* Maxim. (－)

湿生のやぶなどにややまれに生える小型の多年草。全体に軟弱でやや無毛、葉は狭卵状三角

形で1～2対の低い鋸歯がある。花は7月。

306. エゾタツナミソウ *Scutellaria pekinensis* Maxim. var. *ussuriensis* (Regel)

Hand. - Mazz.

落葉樹林にやや普通に見られる小型の多年草。葉は卵状三角形で質が薄い。青紫色花は7月上旬～中旬。

307. エゾナミキ、エゾナミキソウ *Scutellaria strigillosa* Hemsl. var. *yezoensis* (Kudo)

Kitam. — *Scutellaria yezoensis* Kudo (—)

まれに生える小型～中型の多年草。葉は卵形～狭卵形で質はやや厚く鋭頭となる。日本絶滅危惧IB類。花は8月下旬。

308. ツルニガクサ *Teucrium viscidum* Blume var. *miquelianum* (Maxim.) H. Hara

(—)

やや暗い林内にややまれの小型の多年草。地下に細長い走出枝を出す。花は8月中旬。

*85年目録ではカワミドリ、オドリコソウ、ヒメオドリコソウ、ミソガワソウが報告されているが確認できない。

----ナス科 Solanaceae-----

309. イヌホオズキ (帰化) *Solanum nigrum* L. (—)

道路縁や草地縁などの日当たりよい攪乱地に生える小型の草本。森田(1981)は帰化植物として取り扱っていないが、太刀掛(1998)では部分帰化として紹介している。白色花で黒色の果実。花は7月～10月、果実は10月。

*85年目録ではオオマルバノホロシが記録されているが未確認。

----ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae-----

310. トキワハゼ *Mazus pumilus* (Burm. fil.) van Steenis (—)

庁舎前の芝生内に生える小型の1年草。根ぎわの葉は大きく対生するが上部では小さくなって互生。茎の先に淡紅紫色の花をまばらに総状につける。花は7月中旬。

311. ミゾホオズキ *Mimulus nepalensis* Benth. var. *japonicus* Miq. (—)

湿地のふちや林内の適湿地にややまれの小型の多年草。茎は柔らかく、葉は対生し卵形～楕円形、上部の葉腋に1花をつける。黄色花は6月上旬～7月中旬。

312. オオヒナノウスツボ *Scrophularia kakudensis* Franch. (—)

草原に生える中型～大型の多年草。中央道路近くの7、8林班にあるが他では見ていない。茎は4稜形。葉は対生でやや厚く長卵形～卵形。温帯系の種。果実は10月。

313. タチイヌノフグリ (明治帰化) *Veronica arvensis* L. (—)

庁舎前の芝生や中央道路縁のやぶに侵入している小型の1～2年草。茎は円柱状。葉は対生し広卵形～三角状卵形、上部ではしだいに小型で互生になり青紫色の花を抱く。花は6月。

314. エゾクガイソウ *Veronicastrum sibiricum* (L.) Pennell subsp. *yezoense* (H. Hara)

Yamazaki

日当りよい草原にややまれに生える大型の多年草。5－10枚輪生する葉が数段つくのが特徴。茎の先に淡紫色の花からなる細長い穂状花序をつける。果実は9月下旬。

----ハマウツボ科 Orobanchaceae-----

315. キヨスミウツボ *Phacellanthus tubiflorus* Siebold et Zucc. (－)

木の根に寄生する小型の草本。林内にまれ。全体無毛で黄白色、葉は鱗片状に退化している。北海道希少種。花は7月上旬。

----ハエドクソウ科 Phrymaceae-----

316. ハエドクソウ *Phryma leptostachya* L. var. *asiatica* H. Hara (－)

やや暗い林床に普通に生育する小型～中型の多年草。対生する葉は長い柄をもつ。葉の形には卵円形のハエドクソウと長楕円形のナガバハエドクソウ *forma oblongifolia* の2型がある。後者の花のない個体はタニタデなど別の植物に見誤りやすい。昔はこれから殺虫剤を作ったというので有毒で不嗜好植物と思われる。花は7月～8月、果実は8月～10月。

----オオバコ科 Plantaginaceae-----

317. オオバコ *Plantago asiatica* L. (－)

道路縁や林道、牧草地など攪乱地に普通に見られる小型～中型の多年草。根生葉には葉柄があり葉身は卵形でやや平行する数脈があり表面波うつ。高く直立した花茎に目立たない花が穂状につく。果実は反り返り、1果に5個内外の種子がある。北海道各地にセイヨウオオバコが帰化しているとされるが、以上の形質から在来のおオオバコと同定した。果実は10月。

*85年目録ではエゾオオバコが記録されているが確認していない。一方で、普通にあるオオバコが記録されていないので、これと取り違えたものと思う。

----スイカズラ科 Caprifoliaceae-----

318. エゾニトコ *Sambucus racemosa* L. subsp. *kamtschatica* (E. Wolf) Hultén

— *Sambucus sieboldiana* (Miq.) Blume ex Graebn. var. *miquelii* (Nakai) H. Hara

日当りよい林縁などにやや普通の落葉低木。髓がスポンジ状のため、茎が軽く切りやすい。葉は対生し、羽状複葉で2－3対の小葉から成る。花は5月下旬。

319. ガマズミ、アラゲガマズミ *Viburnum dilatatum* Thunb. (－)

林内に普通の落葉低木。葉は対生し倒卵形～卵形、縁に鋸歯がある。若い枝や葉柄に密に開出毛がある。温帯系の種。花は7月中旬、果実は9月下旬～10月中旬。

320. カンボク *Viburnum opulus* L. var. *calvescens* (Rehder) H. Hara (－)

日当たりよい林縁などにややまれの落葉小高木。葉は対生し広卵形で3中裂し裂片に粗い鋸歯がある。

*85年目録ではチシマヒョウタンボクが記録されているが確認していない。高山植物なのでこのような低地には考えにくく、館脇(1939b)にもないので何かの誤認と思われる。

----レンブクソウ科 Adoxaceae-----

321. レンブクソウ *Adoxa moschatellina* L.

腐植の多い落葉樹林林床にやや普通に生える小型で軟弱な多年草。根出葉は2回3出複葉。花は黄緑色で径4-6mmと小さく目立たない。花は5月上旬。

----オミナエシ科 Valerianaceae-----

322. オトコエシ *Patrinia villosa* (Thunb.) Juss.

やや日当りのよい林内や草原の攪乱地に普通に生育する中型の多年草。葉は対生し頭大羽状に深裂する。茎の基部から長い走出枝を出して新苗をつくる。集散花序に小さい白色花を多数つける。果実は翼状。

*85年目録ではオミナエシも記録されているがまだ確認していない。

----キキョウ科 Campanulaceae-----

323. ツリガネニンジン *Adenophora triphylla* (Thunb.) A. DC. var. *japonica* (Regel) H.

Hara

日当たりよい草地のふちや林縁にやや普通に生える中型の多年草。輪生する葉を持ち、葉の幅や植物体の毛の量には個体変異が大きい。山菜としても利用される。青紫色花は8月中旬、果実は10月。

324. バアソブ *Codonopsis ussuriensis* (Rupr. et Maxim.) Hemsley (－)

中央道路縁の日当たりよい適湿のやぶにまれに生える多年草。植物体はつる状に伸び、葉裏に白毛を密生する。花は鐘形で内面が紫色。花は8月下旬。

325. タニギキョウ *Peracarpa carnosa* (Wall.) Hook. fil. et Thomson var. *circaeoides* (F.

Schmidt) Makino

やや暗い林床にまれに生える小型で柔らかい多年草。葉は互生し卵円形で長さ1-2cm。ろう斗形の長さ4-8mmの小さな白色花は6月上旬～中旬。

----キク科 Asteraceae (Compositae)-----

326. キタノコギリソウ *Achillea alpina* L. subsp. *japonica* (Heimerl.) Kitam. (－)

牧草地のふちにまれに生える中型の多年草。葉はくしの歯状に中～深裂する。薄いピンク色の花は8月中旬。

327. セイヨウノコギリソウ (明治帰化) *Achillea millefolium* L. (－)

牧草地ふちなどの攪乱地に侵入する小型～中型の多年草。葉が細かく切れ込み裂片は細かい。まだ花は見えない。

328. ノブキ *Adenocaulon himalaicum* Edgew.

適湿な林床から道路ふちまでに普通に生育する小型～中型の多年草。フキを小型にしたような葉だが葉柄に翼がある。果実はこん棒状で開出し粘性があり動物により運ばれる。果実は9月～10月。

329. ヤマハハコ *Anaphalis margaritacea* (L.) Benth. et Hook. fil.

日当りのよい道路ふちなどに生育する小型～中型の多年草。茎葉は出始めから白毛におおわれ目だつ。花は9月。

330. ゴボウ (明治帰化) *Arctium lappa* L. (－)

日当りよい牧草地にまれに見られる中型の多年草。栽培されるゴボウの逸出とも言われる帰化植物で都市部の空き地などにも多い。牧場ではアザミ属ほどには多くない。花は8月。

331. オトコヨモギ *Artemisia japonica* Thunb. (－)

やや日当りよい林縁などにややまれに生える中型～大型の多年草。葉はへら状くさび形で、頭花は幅1.5mmと小さい。花は10月。

332. イヌヨモギ *Artemisia keiskeana* Miq. (－)

崖近くの尾根などやや乾燥地にややまれに生育する小型～中型の多年草。葉は倒卵形またはさじ形、頭花は幅3-3.5mmで球形。

333. オオヨモギ、エゾヨモギ *Artemisia montana* (Nakai) Pamp.

林縁や草地縁などに普通に生える大型の多年草。葉は大きく20cm近くにもなり、羽状に中～深裂する。頭花は幅2.5-3mm。花は9月～10月。

334. ヨモギ *Artemisia princeps* Pamp. (－)

道路縁などにややまれにある中型の多年草。オオヨモギに似るが、葉はより小さく6-12cm長、茎への付着点に小さな小葉がつくのはよい区別点。頭花もより小さく幅1.5mm。牧場周辺の大規模林道のふちには多く見られ、ここから牧場内に侵入してきたと見られる本州産の植物。オオヨモギと中間的なサイズの個体もあり時に区別しにくい。花は10月。

335. エゾノコンギク *Aster ageratoides* Turcz. subsp. *ovatus* (Franch. et Sav.) Kitam.
var. *yezoensis* Kitam.

道路ふちや林縁にやや普通の小型～中型の多年草。淡青紫色の花で、葉の縁の鋸歯は明瞭に切れ込む。花は9月～10月。

336. エゾゴマナ *Aster glehni* F. Schmidt var. *glehni*

林内や林縁にやや普通の中型～大型の多年草。茎葉は長楕円形で両端がとがる。白色花は9月～10月。

337. ネバリノギク (戦後帰化) *Aster novae-angliae* L. (－)

大規模林道周辺の道路沿いにまれに見られる中型の多年草。ユウゼンギクに似るが植物体全体が粘り赤紫色の頭花をつける。花は9月。

338. ユウゼンギク (戦前帰化) *Aster novi-belgii* L. (－)

道路縁にまれに見られる中型の多年草。エゾノコンギクに似るが、葉の縁は切れ込まず、葉柄はほとんどなく基部はやや茎を抱く。ネバリノギクにも似るが植物体は粘らず花の色もより薄い。花は9月。

339. シラヤマギク *Aster scaber* Thunb.

やや暗い落葉樹林にややまれに生育する中型の多年草。根生葉は長柄があり卵形で基部心形。頭花は白色。花は8月～10月。

340. アメリカセンダングサ（戦後帰化） *Bidens frondosa* L. （－）

攪乱地にまれに生える中型の1年草。葉は羽状複葉で小葉に明らかな柄がある。果実はやや4稜で楔形、2個の剛刺がある。花は9月。

341. エゾノキツネアザミ *Breia setosa* (Bieb.) Kitam.

道路縁や攪乱された草地にまれに生える中型～大型の多年草。茎葉はおよそ15cm長で、似ているアザミ属 *Cirsium* より小さい。縁もあまり切れ込まず浅裂する程度。頭花は枝の先に上向きにつく。花は9月。

342. モミジガサ *Cacalia delphiniifolia* Siebold et Zucc. （－）

林床に普通にある中型～大型の多年草。切れ込みの深いモミジ状の葉が特徴で葉柄には翼がない。温帯系の種。山菜（シドケ）として利用される。花は7月～9月。

343. ヨブスマソウ *Cacalia hastata* L. subsp. *orientalis* Kitam.

林床に普通に生育する大型の多年草。葉は横に張り出しコウモリが羽を広げたような3角状ほこ形。葉柄に翼があり耳状に茎を抱く。

344. ヤブタバコ *Carpesium abrotanoides* L. （－）

林縁や牧草地内にやや普通に生える小型～中型の1年～越年草。枝の葉腋に無柄の頭花が下向きにつく。家畜に採食されにくいようで不嗜好植物と思われる。花は8月、果実は10月。

345. ガンクビソウ *Carpesium divaricatum* Siebold et Zucc. （－）

林内や林道縁、草地ふちのやぶなどに普通の中型の多年草。下部の葉の基部は心形。頭花は枝の先に點頭することが多い。北海道のものは総苞片の長さがほぼ同じの変種ノッポロガンクビソウと見られていたが、牧場のものは内片が明らかに長くガンクビソウにあたる。放牧家畜の不嗜好植物と思われる。花は8月、果実は10月。

346. オオガンクビソウ *Carpesium macrocephalum* Franch. et Sav. （－）

適湿の林床から林縁、牧草地縁などに普通の中型～大型の多年草。下部の葉は大きく、葉柄に翼状に流れる。頭花も非常に大きく径25-35mmで枝の先に點頭。北海道では日高地方のみに見られる温帯系の種。放牧家畜に採食されにくい不嗜好植物と思われる。花は8月、果実は10月。

347. ミヤマヤブタバコ *Carpesium triste* Maxim. （－）

やや暗い林床にややまれに生える小型の多年草。下部の葉では葉身が柄に流れる。頭花は枝の先に點頭し線形の苞が目立つ。花は9月、果実は10月。

348. フランスギク（明治帰化） *Chrysanthemum leucanthemum* L. （－）

牧草地縁にまれに見られる小型～中型の多年草。根生葉は長い柄があるが茎生葉は無柄で茎

を抱く。白色花は7月中旬。

349. エゾヤマアザミ *Cirsium heiiianum* Koidz. (一)

日当たりよい道路縁や林縁に普通に生える中型～大型の多年草。葉は15-25cm長、縁は浅～中裂する。頭花はやや穂状につきしばしば無柄となり上向きに咲く。花は8月～10月。

350. チシマアザミ *Cirsium kamtschaticum* Ledeb.

林床や林縁にやや普通の大型の多年草。30cmくらいの大きな葉はやや全縁で、基部は茎に沿下し刺がある。大きな頭花が下向きにつく。花は7月。

351. オオノアザミ *Cirsium oligophyllum* (Franch. et Sav.) Matsum. subsp. *aomorense* (Nakai) Kitam. (一)

日当りのよい中央道路ふちに生える中型の多年草。根生葉は大きく30cmほどで枯れずに残りややてりがある。花茎には小さい葉しかつかず大型の頭花が下向きにつく。温帯系の種。花は10月。

352. タカアザミ *Cirsium pendulum* Fisch. (一)

日当りのよい道路縁や草原にややまれの中型～大型の越年草。茎葉は15cmくらいで羽状に深裂することが多く、多数の頭花が長柄の先に下向きにつく。花は9月～10月。

353. アメリカオニアザミ (戦後帰化) *Cirsium vulgare* (Savi) Tenore (一)

牧草地に生える中型～大型の草本。葉は中裂し大型の頭花が上向きにつく。植物体全体に鋭い刺があるため家畜に採食されない。花は8月。

354. ヒメムカシヨモギ (明治帰化) *Erigeron canadensis* L.

牧草地ふちなどの攪乱地に生える中型の1年～越年草。茎に短い開出毛があり葉は線形、円錐花序に多数の小さな頭花をつける。花は9月。

355. ヒヨドリバナ *Eupatorium chinense* L. (一)

やぶなどにやや普通に生える中型の多年草。葉が対生する。葉が輪生するヨツバヒヨドリは牧場ではまだ見ていない。花は9月～10月。

356. サワヒヨドリ *Eupatorium lindleyanum* DC.

やぶにまれに生える中型の多年草。対生する葉は3小葉に分裂し、先があまり尖らず茎上部に毛が多い。花は10月。

357. ヒメチコグサ (明治帰化) *Gnaphalium uliginosum* L. (一)

牧草地のふちに生える小型の1年草。茎は多く分枝し葉は線形で両面に白い綿毛が生える。

358. コウリタンポポ、エフデギク (戦前帰化) *Hieracium aurantiacum* L. (一)

庁舎前の芝生内に生える多年草。大部分の葉は根生し、へら形で長い剛毛がある。花茎の先に数個の赤色頭花をつける。

359. ヤナギタンポポ *Hieracium umbellatum* L. (一)

中央道路ふちの草地に生える中型の多年草。茎葉は長楕円状披針形でほぼ無柄、縁にまばら

だが明瞭な鋸歯がある。黄色花は9月～10月。

360. オグルマ *Inula britannica* L. subsp. *japonica* (Thunb.) Kitam. (一)

攪乱された日当たりよい草地ふちにややまれの中型の多年草。茎葉の基部はやや茎を抱き、茎の先に数個の黄色い頭花をつける。花は8月～9月。

361. ニガナ *Ixeris dentata* (Thunb.) Nakai (一)

林道にまれの小型～中型の多年草。根生葉はさまざまに切れ込み、茎葉は基部が茎を抱く。黄色頭花には7小花あり、花は7月。

362. イワニガナ *Ixeris stolonifera* A. Gray (一)

牧草地ふちの砂地にまれの小型の多年草。茎は地上を匍匐し葉は卵形または楕円形で長柄がある。黄色頭花は6月中旬。

363. ヤマニガナ *Lactuca raddeana* Maxim. var. *elata* (Hemsl.) Kitam. (一)

林床に普通に生える小型～中型の多年草。葉は下部のものではときに羽裂し葉柄に翼状に流れる。頭花は上向きの黄色花。花は8月～10月。

364. ヤブタビラコ *Lapsana humilis* (Thunb.) Makino (一)

林にまれの小型の多年草。植物体は軟弱。葉には長い柄があり、葉身は幅広い。花は5月下旬～6月。

365. センボンヤリ *Leibnitzia anandria* (L.) Turcz. (一)

暗い林床や林道ふちにやや普通に生育する小型の多年草。根生する葉はロゼット状で頭大羽状に中裂。頭花は春型と秋型がある。春型の花は5月。

366. コシカギク、オロシャギク (明治帰化) *Matricaria matricarioides* (Less.) Porter (一)

攪乱地に生える小型の1年草。羽状に細かく切れ込んだ葉と舌状花のない頭花が特徴。花は7月。

367. アキタブキ、オオブキ *Petasites japonicus* (Siebold et Zucc.) Maxim. subsp. *giganteus* (F. Schmidt) Kitam. (一)

草地や道路ふち、林内などにきわめて普通の多年草。大型の葉と早春の花序は特徴的。葉柄や若い花序 (蔕の臺) は山菜として普通に利用される。花は4月下旬～5月上旬。

368. コウゾリナ *Picris hieracioides* L. subsp. *japonica* (Thunb.) Krylov

やや暗い林道縁や林縁のやぶにやや普通に生える中型の多年草。茎に硬い剛毛が多く手でしごくといどくざらつく。花は9月。

369. オオハンゴンソウ (戦前帰化) *Rudbeckia laciniata* L. (一)

道路沿いの攪乱地にやや普通の大型の多年草。葉は羽状に5～7裂し、径6cmにもなる大型の黄色い頭花がつく。花は9月～10月。

370. ハンゴンソウ *Senecio cannabifolius* Less.

林縁などにやや普通にある大型の多年草。葉は1－2対羽状深～全裂する。まれに葉が裂けないヒトツバハンゴンソウ var. *integrifolius*がある。径2cm程度の小さい黄色頭花が散房花序に多数つく。花は8月。

371. ノボロギク (明治帰化) *Senecio vulgaris* L. (－)

攪乱地にまれに見られる小型の1年草。葉は不規則に羽状に裂け、基部は茎を抱く。花は7月。

372. メナモミ *Siegesbeckia orientalis* L. subsp. *pubescens* (Makino) Kitam. (－)

攪乱された草地や道路ふちに普通の小型～中型の1年草。葉は対生し、葉身は卵形または三角状卵形で3脈が目立つ。通常、茎上部に開出毛が密に生えるが、毛の少ない亜種 *glabrescens* もある。花は9月。

373. オオアワダチソウ *Solidago gigantea* Ait. var. *leiophylla* Fern. (－)

攪乱地に生える中型～大型の多年草。葉はざらつかず、上半部に明らかな鋸歯がある。黄色の頭花を多数つけた花序は弓なりに広がる。花は8月～9月。

374. ミヤマアキノキリンソウ *Solidago virgaurea* L. var. *leiocarpa* (Benth.) Hultén f. *japonalpestris* Kitam.

林床にやや普通の小型～中型の多年草。茎葉は披針形で鋸歯があり、柄はやや翼状となる。黄色花は9月。

375. オニノゲシ (明治帰化) *Sonchus asper* (L.) Hill. (－)

庁舎周辺の裸地に生える中型の1－2年草。葉の鋸歯の先は刺となり、葉基部の左右は半円形にはり出して茎を抱き先は円い。黄色花は7月。

376. ノゲシ *Sonchus oleraceus* L. (－)

裸地に生える中型の1－2年草。オニノゲシに似るが葉基部の左右の先は尖る。

377. ヒメジョオン (明治帰化) *Stenactis annuus* (L.) Cass. (－)

攪乱地にやや普通の小型～中型の多年草。根生葉は長柄があって卵形。大きな鋸歯がある。花は7月。

378. ヘラバヒメジョオン (戦後帰化) *Stenactis strigosus* (Muhl.) DC. (－)

攪乱地にやや普通の小型～中型の多年草。葉の形はへら状で鋸歯は低くて不明。ただ前種でも主茎が刈られ側芽から出たような茎葉ではより細くなりヘラバに近いようにも見える。中間型もあるようで検討する必要がある。花は9月～10月。

379. エゾタンポポ *Taraxacum hondoense* Nakai (－)

セイヨウタンポポに較べればより暗く攪乱の少ない立地に生育する多年草。まれに草地にも出現している。総苞片が下向きに反らないのが特徴。根生葉だけだとセイヨウタンポポとの区別はできない。花は5月中旬～下旬。

380. セイヨウタンポポ (明治帰化) *Taraxacum officinale* Weber

草地や林道縁などに普通に生える多年草。頭花の総苞片が下向きに反る。花は5月中旬～下旬が多いが、やや不定期的に10月にも咲く。

381. オナモミ *Xanthium strumarium* L. (－)

牧草地にまれに生育する小型～中型の1年草。葉は互生で卵状3角形で不揃いな鋸歯があり基部心形。花は8月。

382. オニタビラコ *Youngia japonica* (L.) DC. (－)

小型～中型の1年～越年草。根生葉は倒披針形頭大羽状に深裂。黄色い頭花は複散房花序につく。花は6月～7月。

*85年目録では、さらにエゾノコギリソウ、ミミコウモリ、ヨツバヒヨドリ、アキノノゲシ、ハチジョウウナが記録されているがまだ確認していない。エゾノコギリソウはキタノコギリソウ、ヨツバヒヨドリはヒヨドリバナの誤認の可能性がある。

<単子葉植物 Monocotyledoneae>

----ユリ科 Liliaceae-----

383. ギョウジャニンニク *Allium victorialis* L. subsp. *platyphyllum* Hultén

林床にやや普通に生える小型～中型の多年草。花がなければ一見スズランにも似るが、葉は長楕円形でより水っぽく厚く、強いネギ臭がある。花は6月。

384. キジカクシ *Asparagus schoberioides* Kunth (－)

林床にまれに生育する中型の多年草。アスパラガスに似るが、葉状枝は長さ1-2cmとより長くゆるく湾曲する。

385. オオウバユリ *Cardiocrinum cordatum* (Thunb.) Makino var. *glehnii* (F. Schmidt) H. Hara

やや暗く適湿の林床に普通に生育する大型の多生草で開花するとその株は枯れ、新しい鱗茎でふえる。花は緑白色でユリ状、水平に10-20花が総状につく。花序部分が採食されていることがある。果実は10月。

386. スズラン *Convallaria keiskei* Miq.

林床にややまれに生育する小型の多年草。葉は卵状長楕円形で通常2枚でる。葉質はやや薄く裏面はやや粉白。有毒植物と言われる。

387. ホウチャクソウ *Disporum sessile* Don (－)

林床に普通に生える小型～中型の多年草。高さ40cm前後で分枝しないことが多い。チゴユリの大型のものと似ており花がないと区別が難しい。花は5月中旬～下旬。

388. チゴユリ *Disporum smilacinum* A. Gray (－)

林床に普通の小型～中型の多年草。枝分かれしない高さ20cmほどの小型の個体から、枝分かれし高さ40cmくらいの大型になるものまで変異が大きい。最近、チゴユリとオオチゴユリの中間型植物に「アズマチゴユリ」の名があてられており、牧場内の大きな枝分かれする個体はこ

れに当たるかもしれない。花は5月中旬～6月中旬。

389. カタクリ *Erythronium japonicum* Decne. (－)

林床にやや普通の小型の多年草。根生葉はつやつやしてやや軟質、暗紫色の斑がはいることが多い。花茎の先に反り返った花被片を持つ特徴的な花をつける。山菜として利用されることもある。北海道留意種。花は4月下旬～5月上旬。

390. ヒメアマナ *Gagea japonica* Pascher (－)

明るい林床にまれにキバナノアマナと混生する多年草。根生葉の幅が3mm以下と細く、花被片は7-8mm長と短く、球茎は15mm長以下で外皮はキバナノアマナより黒っぽい。貧弱なキバナノアマナと見なされ、見逃がされている。これに似て葉の表面がへこみ基部が花茎を抱くものにエゾヒメアマナがあるが、ここではヒメアマナにあてた。温帯系の種で日本絶滅危惧IB類、北海道絶滅危急種。花は4月下旬～5月上旬。

391. キバナノアマナ *Gagea lutea* (L.) Ker-Gawl. (－)

明るい林床にやや普通の多年草。白緑色の線形の葉が特徴。葉の幅は5-8mm、花被片は9-13mm長。花をつけた個体の球茎は14-20mm長で外皮は薄茶色。花は4月下旬～5月上旬。

392. ゼンテイカ、エゾカンゾウ *Hemerocallis dumortieri* Morr. var. *esculenta* (Koidz.)

Kitam. — *Hemerocallis middendorffii* Trautv. et Mey.

林床や草地縁などの適湿地にややまれの中型の多年草。根出葉は線形で長さ60-70cm、花はオレンジ色で花茎の先に3個内外が上～横向きにつく。花は6月。

393. コバギボウシ、タチギボウシ *Hosta albo-marginata* (Hook.) Ohwi — *Hosta rectifolia* Nakai

湿った林床に普通の多年草。根出葉は披針形～長楕円形で基部は葉柄に沿って流れ、平行する葉脈が明瞭。葉の出始めは山菜として利用される。花は7月中旬。

394. エゾスカシユリ *Lilium maculatum* Thunb. subsp. *dauricum* (Baker) H. Hara (－)

牧場南側の中央道路ぞいの牧草地ふちにまれにある小型～中型の多年草。葉は披針形で茎に多数つき花はオレンジ色で上向きにつく。自生ではなく砂などとともに外部から持ち込まれたものと思う。花は6月下旬～7月上旬。

395. クルマユリ *Lilium medeoloides* A. Gray

やや暗い林床にやや普通に生える中型の多年草。茎中部に披針形の葉が輪生状に集まるのが特徴。オレンジ色の花が数個下向きにつき花被片は著しく反曲する。

396. ホソバナノアマナ *Lloydia triflora* (Ledeb.) Baker (－)

林床にやや普通に生える小型の多年草。根生葉は線形で幅1.5-3mm、白色の花が1茎に1-5個つく。花は5月中旬～下旬。

397. マイヅルソウ *Maianthemum dilatatum* (Wood) Nels. et Macbr.

林床に普通の小型の多年草。葉は卵心形で基部は深い心形、葉脈がはっきりしている。地下茎で増えるので群生することが多い。花は5月下旬。

398. クルマバツクバネソウ *Paris verticillata* M.v. Bieberst. (—)

林床にやや普通の小型の多年草。葉は通常6－8枚が輪生状につくが変異があり、時に4枚の個体もある。このようなものはツクバネソウに誤認されやすい。糸状線形の内花被片が4個あり雄ずいの葯隔は長く突出する。花は5月中旬～下旬。

399. ヒメイズイ *Polygonatum humile* Fischer (—)

林床にややまれの小型多年草。茎上部に稜角があり直立。一見アマドコロにも似るが葉の裏面は淡緑色。花は5月下旬。

400. オオアマドコロ *Polygonatum odoratum* (Mill.) Druce var. *maximowiczii* (F.Schmidt) Koidz.

やや明るい林床から牧草地ふちなどに普通の中型の多年草。茎上部に稜角があり弓状に斜上。葉裏は粉白を帯びる。小型のアマドコロ var. *pluriflorum* にあたると思われるものもあるが変異は連続的のようである。5月中旬～下旬。

401. ツルボ *Scilla scilloides* (Lind.) Druce (—)

林縁にまれの小型～中型の多年草。花茎は淡紅色の花を密に総状につける。日高地方の個体は、花茎が伸びる時には根生葉がなく、花時に根生葉がある本州のツルボとは明らかに違う葉のサイクルを持つ。検討が必要である。温帯系の種。花は8月中旬。

402. ユキザサ *Smilacina japonica* A. Gray

林床に普通の小型～中型の多年草。茎上部に微細な毛があり茎葉は卵状長楕円形。花は茎頂に円錐花序につき粗い毛が多い。山菜（アズキナ）として広く利用される。白色花は5月下旬～6月上旬。

403. シオデ *Smilax riparia* A. DC. var. *ussuriensis* (Regel) H. Hara et T. Koyama (—)

林縁などにややまれのつる状に伸びる多年草。茎は草質で葉は卵状楕円形で5－7脈がある。

404. エンレイソウ *Trillium apetalon* Makino — *Trillium smallii* Maxim.

林床に普通に生育する小型～中型の多年草。花卉がないのが特徴。これまで観察したところでは牧場の個体はすべて果実が黒色で、いわゆるクロミノエンレイソウ var. *atropurpureocarpum* の型である。花は5月上旬～中旬。

405. オオバナノエンレイソウ *Trillium camschatcense* Ker-Gawl. — *Trillium kamtschaticum* Pallas

林床にやや普通の小型～中型の多年草。大型の白い花をつける。雄しべの先は雌しべを抜き、葯に較べて花糸がずっと短い。北大の校章に使われている植物。花は5月中旬～下旬。

***. シラオイエンレイソウ *Trillium ×hagae* Miyabe et Tatewaki (—)

林床にやや普通にある小型～中型の多年草。オオバナノエンレイソウとミヤマエンレイソウの雑種（3倍体）と考えられている。染色体数は確認していないが花の外部形態から同定した。種小名は遺伝学者芳賀博士を記念したもの。花は5月中旬～下旬。

***. ヒダカエンレイソウ *Trillium × miyabeanum* Tatewaki (－)

牧場北部林床にまれに生育する小型～中型の多年草。エンレイソウとミヤマエンレイソウの雑種と推定されている。赤紫色の花弁が不定数つく。ヒダカ、コジマ、トカチエンレイソウの3種類はエンレイソウが片親となった雑種あるいは雑種起源種で外部形態はよく似ている。ここでは分布を考慮してヒダカエンレイソウと同定しておくが今後、染色体での確認が必要である。学名は北大宮部金吾博士への献名。北海道希少種。花は5月上旬。

406. ミヤマエンレイソウ、シロバナエンレイソウ *Trillium tschonoskii* Maxim.

林床に普通の多年草。オオバナノエンレイソウより小さい白色花が花梗の先に曲がってつく。雄しべの先は雌しべを抜かない。花は5月中旬。

407. バイケイソウ *Veratrum album* L. subsp. *oxysepalum* Hulten (－)

湿った林床にまれの中型～大型の多年草。茎葉は広楕円形～長楕円形で長さ20-30cmと大きい。花被片は緑白色。有毒植物。花は6月中旬～下旬。

408. シュロソウ *Veratrum maackii* Regel var. *japonicum* (Baker) T. Shimizu (－)

林床に普通にある多年草。出始めは一見ギョウジャニンニクにも似るが悪臭はない。葉は茎の下部に集まり長楕円形。地下にある茎基部にシュロ毛がある。花被片は黒紫色。花は7月下旬。

*85年目録ではショウジョウバカマ、ツバメオモト、ツクバネソウが記録されているがまだ確認していない。普通にあるクルマバツクバネソウの記録がないので、「ツクバネソウ」はこれとの誤認だと思う。

----アヤメ科 Iridaceae-----

409. ノハナショウブ *Iris ensata* Thunb. var. *spontanea* (Makino) Nakai

牧草地縁などの明るい湿地にまれの多年草。根生葉は剣状で幅5-12mm、太い中脈が目立つ。花色は次種に較べてより赤っぽく濃い紫色。花は7月中旬。

410. キショウブ（栽培逸出・戦前帰化） *Iris pseudacorus* L. (－)

牧草地ふちの溝にまれに生育する多年草。根生葉は剣状で幅1.5-3cmで中脈が目立つ。花は黄色で6月中旬～下旬。

411. ヒオウギアヤメ *Iris setosa* Pallas (－)

牧草地縁などの明るい湿地にややまれの多年草。根生葉は剣状で幅1.5-3cmで中脈は目立たない。花は青紫色で6月中旬～下旬。

----イグサ科 Juncaceae-----

412. ヒメコウガイゼキショウ *Juncus bufonius* L. (－)

小型で繊細な1年草。葉はイネ科状で偏平。花は単生しまばらにつくが花序全体は植物体の半長くらいを占める。苞は花序より長くならない。花は7月。

413. イグサ、イ *Juncus effusus* L. var. *decipiens* Buchen. (－)

牧草地縁などの攪乱地にある小型～中型の多年草。葉は茎下部に鱗片状になる。大きさにはかなりの変異があり、全体がやせて細いものをヒメイ *forma gracilis* というが中間型でつながるのでここでは分けない。花は6月～7月。

414. クサイ *Juncus tenuis* Willden.

道路上や牧草地などやや攪乱された適湿地に普通に生える小型～中型の多年草。葉はイネ科状偏平で基部縁に白い葉鞘がある。多数の花がやや密につき花序は凹集散状、苞は葉状で花序より長いのが特徴。花は6月～7月。

415. スズメノヤリ *Luzula capitata* (Miq.) Miq. (－)

牧草地の縁などにややまれの小型の多年草。葉はイネ科状で先端は硬質鈍形で縁に白色長毛がある。花序は中型で1個の頭状花序をなす。花は5月中旬～下旬。

416. ヤマスズメノヒエ *Luzula multiflora* Lejeune (－)

日当りよい牧草地ふちなどにややまれの小型の多年草。葉は前種と同様。花序は数個の有梗の頭花からなる。花は5月中旬～下旬。

----ツクサ科 Commelinaceae-----

417. ツクサ *Commelina communis* L. (－)

適湿の攪乱地に生える小型～中型の1年草。茎は下部が這って分枝。葉は卵状披針形で基部は膜質の鞘となる。花は青紫色で、側方の内花被片2枚が大きい。

----イネ科 Poaceae (Gramineae)-----

418. コヌカグサ、レッドトップ (牧草・明治帰化) *Agrostis gigantea* Roth

牧草地や中央道路ぞい、林縁などにやや普通の中型の多年草。小穂は1小花からなり基盤は無毛。葯は大きく長さ1mm以上。花は7月～8月。

419. スズメノテッポウ *Alopecurus aequalis* Sobol. var. *amurensis* (Komar.) Ohwi (－)

牧草地や側溝ふちなどにやや普通の小型の1年～越年草。全体柔らかく、葉は粉緑色、花序は円柱形で長さ4-6cm。花は6月。

420. オオスズメノテッポウ (戦前帰化) *Alopecurus pratensis* L. (－)

攪乱された道路縁や牧草地にやや普通に生える中型～大型の草本。花序は多数の小穂を密につけた穂状になり長さ5-10cm。護穎から芒が出、開花時には3mm前後の長い葯が目だつ。外見は同属のスズメノテッポウよりむしろ別属のオオアワガエリに似ている。花は5月下旬～8月。

421. ハルガヤ (戦前帰化) *Anthoxanthum odoratum* L. (－)

攪乱された道路縁や牧草地縁などに生育する小型～中型の多年草。植物体は繊細で直立。小

穂は披針形で長さ8-10mmでやや穂状につく。乾くとクマリンの香りがある。葉や小穂に毛のないケナシハルガヤsubsp. *alpinum*の型もある。花は5月下旬～7月上旬。

422. ヤマカモジグサ *Brachypodium sylvaticum* (Huds.) Beauv. (－)

林内にややまれに生える小型～中型の多年草。茎下部に開出毛があり、特に節部に下向きの短毛が密生する。小穂はまばらな総状花序につき花序の先は垂れる。護穎にある芒が小穂外に突き出る。花は7月。

423. キツネガヤ *Bromus pauciflorus* (Thunb.) Hack.

林内に普通に生育する中型の多年草。茎に逆向きの短毛があり葉鞘にも毛がありヤマカモジグサに似るが、小穂は長さ20-30cmある大きな円錐花序につき花序の先は垂れる。護穎にある芒が小穂外に突き出る。花は7月～8月。

424. ホガエリガヤ *Brylkinia caudata* (Munro) F. Schmidt (－)

暗い林内にまれの小型～中型の多年草。花序は総状で、小穂は枝の片側に下向きに垂れてつく。護穎の先は芒となり小穂外に突き出る。花は6月～7月。

425. ノガリヤス *Calamagrostis brachytricha* Steud. (－)

明るい林縁にまれの中型の多年草。護穎の芒は小穂外に突き出る。ノガリヤス属 *Calamagrostis*は小穂が1小花からなり基毛があるのが特徴。花は9月～10月。

426. ヤマアワ *Calamagrostis epigeios* (L.) Roth

明るい草原の縁に生育する中型～大型の多年草。花序は直立して全体狭卵形～披針形で多数の小穂からなる。小穂は披針形で2枚の包穎はほぼ同長でやや線形。護穎の芒は小穂外に突き出ない。花は9月～10月。

427. ヒメノガリヤス *Calamagrostis hakonensis* Franch. et Sav. (－)

やや暗い林内に生育する小型～中型の多年草。葉鞘上部に環状に短毛があるのがよい特徴。小穂の数は少なくまばらにつく。包穎は披針形で護穎の芒は小穂外に突き出ない。花は8月～9月。

428. カモガヤ、オーチャード(牧草・明治帰化) *Dactylis glomerata* L.

攪乱された道路縁や牧草地に普通に生える中型～大型の多年草。やや粗剛で株立ちになる。一見クサヨシにも似るが、葉の幅がより狭く幅5-10mm、小穂はより大きく長さ7-8mmで護穎には竜骨がある。花は5月下旬～7月。

429. タツノヒゲ *Diarrhena japonica* Franch. et Sav. (－)

林内にやや普通の中型の多年草。葉は30cmにも達し先は長く伸び、幅も1cmを越える。小穂は長さ3-5mmで1-3個の小花からなり、花序の枝はまばらに伸びる。小花は脱落しやすく、一見イブキヌカボやヌカキビに似る。花は7月～9月。

430. メヒシバ *Digitaria ciliaris* (Retz) Koel.

攪乱地にややまれの小型～中型の1年草。葉鞘にあら開出毛がある。小穂は披針形で長さ

2. 5-3mm。花序は掌状に分枝した数個の総からなる。花は 8 月～9 月。

431. アキメヒシバ *Digitaria violascens* Link (－)

攪乱された道路縁にやや普通に生える小型～中型の 1 年草。葉鞘はほぼ無毛。小穂は卵状楕円形で長さ約 2mm とメヒシバより小さい。花序は掌状に分枝した数個の総からなる。花は 8 月～10 月。

432. イヌビエ *Echinochloa crus-galli* (L.) Beauv. (－)

攪乱された道路や草地のふちにやや普通に生える小型～中型の 1 年草。花序の枝は斜上してつき多数の小穂をつける。小穂は卵形で剛毛があり、ときに直立する長い芒がある。全体小型のヒメイヌビエ var. *praticola* の型もある。花は 9 月～10 月。

433. シバムギ (牧草・帰化) *Elymus repens* (L.) Gould. (－)

牧草地やそのふちにやや普通に生育する小型～中型の多年草。葉はやや粉緑色。小穂は無柄で各節 1 個ずつ左右交互につき、全体として直立した穂状花序となる。花は 7 月。森田 (1981) は帰化植物として扱っていない。

434. ニワホコリ *Eragrostis multicaulis* Steud. (－)

牧草地の攪乱地にまれに生育する小型の 1 年草。4－8 小花からなる小穂は長卵形で長さ 2-3.5mm と小さく、全体円錐花序となる。花は 8 月下旬。

435. オニウシノケグサ、トールフェスク (牧草・戦前帰化) *Festuca arundinacea* Schreb. (－)

牧草地ややぶに生える中型の多年草。ヒロハノウシノケグサに似るが、全体より大きく、葉脈は上面に凸出うねとなり目立つ。葉耳のへりに毛があり、護穎の先は明瞭な芒となる。花は 7 月。ウシノケグサ属 *Festuca* は小穂が 2 以上の小花からなる点で *Poa* と同じだが、小花はやや左右から偏平で基盤に毛がない。

436. トボシガラ *Festuca parvigluma* Steud. (－)

やや暗い林内にやや普通に生育する小型～中型の多年草。円錐花序はまばらに分枝しやや少数の小穂をつけ、先が垂れる。護穎の芒が小穂外に突き出る。花は 6 月～7 月。

437. ヒロハノウシノケグサ、メドウフェスク (牧草・戦前帰化) *Festuca pratensis* Huds. (－)

牧草地ややぶに普通に生える中型の多年草。葉鞘口部に三日月形の葉耳があり、護穎には芒のない事が多い。オニウシノケグサとの中間的な個体もあり検討する必要がある。花は 6 月～7 月。

438. ドジョウツナギ *Glyceria ischyroneura* Steud. (－)

牧草地や明るい林内にやや普通に生育する小型～中型の多年草。小穂は長さ 4-7mm。護穎は卵形で長さ 2.2mm くらい。円錐花序は 15-40cm 長。花は 6 月～7 月。ドジョウツナギ属 *Glyceria* は小穂が 2 以上の小花からなる点で、*Festuca* や *Poa* と似るが、小花をつける軸がジ

ゲザグ状となり護穎の脈は7脈と多く顕著。

439. ヒロハノドジョウツナギ *Glyceria leptolepis* Ohwi (－)

牧草地ふちの溝にややまれの中型～大型の多年草。小穂は長さ6-8mm、護穎は長楕円形で3-4mm長、円錐花序は20-30cm長。花は8月。

440. コウボウ *Hierocloe odorata* (L.) Beauv. var. *pubescens* Krylov (－)

日当りのよい道路や牧草地ふちなどに生える小型の多年草。円錐花序は全体が広卵形、小穂は広倒卵形で長さ4-6mmあり黄褐色で光沢がある。乾燥するとクマリンのよい香りがする。花は5月。

441. アシボソ *Microstegium vimineum* (Trin.) A. Camus var. *polystachyum* (Franch. et Sav.) Ohwi (－)

牧草地のふちなどに生育する小型～中型の1年草。植物体はよく分枝し無毛、葉は披針形で幅が8-15mmもある。花序は掌状に1-3個の総がつく。温帯系の種。花は8月～9月。

442. イブキヌカボ *Milium effusum* L. (－)

林床にやや普通の中型～大型の草本。葉身は長さ20cm位まで、幅1-1.5cmと広い。円錐花序は15-25cmと長く、各節から2-5本の枝を開出する。小穂は1個の小花からなり長さ約3mm、脱落しやすい。花は5月末～7月。

443. ススキ *Miscanthus sinensis* Anderss.

日当りのよい草原に生育する粗剛で大型の多年草。花序は20-30cm長にもなり小穂は1個の小花からなり長さ5-7mmで基盤に束毛がある。花は9月～10月。

444. ミヤマネズミガヤ *Muhlenbergia curvيارistata* (Ohwi) Ohwi var. *nipponica* Ohwi (－)

林内に生える小型の多年草。地下に長い根茎がある。円錐花序は全体披針形で先はやや垂れ、小穂は1小花からなる。護穎に芒がある。花は8月～9月。

445. ネズミガヤ *Muhlenbergia japonica* Steud. (－)

林内から林道ふちに生える小型の多年草。地下に長く目立つ根茎はない。小穂、護穎の芒ともに前種より短い。花は9月～10月。

446. ヌカキビ *Panicum bisulcatum* Thunb. (－)

中型の1年草。円錐花序は大きく全体卵円形、枝は細くよく分枝し先は下垂する。小穂はまばらにつき楕円形で長さ約2mm。花は10月。

447. ニコゲヌカキビ(戦後帰化) *Panicum lanuginosum* Ell. (－)

北側の中央道路沿い牧草地ふちなどに生育する小型の1年草。全体に開出毛があり円錐花序の中軸や小穂にも毛がある。温帯系の帰化植物。花は7月～8月。高橋(1997)ではチゴザサと誤認していた。ここで訂正する。

448. クサヨシ、リードカナリーグラス(明治帰化) *Phalaris arundinacea* L. (－)

牧草地やそのふちに多い中型～大型の多年草。一見カモガヤに似るが、葉の幅は8-15mmとより広く、小穂は長さ4-5mmとより小さく護穎には白い圧毛がある。花は7月～8月。

449. オオアワガエリ、チモシー（牧草・明治帰化） *Phleum pratense* L.

攪乱された道路縁や草地に普通の中型の多年草。花序は円柱形になり密に多数の小穂をつけ、一見オオスズメノテッポウに似るが、開花時の葯は1.5mm長とより短く、芒は長く突き出ず、小穂の包穎の形も違う。花は7月。

450. ヨシ *Phragmites communis* Trin.

日当たりがよい湿地に普通に生育する中型～大型の多年草。葉は茎のやや1方向につき先が垂れる。花序は40cmにも達し、小穂は数個の小花からなり長さ12-17mm。花は10月。

451. スズメノカタビラ *Poa annua* L. (－)

攪乱地にやや普通の小型の一年草。植物体は柔らかく軟弱で、円錐花序は広卵形で小穂は卵形で長さ3-5mm。花は5月～10月。イチゴツナギ属*Poa*は小穂が2以上の小花からなり基部に長い綴り毛があるのが特徴。属としてははっきりしているが種の同定は難しく、以下も明瞭な種類のみ挙げた。より詳細な検討が必要である。

452. ナガハグサ、ケンタッキーブルーグラス（牧草・明治帰化） *Poa pratensis* L.

牧草地や攪乱された草地に普通の小型～中型の多年草。葉舌が短いのが特徴。円錐花序は狭卵形で小穂は卵形で長さ3-6mm。花は5月下旬～6月。

453. ヤマミゾイチゴツナギ *Poa hisauchii* Honda (－)

やや暗い林内に普通に生える小型から中型の1年～2年草。やや繊細な植物体。花序の先は垂れ、枝は各節2-3個つき花序の中軸によりそい開かない。小穂は3-4mm長。花は5月～6月。

454. オオスズメノカタビラ（牧草・戦後帰化） *Poa trivialis* L. (－)

やや明るい草地や林縁に生える小型～中型の多年草。ナガハグサに似るが葉舌が8mmにも達して目立つ。小穂は3-4mm長。花は6月～7月。

455. ミヤコザサ *Sasa nipponica* (Makino) Makino et Shibata

林床にごく普通の小型～中型の植物。地形や積雪量、採食圧の違いにより丈は大きく変わる。地上部で分枝せず、節が膨らむのがよい特徴。葉裏に軟毛があり葉鞘にほとんど毛がない。丈の大きなものはクマイザサに見誤られやすい。

456. スズタケ *Sasamorpha borealis* (Hack.) Nakai (－)

やや急な斜面などにまれの中型～大型の植物。ミヤコザサに較べるとずっと少ない。地上部で分枝しチシマザサにも似るが、茎は地表近くで曲がることなくまっすぐ立つ。葉は長楕円状披針形で先は細長く伸びる。

457. キンエノコロ *Setaria glauca* (L.) Beauv. (－)

攪乱地にやや普通の小型～中型の1年草。花序は円柱形で直立し、芒は金色を帯びる。花は

9月～10月。

458. オオアブラスキ *Spodiopogon sibiricus* Trin. (－)

日当たりよい草原にまれに生育する中型～大型の多年草。円錐花序は長さ25cmに達し直立、小穂は狭卵形で長さ5mm位。芒がある。花は8月。

459. ヒロハノハネガヤ *Stipa coreana* Honda var. *kengii* Ohwi (－)

林内にややまれに生える中型の多年草。円錐花序は狭長で全体線形、小穂は1小花からなり長さ12-15mmで芒が長くて太い。花は8月～10月。

460. ハネガヤ *Stipa pekinensis* Hance (－)

明るい溝の縁にまれに生える中型～大型の多年草。円錐花序は枝が開出して全体卵形。1小花からなる小穂は長さ8-12mmで芒は長くよじれて曲がる。花は8月。

461. カニツリグサ *Trisetum bifidum* (Thunb.) Ohwi (－)

林内に生える中型の多年草。植物体に軟毛があり全体柔らかい。円錐花序は全体披針形～狭卵形で長さ10-20cmで先が垂れる。小穂は2-3個の小花からなり、護穎の背面から伸びる芒は途中で反り返る。花は6月～7月。

*85年目録では他にマカラスムギ、イワノガリヤス、クマイザサ、エノコログサが記録されているがまだ確認していない。クマイザサは「日高新冠事業区では笹山に産する」(館脇1939b)というが牧場では未確認、あってもミヤコザサに較べるとずっとまれと思う。

----サトイモ科 *Araceae*-----

462. マムシグサ、コウライテンナンショウ *Arisaema serratum* (Thunb.) Schott (－)

暗く湿り気のある林床や牧草地縁にやや普通に生育する中型の多年草。偽茎には紫褐色の斑があり葉は鳥足状に小葉に分かれる。秋の赤い果実を多数つけた肉穂果序も目立つ。有毒植物と言われる。花は5月下旬～6月下旬。

463. ミズバショウ *Lysichiton camtschatcense* (L.) Schott (－)

牧草地や森林の湿地にやや普通の多年草。春の白い仏炎苞が目立ち、夏には大型の広卵形～楕円形の根生葉が目立つ。花は4月下旬～5月中旬。果実は7月。

464. ザゼンソウ *Symplocarpus foetidus* Nutt. var. *latissimus* (Makino) H. Hara

— *Symplocarpus renifolius* Schott ex Miq. (－)

湿性から適湿の牧草地から林床まで、きわめて普通に生育する小型～中型の多年草。赤紫色の仏炎苞と長柄を持つ円心形の大型の葉が特徴。但し仏炎苞の色はほとんど白色のものから濃い赤紫色まで変化がある。葉のみだと一見オオウバユリにも似るが、葉の形はより丸い。掘り取ると悪臭があり、家畜の不嗜好植物と思われる。花は4月下旬～5月上旬。

465. ヒメザゼンソウ *Symplocarpus nipponicus* Makino (－)

河畔の湿性林床に生育する小型の多年草。仏炎苞と花序はゼゼンソウよりずっと小さく、花の時期に葉がないため見つけにくい。12林班のみで確認したがもっとあるかもしれない。花は

7月中旬。

----ガマ科 Typhaceae-----

466. ガマ *Typha latifolia* L.

牧草地縁の溝に生える大型の多年草。葉は線形、偏平で幅1-2cm、長さ1m以上に達する。茎上部に花穂をつけ、雄穂と雌穂に分かれる。花は8月。

----カヤツリグサ科 Cyperaceae-----

・茎は通常3稜形で円くなく、葉の鞘の内側上部に小舌がない点でイネ科と区別できる。

467. ミノボロスゲ *Carex albata* Boott (一)

湿った林道ぞいや牧草地ふちなどに生育する小型の多年草。葡枝を出さず株状になる。小穂は無柄状につき、各小穂に雌花と雄花がある。葉は幅2-3mmで果胞は3角状被針形で縁の上方はざらつく。果胞が熟すのは5月中旬~下旬。

468. エナシヒゴクサ *Carex aphanolepis* Franch. et Sav. (一)

林床にやや普通の小型の多年草。長い葡枝を出すので株状にならない。頂生する小穂は雄性で側生する小穂は雌性。ヒゴクサに似るが雌花穂に柄がなく、柱頭は短く果時には落ちる。果胞が熟すのは6月下旬~7月中旬。

469. ショウジョウスゲ *Carex blepharicarpa* Franch.

林床にまれの小型の多年草。大きな株状になる。頂小穂は雄性で側小穂は雌性。雌鱗片が赤褐色で果胞に毛がある。

470. アオスゲ *Carex breviculmis* R. Br. (一)

日当りのよい林縁・牧草地ふち、道路ふちの草地などにやや普通に生える小型の多年草。株状になる。頂小穂は雄性、側小穂は雌性。いちばん上の側小穂は頂小穂に近くやや同じ高さになる。雌鱗片は淡緑色、果胞は倒卵形で短い軟毛と脈がある。勝山(1993)の見解ではイトアオスゲ *C. leucochlora* var. *filiculmis*にあたるもの。果胞が熟すのは5月中旬~6月上旬。

471. ナルコスゲ *Carex curvicolis* Franch. et Sav. (一)

小流のふちなどにややまれの小型の多年草。大きな株状になる。頂小穂は雄性で側小穂は雌性。雌鱗片は黒褐色で小さく果胞は長さ4-5mmの披針形で淡緑色、先は長い嘴となる。果胞が熟すのは5月下旬。

472. カサスゲ *Carex dispalata* Boott (一)

牧草地縁のやや攪乱された湿地に生育する中型の多年草。長い地下葡枝を出す。頂小穂は雄性で側小穂は雌性だが、しばしば側小穂の先端が雄性になる。側小穂は細く円柱形で果胞は斜開する。果胞が熟すのは6月中旬~7月中旬。

473. ミヤマシラスゲ *Carex confertiflora* Boott

湿った草地や林縁にやや普通の小型~中型の多年草。長い葡枝がある。葉は幅8-15mmで裏は粉白色を帯びる。頂小穂は雄性で側小穂は雌性。雌小穂は多数で密な花からなる。果胞は水平

に開出し広倒卵形で膨らむ。果胞が熟すのは6月中旬～7月中旬。

474. ビロードスゲ *Carex fedia* Nees ssp. *miyabei* (Franch.) T. Koyama (－)

道路ふちなどのやぶに普通の小型～中型の多年草。長い地下葡枝を伸ばし一本立ちし、茎基部は帯赤紫色。上方の2－4個の小穂は雄性、下方の2－3個の小穂は雌性。果胞には硬毛がある。果胞が熟すのは6月～7月。

475. タニガワスゲ *Carex forficula* Franch. et Savat. (－)

側溝や小川のふちなどの湿地に生える多年草。葉は幅2-4mmと狭く、大きな株状になる。頂小穂は雄性、側小穂は雌性。雌鱗片は暗紫褐色で果胞は淡緑色で偏平。果胞は急にやや長い嘴になり縁に少数の刺がある。果胞が熟すのは5月中旬～下旬。

476. カワラスゲ *Carex incisa* Boott (－)

道路ふちなどのやや攪乱された適湿地に普通に生育する小型～中型の多年草。短い根茎がありやや株状になる。葉は柔らかで幅3-6mmある。頂小穂は雄性で側小穂は雌性。小穂は淡緑色で線状円柱形、やや同じ高さになり下垂する。果胞が熟すのは6月～7月。

477. ヒゴクサ *Carex japonica* Thunb.

林床にやや普通に生える小型の多年草。エナシヒゴクサに似るが雌花穂に柄があり、柱頭は長く果時にも残るのが特徴。果胞が熟すのは6月中旬～7月中旬。

478. ヒカゲスゲ *Carex lanceolata* Boott (－)

林内にまれの小型の多年草。大きな株状になる。葉は幅1.5-2mm。頂小穂は雌性、側小穂は雄性。雌鱗片は卵形で赤さび色、果胞は倒卵形で毛がある。果胞が熟すのは5月下旬～6月。

479. ハタバスゲ *Carex latisquamea* Kom. (－)

牧草地ふちの側溝のやぶ中にまれに生育する中型の多年草。茎や葉に開出毛がある。頂小穂は雄性、側小穂は雌性。果胞は斜開して毛はない。温帯系の種。果胞が熟すのは6月上旬～中旬。

480. ヤガミスゲ *Carex maackii* Maxim.

やや攪乱された湿った草地にまれに生育する中型の多年草。小穂が穂状花序をつくる点で、より普通に生育するオオカワズスゲに似るが、葉は3-4mm幅と狭く、果胞も3.5mm長と小さい。北海道希少種。花胞が熟すのは7月。

481. ゴウソ *Carex maximowiczii* Miq. (－)

牧草地ふちの明るい湿地にまれに生える小型～中型の多年草。短い葡枝がある。頂小穂は雄性、側小穂は雌性で柄があり太い円柱形で垂れ下がる。果胞は広卵形でいちじるしく膨らみ小突起を密生する。温帯系の種。果胞が熟すのは6月中旬～下旬。

482. ヒメシラスゲ *Carex mollicula* Boott

林内にやや普通に生える小型の多年草。地下に長い葡枝があり株状にならない。ヒゴクサやエナシヒゴクサに似るが、側小穂が頂小穂とほぼ同じ高さにつく。果胞が熟すのは6月～8月。

483. ヒカゲハリスゲ *Carex onoei* Franch. et Sav. (－)

やや暗い林床に比較的普通に生える小型の多年草。株状になる。針のように細い茎の先に1個の小穂をつける。上端は雄花部でその下に雌花部がある。果胞は斜上し細脈があり長さ2.5-3mm。果胞が熟すのは5月下旬～6月下旬。

484. ウスイロスゲ *Carex pallida* C. A. Mey. (－)

小型から中型の多年草。地下に長い根茎がある。ミノボロスゲに似るが、葉の幅が3-5mmとより広く、果胞は卵形で縁に広い翼がある。果胞が熟すのは6月。

485. サッポロスゲ、ハナマガリスゲ *Carex pilosa* Scop. (－)

やや暗い林床に比較的普通にある小型～中型の多年草。地下に葡枝があり株状にならない。茎や葉にまばらに開出毛がある。頂小穂は雄性、雌性の側小穂は2-3個離れてつき疎花、下部の小穂には長梗がある。果胞は長く淡緑色で急にやや長い嘴となる。熟すのは5月下旬～6月中旬。

486. シラコスゲ *Carex rhizopoda* Maxim. (－)

湿った林縁から林内にやや普通に生える小型～中型の多年草。短い根茎があり大きな株を作る。全体柔らかで鮮緑色。小穂は1個で頂生し上部が雄花部で下部が雌花部。一見イネ科の花を思わせる。温帯系の種。果胞が熟すのは6月～7月。

487. オオイトスゲ *Carex sachalinensis* F. Schmidt var. *alterniflora* (Franch.) Ohwi
(－)

林内に生える小型の多年草。やや株状になる。アオスゲに似るが、いちばん上の側小穂は頂小穂からやや離れ、側小穂を抱く苞葉の鞘はより長く明瞭。果胞が熟すのは5月中旬～6月上旬。

488. タガネソウ *Carex siderosticta* Hance

林床にやや普通に生える小型の多年草。地下に葡枝がある。葉は披針形で幅が1-3cmにもなりスゲ属としては特異で葉のみで分かる。4-8個の小穂は円柱形で各小穂とも上部に雄花を下部にまばらに雌花をつける。果胞が熟すのは5月中旬～下旬。

489. オオカワズスゲ *Carex stipata* Muhlenb. (－)

牧草地のふちなど明るい湿地に普通の小型～中型の多年草。葉は幅5-7mm。小穂は無柄で多数つき花序は全体として円柱形となる。基部の苞葉は刺状となる。果胞は長さ5mmで開出する。果胞が熟すのは6月下旬～7月。

490. エゾハリスゲ *Carex uda* Maxim.

林床にややまれに生える小型の多年草。株状になる。ヒカゲハリスゲに似るが、果胞は3-3.5mmとより大きくやや長い嘴となる。日本絶滅危惧II類。果胞が熟すのは6月上旬～中旬。

491. ヒメクグ *Cyperus brevifolius* (Rottb.) Hassk. var. *leiolepis* (Franch. et Sav.) T. Koyama (－)

路傍などにややまれに生える小型の多年草。頭状花序は無柄で1個で球形をなす。苞葉は葉状で長い。果胞が熟すのは10月上旬。

492. ウシクグ *Cyperus orthostachys* Franch. et Sav. (－)

攪乱された道路縁にまれの小型～中型の多年草。花序はやや大きく、5－7個の枝は不同長。小穂は線形で偏平、赤紫褐色。果胞が熟すのは10月上旬。

493. クロヌマハリイ *Eleocharis intersita* Zinserl. (－)

河畔の湿地にまれに生える小型～中型の多年草。葉は葉鞘のみに退化しており枝分かれしない深緑色の茎のみが立ち、先端に1個の小穂をつける。果胞が熟すのは7月中旬～下旬。

494. アブラガヤ、エゾアブラガヤ *Scirpus wichurae* Boeck.

明るく湿った草地のふちに生育する大型の多年草。茎葉は30-40cm長にもなり葉鞘は茎を包む。分花序は1－4個ついて、頂生のものは数回分枝し、苞は葉状。果胞が熟すのは9月～10月上旬。

*85年目録では多くのスゲ属植物が抜けている。一方、オクノカンスゲが記録されているがまだ確認していない。

----ラン科 Orchidaceae-----

495. ユウシュンラン *Cephalanthera erecta* (Thunb.) Blume var. *subaphylla* Ohwi (－)

林床にまれの小型の多年草。丈10cmほどで退化気味の小さな葉で白い花をつける。北大工藤祐舜博士を記念した和名。日本絶滅危惧II類、北海道絶滅危惧種。花は5月中旬。

496. ササバギンラン *Cephalanthera longibracteata* Blume (－)

林床にややまれの小型～中型の多年草。ユウシュンランよりずっと葉が長く丈も高い。白色花は6月。

497. アオチドリ *Coeloglossum viride* (L.) Hartm. var. *bracteatum* (Willd.) Richter (－)

林床にやや普通に生える小型～中型の多年草。花序は茎頂に淡緑色花を穂状につける。ラン科植物としてはコケイランと共に多い。花は5月下旬～7月上旬。

498. オニノヤガラ *Gastrodia elata* Blume (－)

林床に比較的にまれに見られる中型の腐生ラン。茎は円柱状で直立し全体黄褐色。葉は鱗状に退化し、花は茎端に20－50個を総状につける。地下部は漢方薬に利用される。花は7月中旬～下旬。

***. シュスラン属 *Goodyera* sp. (－)

牧場北部の林内、樹幹のコケ上にまれに着生しているラン科植物。花がなく同定できない。

499. ノビネチドリ *Gymnadenia conopsea* (Cham.) Miyabe et Kudo (－)

林床にまれの小型～中型の多年草。楕円形～狭長楕円形の葉が5－10枚つく。穂状花序に淡

紅紫色の花を多数つける。花は5月中旬から。

500. セイタカスズムシソウ *Liparis japonica* (Miq.) Maxim. (－)

林床にややまれの小型の多年草。花は淡紫色で唇弁は平らで反曲しない。花茎は20-40cm長でスズムシソウに較べてずっと高くなる。以下の3種は葉のみでは区別が難しい。花は7月中旬。

501. クモキリソウ *Liparis kumokiri* F. Maek. (－)

林床にまれの小型の多年草。花は淡緑色で唇弁は反曲する。花は7月中旬。

502. スズムシソウ *Liparis makinoana* Schltr. (－)

林床にややまれの小型の多年草。花は淡紫色で唇弁は平らで反曲しない。花序は20cm以下。花は5月中旬～6月中旬。

503. コケイラン *Oreorchis patens* (Lindl.) Lindl. (－)

林床に比較的普通の小型の多年草。根生葉は1-2枚で狭披針形と幅が狭く、両端とも鋭尖形。黄褐色の花が花茎の先に総状につく。果実は10月。

504. オオヤマサギソウ *Platanthera sachalinensis* F. Schmidt (－)

林床にややまれの小型～中型の多年草。茎葉のうち下の2枚が大きく表面はやや光沢がある。穂状花序に白緑色の小さな花を多数つける。花は8月中旬～下旬。

505. ネジバナ *Spiranthes sinensis* (Pers.) Ames var. *amoena* (M. Bieb.) H. Hara

ラン科としては珍しく、道路ふちや草地など攪乱された場所に生育する小型の多年草。根生葉は広線形、花は淡紅色でらせん状に穂状花序につく。花は8月中旬～下旬。

506. トンボソウ *Tulotis ussuriensis* (Regel) H. Hara (－)

林内にときどき見られる小型の多年草。茎下部にやや接して2葉があり、オオヤマサギソウにも似るが花は緑黄色で唇弁は3裂する。花は7月中旬～下旬。

*85年目録にはラン科植物としてハクサンチドリとネジバナが挙げられているのみで、多くの森林生の種類が抜けていた。ハクサンチドリの生育は標高からは考えにくく、ノビネチドリなどの誤認であろう。

Appendix. 北海道大学農学部附属牧場（静内）維管束植物標本リスト

番号	種名	林班<標本番号>
――シダ植物<Pteridophyta>		
----ヒカゲノカズラ科 Lycopodiaceae-----		
001.	トクサ	06<22678>
----トクサ科 Equisetaceae-----		
002.	スサ	00<22371> 00(-S5) 01 02 05<50326> 06<22601> 07<50415> 09<50478, 50490> 10<17728>
003.	トクサ	01 06<22651>
----ハナヤスリ科 Ophioglossaceae-----		
004.	エフシハナワラビ	00<50073> 01<20319> 02<50209> 03<22406> 04<25840> 06 07<17669, 20292> 10
005.	ナガネツハナワラビ	01<Uchida & Fujinuma s.n.> 03<22432> 06
006.	ナツハナワラビ	02<17856, 50189, 50190, Uchida s.n.> 05 06<22580>
----ゼンマイ科 Osmundaceae-----		
007.	ヤマドリゼンマイ	00(12ku) 01<20499> 02<22754, 50018> 05 12
008.	ゼンマイ	00(11ku)<24863> 01<20541>
----コバノイシカグマ科 Dennstaedtiaceae-----		
009.	オウレンシダ	01<Uchida & Fujinuma s.n.> 02<50206> 02-06<17509> 03<22421> 04<20560> 05 06<22556> 09<50487> 10<17701> 12
010.	ワラビ	00(12ku)<24851> 05 01<20518> 02<18141> 07
----ミズウラボシ科 Parkeriaceae-----		
011.	クサキシダ	02<18223> 06<22648>
012.	イワガネゼンマイ	00(12ku)<24855> 09<50498> 10<17712>
----チャセンシダ科 Aspleniaceae-----		
013.	クモノシダ	03<Uchida s.n.>
----オンシダ科 Dryopteridaceae-----		
014.	オシダ	00 01<20504> 02<18207, 50214> 03<22414, 22443> 04 05<50321> 06<22575, 22666, 22673, 24810, 25812> 07<17656, 50447, 50460> 08 09 10 11 12
015.	シラネワラビ	02<Fujinuma s.n.>
016.	ミヤマベニシダ	02<50207> 03<22400, 22446, 25257> 04 05<50354> 06<22582, 22667, 24808, 24812> 10 12<25067, 25074>
017.	イワイタチシダ	06<22644>
018.	クニヘゴ	12<25267>
019.	ホノノテ	06<24809> 09<50494, 50495, 50496>
020.	サカゲリシダ	01<Uchida & Fujinuma s.n.> 02<25936, 50005, 50010> 05<50320> 06
021.	ジュウモンジシダ	01<Uchida & Fujinuma s.n.> 02 03<22445> 06<22646, 24795> 08
----ヒメシダ科 Thelypteridaceae-----		
022.	ヒメシダ	00<22373, 50061> 00(-S5)<25080> 00(-E2)<25845> 00(-W4)<25997>
023.	ミヤマワラビ	01 06<22640> 07<50402, 50403> 11<17738, 24828>
----メシダ科 Athyriaceae-----		
024.	エゾメシダ	00<25911, 50105, 50107> 02<50023, 50043, 50048, 50218> 05<50313> 12<25049>
025.	ミヤマメシダ	00(N office)<25039> 01<20502, 20503>
026.	イヌワラビ	01<Uchida & Fujinuma s.n.> 02<25246, 25929, 50245, 50271, 50274, Uchida s.n.> 06<24796>
027.	ヤマメワラビ	00<50106>
028.	ヘビノネゴ	00 02<18208, 50042, 50044, Uchida & Fujinuma s.n.> 04<25827> 05<50349> 08<25723, 25724, 25725>
029.	イッポンワラビ	00(W4-4下)<24844> 01<Uchida & Fujinuma s.n.> 02<18166, 22758, 25229, 50052, 50213> 03<22436> 04<20559, 20581, 22701A, 24790> 05<50316> 06<22579, 22669, 24803> 09<50467, 50468> 10 11<24399> 12<25050, 25268, 25269>
030.	ホリバシケンシダ	02<18215, 25245> 05<50329> 08<25712> 12<25068>
031.	オオメシダ	02<50204>
032.	ミヤマシケンシダ	00<50104> 01<20497, Uchida & Fujinuma s.n.> 02<18206, 50032, 50252, 50267> 03<22429, 22440> 04<22705, 24783> 05 06<22576, 22647, 22672> 07<50438> 08<25711> 10<17724, 17700, 25734, 25735> 11<17737, 24400> 12<25052>
033.	クサツツ	00<22356, 22381> 00(12ku) 00(-W4) 01<20507> 02 04 05<50372> 06<22581, 22681> 07<50461> 09 10 11 12

034. イモランソ 01<Uchida & Fujinuma s.n.> 02<50045, 50215, Uchida & Fujinuma s.n.> 04<20576, 24772>
05 06<22652, 24794> 07<50458> 11<17736, 22687>
035. コウワレド 00<22378, Uchida s.n.> 00(-14ku) 00(-W4) 01<20473> 02<50028> 04 05 06<22587>
07<17647, 50459> 08 09 12
- ウラボシ科 Polypodiaceae-----
036. ホイソ 01<Uchida & Fujinuma s.n.> 06<24819> 07<17641> 12<25063, Uchida s.n.>
037. ミヤマキノコ 01 06<24793> 07<17639> 11 12<25062, Uchida s.n.>
038. ホシグサデンド 01<25938> 02 03<22518> 07<20300> 09<50503> 12
039. イワモトカ 01<Uchida & Fujinuma s.n.> 02<18180> 03 04 05<50334> 06<22638> 07<17640> 10 1112
-
- ―― <種子植物 Spermatophyta>
- ―― <裸子植物 Gymnospermae>
- マツ科 Pinaceae-----
040. トドマ 00(N office) 02<18168, 50297> 07<20299> 08<18277, 24448>
041. カラマツ 01<20529> 02<50237> 05
042. ドイツトヒ 02<26002>
043. チョウセンゴウ 02<00003, 18133, 26003> 06<22680> 07<20294, 20298, 50430> 08<25715>
044. キタゴウ 08<24442>
-
- ―― <双子葉植物 Dicotyledoneae>
- <離弁花類: Choripetalae>
- クルミ科 Juglandaceae-----
045. ホミ 00(-S5) 00(S7)<24464> 02<17826> 05<50373> 12
- ヤナギ科 Salicaceae-----
046. ネコヤナギ 00(-S0) 00(S7)<18266>
047. エゾバコヤナギ 00(12ku) 01<20527> 05<17870> 07<20304, 50428, 50429>
048. イヌコリヤナギ 00<17867, 17869, 50065> 01<20528>
049. エゾキヌヤナギ 00(S0-K4) 00(S7)<18265> 06 07<20302>
050. オノミヤナギ 00<17925, 00010> 00(S7)<24465> 01<20524> 06<22627> 07<20303> 11<24827>
051. タチヤナギ 00(S1)<24297> 00(S5)<24463>
- カバノキ科 Betulaceae-----
052. ケヤマハンノキ 01<20469> 05<17914, 50371, 50374> 06 07<20301> 09<50481>
053. ハンノキ 00(13ku) 01<20533> 02<18132> 12<18230>
054. ウダカンバ 05<17909, 50355> 07<20295>
055. シラカンバ 01<20526> 02 05
056. サワバ 01 02<18204, 50223> 03<22435> 04<20566> 05<17876, 17918, 50298, 50300> 06<22600> 07<17675> 08 09<50504> 10 11<24415> 12<18254>
057. アサデ 02<18218> 02(-ヤマゴ畑) 05<18267> 07<50389, 50390, 50436> 12
058. アサ 01<20510, 20523> 02<18170, 50002, 50288> 05 06 07<20291, 24451> 08 10<17696> 12
- ブナ科 Fagaceae-----
059. クリ 00(S0)<25852>
060. カシ 00<17576> 02<18112>
061. ミズナラ 01<20492-カサモト?> 02<50236> 03<22460> 05<50338> 06<22599> 07<17631, 50433> 08 10
12<18236>
062. コナラ 00<17614> 00(12ku) 01<20493, 20494> 02<18134, 18182, 50248> 03<22433> 05 07<20296, 24449> 08 12
- ニレ科 Ulmaceae-----
063. ハルニレ 00(N office) 00(12ku) 00(S0)<24466> 00(-S5) 02<18123, 20451, 50277> 03<22416> 05
06<22632> 08 10
- クワ科 Moraceae-----
064. カラハツク 00<22385 ♀> 00(-14ku)<25698 ♂> 00(K1) 00(-S2)<25925 ♀> 02<50129, 50201> 05 06 07
<17652 ♀> 12
065. ヤマク 00<22382, 50092> 00(-8ku) 00(12ku) 01 02<17854 ♂, 18115, 18137 ♀, 20452 ♀> 03<22415>
05 06 08 10<17726> 11<24824 ♀> 12
- イラクサ科 Urticaceae-----
066. クサアザリ 00<17610> 00(-14ku)<25696> 02<25234, 25252, 50203> 05 06 07<50378, 50379, 50410>
067. ムコイラクサ 01 02 03<22407> 04<20567> 05<17899, 50140> 06<22566> 07<17648> 08 09<50469, 50470>
10 12
068. ミズ 00(-K2, 3)<25915> 05<24295> 07<17664>
069. アオミズ 02<25928>

北海道大学農学部附属牧場の維管束植物相

070. コノイラクサ	02<50177> 04 09<24426> 09-10<25964>
071. エゾイラクサ	00<22741> 01 04<22713> 06 09 10<17706> 11 12
----ヤドリギ科 Loranthaceae-----	
072. ヤドリギ	00(4ku)<18281> 06
----タデ科 Polygonaceae-----	
073. ミズヒキ	01<20545> 02<20461, 50126, 50278> 03<22454> 05 06<22616> 07<17636> 08 09 10 12
074. ヤナギタデ	00<22370> 00(-K2, 3)<25914> 00(E8)<24291>
075. オオイヌタデ	00<25952> 00(-S2)<25923> 07<17661, 17682, 17685>
076. イヌタデ	00<17595, 20556, 22331> 00(-07)<25741> 01 07<17634>
077. クニツバ	00(-07)<25740> 00(-15ku)<25945> 02<25931>
078. ヲノネササ	00<22346> 00(-K2, 3)<25912>
079. イシミカワ	00<50102> 00(-S2)<25926>
080. サナエタデ	00<25949>
081. フキノウナギツカミ	00<17601, 22328, 22332> 01
082. ミソツバ	00<17594, 22379, 50063> 00(12ku) 00(13ku) 00(-K2, 3)<25916> 01<20474> 02 06<22610B>
	07<17671> 09<50492> 10 12
083. ハナタデ	02<25932> 07<17665> 08<25716>
084. ミチヤナギ	07<17684>
***. ミチヤナギ属	00<20552>
085. オオイタドリ	00(-S0) 00(N of S2) 01<20463> 02<50127> 05 06<22620>
086. スイバ	00 02<18153, 20456>
087. ヒメスイバ	00<50100> 00(E9)<17904> 00(13-15ku)<24432>
088. エノハギンギ	00<22388, 50080> 00(ヤマゴ畑) 00(12ku) 02<18125, 20458, 50022> 05 07<50414>
----スベリヒユ科 Portulacaceae-----	
089. マキバヌマハコベ	00(E9)<22688, 24771>
----ナデシコ科 Caryophyllaceae-----	
090. ミミナギサ	00<22347, 24456> 00(E9)<22689, 22692> 01<20542> 02<17777, 17806, 17852, 18129, 50131, 50152, 50183> 06<22558> 07 09<24421> 11<24414> 12<18240, 25077>
	00<50085> 00(-W4) 02<17830, 18222, 50272> 05
091. オオヤマフスマ	04<24780>
092. タチハコベ	00<20555> 02<18179>
093. ヲメササ	10<22785>
094. マツヨイセンノウ	00<22343, 22747> 00(E9)<22694> 01<20476> 06<22609> 07 11<24826> 12<18241>
095. ミナフスマ	00<18261, 22375> 00(12ku)<24854> 02<50122> 12<25045>
096. ウシハコベ	00<20554, 22743, 24455> 02<17851>
097. ハコベ	00(-13-15ku)<24434> 02<17795, 25235, 50138, 50238, 50241> 04 06<22608> 09<24422> 11
098. ミヤマハコベ	<24412> 12<25076>
099. カラフトホリハコベ	00<18282, 22365> 00(3-4ku)<22788>
----アカザ科 Chenopodiaceae-----	
100. シロザ	07<17683>
----ヒユ科 Amaranthaceae-----	
101. イノコサ	00<22386>
----モクレン科 Magnoliaceae-----	
102. キタコソ	01<20462> 03<22456> 04<25969> 05<17884, 22779, 50342, 50345> 06 07<17679> 11 12
103. 萩ナキ	01<20487> 02 03<22770> 05<17920, 50365> 06<22636> 08 09 11
----マツブサ科 Schisandraceae-----	
104. チョウセンギミ	00 02<17780, 18148, 50130, 50233, 50246> 04<20571> 07<50405>
----カツラ科 Cercidiphyllaceae-----	
105. カツラ	00(12ku) 01<20324> 02<17828, 18192, 50225, 50270> 05 06<22586> 07<50431, 50432> 08 09 11 12
----キンポウゲ科 Ranunculaceae-----	
106. エトリカブト	01<25941> 02<50244> 05 06<22661> 07<17668> 09 11
107. ヌルヨウショウマ	02<50239> 12<25071>
108. フナジュソウ	02<17808, 22504, 22508-キタマツジュソウ型, 50191> 03 04<20347> 05<50409> 06<22563> 09 1112
109. ヒメイチヂ	02<22553> 05<25967> 11<22685, 24404>
110. ニリンソウ	01 02<17821, 50286, 50287> 04<20345, 22702> 05 08 09 11
111. アズマイチゲ	02<17836, 22503, 50178> 03<22516> 04 05 06<22593> 09 11<24401> 12
112. エノリリュウキンカ	02<20343, 22512> 04<00001> 05<17879> 07
113. サラシナショウマ	00(12ku) 02<25251> 03<22441> 08 12
114. シコタンキンポウゲ	03<22774>

115. ハイキンボク 00<22349> 02<17797, 50148, 50273> 05 06<24820> 07
 116. キツネノホト 00<22349> 00(13ku) 01<20475> 02<18165> 02-06<17497> 04<20579, 24782> 06<22618> 1
 2<18246>
 117. カマツソウ 02<22756, 50147> 05<17874, 50333> 07<50377>
 118. アキカマツ 00<17580> 00(-S2) 09<50471>
 ----シラネアオイ科 Glaucidiaceae-----
 119. シラネアオイ 02<17825, 50176> 04<22717> 11<22686>
 ----メギ科 Berberidaceae-----
 120. メギ 01<20332, 20538>
 ----センリョウ科 Chloranthaceae-----
 121. ヒトリシズカ 02<17838> 04 06<22573> 11
 122. フタリシズカ 01<20490> 02<17800, 20453, 50141> 02-05<17503> 07<50394> 08<18269, 18270, 18271> 10
 ----ウマノスズクサ科 Aristolochiaceae-----
 123. クエリサイ 02<18217> 05<17905, 50331, 50353> 06<22564> 09 11<24823>
 ----ボタン科 Paeoniaceae-----
 124. ヤマシキヤク 12<18245>
 ----マタタビ科 Actinidiaceae-----
 125. カナシ 00(12ku) 00(-14ku) 01 02<18136, 50294> 05<17917> 12
 126. ヲタビ 01<20481> 02<18121, 18138, 25220> 02-06<17506> 05<50356> 06 08 12<25065>
 ----オトギリソウ科 Hypericaceae-----
 127. オトギリソウ 00<50059> 00(-14ku)<25700> 02<22242> 05
 ----ケシ科 Papaveraceae-----
 128. カサネ 00(S7)<18264>
 129. エゾエンゴサク 02<17823, 22505, 22507> 03 04<20346> 05 09 11 12
 130. ムササキマン 00(12ku)<24857> 00-07 01<20318> 02<17771, 50040> 05 12
 ----アブラナ科 Brassicaceae (Cruciferae)-----
 131. ヤマハナサ 01<20478> 02<17787, 17832, 18157, 25227, 50128, 50151> 04<22719> 11 12
 132. ハルギキマガラシ 00<17868, 24457>
 133. ナズナ 00<22744, 50097> 00(12ku) 00(E9)<22701> 00(-W4) 02<17849>
 134. ナツメバ 00<17864, 17866> 00(E9)<22696> 05<50368, 50370> 06<22610>
 135. コロンソウ 02<17789, 50144> 03<22439> 04<22710A> 05 07 08 12
 136. エゾノナンジン 06<22663>
 137. マダガスカナズナ 00<20550>
 138. イガラシ 00(5ku)<25814>
 139. スカシゴボウ 00(S7)<18259>
 140. キレハスガラシ 00(N office)<25036> 00(牛舎)<25264> 00(-K2, 3)<25913>
 ----ベンケイソウ科 Crassulaceae-----
 141. ミツバハクソウ 12<25054>
 ----ユキノシタ科 Saxifragaceae-----
 142. ハルネコノメソウ 04<24776> 05<17885, 50312> 06<22649> 08 12<25078>
 143. ネコノメソウ 01<20317> 04<20348> 05<17890, 50367> 11<17733, 22683> 12<18238, 25079>
 144. ヤマネコノメソウ 00(E9)<22693> 01<20313> 02<17813, 17820, 50133> 09<24427>
 145. チシマネコノメソウ 01 02<17810> 02-06<17486> 06<22607> 09 11<24410> 12<18243, 22520>
 146. マルバネコノメソウ 11<24825>
 147. ノリウツギ 01<20511> 02<18116, 50247> 06 07<17649> 11<24821>
 148. ヲルアサギ 00(12ku) 01 02<17848, 18152, 50234> 02-06<17493> 03<22442, 22461> 04 05 07<17676, 20290, 20293> 11 12
 149. エゾノクワモソウ 01 02<25935> 03<22422> 04 05<17882, 50335> 06<22639> 07 08 10<17705> 12<18251>
 150. イワガラミ 02<50049, 50227> 07<50434, 50435> 10<24419>
 151. スズヤクシ 06<22668> 10<17711> 11
 ----バラ科 Rosaceae-----
 152. ヒメキンミズヒキ 00(K2)<25743> 07<25825>
 153. キンミズヒキ 00<17507, 17578, 22336, 22340, 22358, 50093> 00(-09) 00(K2)<25743> 00(-E2)<25842>
 01<000013, 20544> 02<25222-25224, 25230, 25231, 50055> 05 06<22610A, 22611> 07<25826, 50451, 50452>
 154. ヤマブキショウマ 02<18201> 04<22707A> 06<22645>
 155. アビチゴ 00(3-4ku)<22785C> 00(12ku) 02<17781, 18199, 20449, 50124> 06<24802> 12
 156. オニシモツケ 05<50339, 50436> 06 07 12<18252>
 157. エゾノシモツケソウ 00(-S5)<25081>
 158. オオダイコンソウ 00<50083> 00(ヤマゴ畑) 01<20547> 02<18142, 18183, 18190> 05

北海道大学農学部附属牧場の維管束植物相

159. ダイコンソウ	00(-09) 00(-W4) 01<20477> 02<50139> 03<22423> 06 07<50399, 50462, 50491> 08 10 11 <17743> 12<18242>
160. ヒメヘビイチゴ	00<22783> 05 12
161. ミツモトソウ	00<17612, 22348> 00(-14ku)<25693> 01 02<50265> 08 09
162. ミツバツチグサ	00 02<17776, 50036> 11<22682>
163. エゾミツモトソウ	00(N office)<25029>
164. カマツカ	02<50295> 06<22722>
165. ミヤマザクラ	00(6ku)<24866> 01<20517> 02<18156> 05<17893, 17903, 50351> 06<22604> 08<24445> 12
166. スモモ	00<22546>
167. オオヤマザクラ	00(11ku)<24861> 01<20331, 20539> 02<18164, 50235, 50250> 05<17910, 25968> 06<22659> 07<17678, 50439> 11<17735, 24411, 24861>
168. シウリザクラ	04<20350> 06<22653> 08
169. カスミザクラ	02<17786, 18113, 50219> 04<17915>
***. サクラ属	05<17902, 24452>
170. ノイバラ	02<25239, 50279>
171. クワイチゴ	00<50103> 00(S4-5)<24302> 02<18147, 22759> 06
172. ウラジロイチゴ	00(3-4ku)<22790> 00(12ku)
173. ナシロイチゴ	00<17617, 50082> 00(3-4ku)<22792> 00(-S5) 00(-W4) 01<20525> 02<18140, 18189> 07<50420, 50421>
174. ナガホシロウレモコウ	00(S3)<24299> 00(-S5) 00(13-15ku) 06 09<50476, 50480>
175. アズキナシ	02<50226> 03<22457> 04<22716> 06 10<17695> 12
176. ホザキシモツク	02<18161>
177. コメウツギ	00(12ku) 02<18167, 50006> 03<22449> 04 05 06<22660> 07<50446> 09 10<17714> 11
----マメ科 Fabaceae (Leguminosae)-----	
178. ヤブマメ	00<17611> 01 03<22389> 06 07 12
179. ヤブハギ	00(-14ku)<25701> 06 07<17638, 50465> 10
180. ヤマハギ	01<20532> 02<50196> 06<22720A> 07<50424, 50427> 08 09 10<17687>
181. メドハギ	06 07<17686>
182. イヌエンジュ	00<17865> 00(12ku) 01<20516> 02<18143, 50024> 04 05<50310> 06<22626>
183. ムラサキツメクサ	00<17599, 22344> 00(-S5) 01 02 05 07<50425> 10 12
184. シロツメクサ	00<22362> 00(12ku) 00(-S5) 02<18176, 50181> 05 08 09<50477> 10 12
185. ツルアジハナ	00(-S2)<25922> 00(S3)<24300> 01<20531>
186. クサツツ	10<17690>
----カタバミ科 Oxalidaceae-----	
187. カタバミ	00(office)<25846, 25953>
188. エゾチカタバミ	00<17606> 02<50187> 06 07<50466> 08<18280> 12
----フクロソウ科 Geraniaceae-----	
189. ゲンノショウコ	00<17625, 22330, 22355> 00(-14ku) 02<18191, 50263> 06<22589> 07<50393, 50417> 08
190. ミツバウロ	07<50391> 08<25706> 12
----トウダイグサ科 Euphorbiaceae-----	
191. マルミノウルシ	02<22514, 22551, 22764> 03 04<00008, 20349, 24773> 10 11<24398> 12
----ミカン科 Rutaceae-----	
192. キハダ	00(11ku)<24860> 04<22777>
193. サンショウ	01 02<50159> 06<22628> 08 09<50497> 10<17720>
----ニガキ科 Simaroubaceae-----	
194. ニガキ	00(6ku)<24867> 01<20540> 02<18173> 05<25998> 12
----ウルシ科 Anacardiaceae-----	
195. ツタウルシ	00(-office) 00(11ku)<24859> 01<20496> 02<17804, 50251> 03<22448> 05 06<22597> 08 09 11 12
196. ヤマウルシ	02<18214> 06<22721>
----カエデ科 Aceraceae-----	
197. ミツカエデ	00(11ku)<24864> 00(12ku)<24856> 01<20309> 02<17799, 50285> 03<22434> 05 06<22624> 07<17662> 08<24446> 09 10 12
198. カラコギカエデ	00(-S2)<25921>
199. ハウチワカエデ	02 05 06<22674>
200. クロビイタヤ	00<50081> 03<22410, 22776> 05<17919, 50358, 50361, 50362, 50364> 06<22665> 12<18237>
201. エゾイタヤ	00(12ku)<26001> 01<20315, 20339> 02<50289> 03<22413> 03(-E7)<25258-7イタヤ> 04 05<17912-オニイタヤ?, 50305> 06<22656> 07<17637, 24450, 50450> 08 09 10 11 12
202. オオモミジ	00(8ku)<25817> 00(12ku) 01<20509> 02<50228, 50230> 03<22408> 05<17883, 17916, 24847, 50357, 50359> 06<22655> 07<17663, 50449> 08<24444> 11<24409>

- ツリフネソウ科 Balsaminaceae-----
 203. キリフネ 00 01<20537> 02<18175, 50264, 50292> 05 06<22641> 08 09
 204. ツリフネソウ 00(-14ku) 01 02<25221> 04 05 06 08 10<17707> 12
- ニシキギ科 Celastraceae-----
 205. ツルウメモドキ 00<20558, 22383, 50084> 00(-W4) 06 09 10 11<24833-オニツルウメモドキ> 12
 206. ツルマサキ 02<17842, 22511, 50232> 03<22401> 04 07<20297> 12
 207. ツリバナ 02<17792, 50229> 12<18256>
 208. ムミ 00(S5)<24462> 00(N office) 00(-K1) 01<20333> 03<22412> 05<17911, 50303>
 07<17666> 11<24418> 12
- ミツバウツギ科 Staphyleaceae-----
 209. ミツバウツギ 01<20340> 02<17803, 50020> 02-06<17508> 03<22431> 05<22778> 06<22578> 08 09 10
 11<24403> 12
- ツゲ科 Buxaceae-----
 210. フキソウ 01<20321> 02<17839, 50261> 03<22438> 04 05 06 10<17722> 12
- ブドウ科 Vitaceae-----
 211. ブドウ 00<24304> 00(-07) 00(-S0) 02<18188> 07<50382, 50383>
 212. ヤマブドウ 00<17613> 02 05<50369> 08 09<50499, 50500> 10
- シナノキ科 Tiliaceae-----
 213. シナキ 00(12ku)<24853> 02<50281, 50284> 04 05 06<22596> 09 11<24402>
 214. オオバコダイジュ 00(12ku)<24852> 02<18186, 22762, 25249-モイロボダイジュ> 04<20569-モイロボダイジュ> 05<1789
 5-モイロボダイジュ> 06<22591-モイロボダイジュ> 07<50406> 10<17713-モイロボダイジュ> 12<25073-モ
 イロボダイジュ>
- ジンチョウゲ科 Thymelaeaceae-----
 215. ナニワ 02<50224> 03<22444> 04<20351> 05 07<17667> 11
- グミ科 Elaeagnaceae-----
 216. アキダ 02<25937>
- スミレ科 Violaceae-----
 217. タチソスミレ 01<20322> 02<17773, 17807, 22550, 50268> 04<22703> 06<22658, 22670> 11<24413>
 218. オオタチソスミレ 05<50120, 50314> 09<24429>
 219. オオバタチソスミレ 02<22753>
 220. ミヤスミレ 11<24408>
 221. ヒナスミレ 01<20335> 02<17837, 20341, 22548> 05 06<22621, 24797>
 222. サンシキスミレ 00(N Office)<25274>
 223. ツボスミレ 00<22782, 50095> 00(13-15ku)<24431> 02<17772, 18213, 50163> 11 12
 224. ヒカダスミレ 01<20338, 1-6> 02<22549>
- ウリ科 Cucurbitaceae-----
 225. アマチャツル 04<25837>
 226. ミヤマニガウリ 00(-09) 04 09<50472, 50473> 10<25730>
- ミソハギ科 Lythraceae-----
 227. エゾミソハギ 00(-K1) 00(-S6)<25747>
- アカバナ科 Onagraceae-----
 228. ウツキソウ 02<25240> 09 10<25732>
 229. タニタデ 02<25232, 25247, 50283> 02-06<17498> 04<24774> 10<17694>
 230. ミズタマソウ 02<18117, 25244> 08<25710> 10<25733>
 231. イワアカバ 00(N Office)<25275> 00(-14ku)<25697> 09<50482>
 232. カラフトアカバ 07<25824>
 233. アカバ 00(-9ku)<25820> 00(-14ku)<25694>
 234. ママツヨイダ 00<17577, 50114> 01 07<50381>
- ウリノキ科 Alangiaceae-----
 235. ウリノキ 06<24807>
- ミズキ科 Cornaceae-----
 236. ミズキ 00(12ku) 02<18144> 05<17907, 50352>
- ウコギ科 Araliaceae-----
 237. ケヤクソギ 00<17618> 02<18187, 22552, 50051> 03<22403> 04<20578> 05<24294> 07<17642> 08 12
 238. コシアブラ 06<24805>
 239. ヒメウコギ 09<50521>
 240. ウド 02<18145> 05<17921, 50363> 06<22630> 08 10
 241. タラシ 00(K1-W4) 00(-8ku) 00(12ku) 00(-S2) 01<20482> 02<18145, 50217> 04 05<17901>
 06<22625> 07<17653> 08 09
 242. ハリギリ 01<20491> 02<18135, 50218> 04<22709> 05<17892> 08 10

北海道大学農学部附属牧場の維管束植物相

----セリ科 Apiaceae (Umbelliferae)-----	
243. エノヨロイサ	02<06<17490> 07<50441, 50442> 08<25717, 25728> 12<18273>
244. アマニユウ	03<22409> 04 05<17889, 50376> 06<22583>
245. オオハセンキョウ	00<22357> 00(-S5)<25748> 01<20506, 25939> 04<22713A> 05<50318> 07 10<17708> 12<25041>
246. エズニユウ	09<24425> 11
247. シヤク	00<22739> 00(-12ku) 02<50192> 04<20561> 05<17871> 06<22679> 07<50416> 11<24830> 12<18255>
248. セントウソウ	00 01<20312> 02<17774, 17783, 22748, 50058> 03<22411> 04 05 06<22561, 22614> 07<17499> 09 11
249. ミツバ	00(-office) 00(12ku) 01<20470> 02<50117> 03<22419> 05 06<22615> 07<50453> 10<17710> 11 12
250. オオハナダ	00(S7)<18263> 02<22750>
251. セリ	00(-02)<22738> 00(-K3) 01
252. アブニンジ	01<20467, 20514> 02<17794, 18160, 50135, 50249> 02-06<17495> 04 05<50350> 06<22567> 10 12
253. ウマミツバ	01<20465> 02<50155> 03<22404> 05 06<22570, 24804> 07<17643, 50454> 08 10 11 12
254. タニミツバ	00(-9ku)<25821> 03<25260> 06 07<17672>
255. カナツメソウ	01 02<50161, 50171> 02-06<17487> 03<22437> 04<20565> 06<22602> 07<25958, 50448> 08 09 10 12
256. ヤブガラシ	00<50075> 00(-09) 01 02 02-06<17501> 06 09
<合弁花類: Sympetalae, Gamopetalae>	
----イチヤクソウ科 Pyrolaceae-----	
257. ウメガサソウ	07<50395> 11<17740>
258. イチヤクソウ	02<18221, 18222> 02-06<17496> 03<22396> 04<25833> 11
259. シンヨウイチヤクソウ	04<25830>
----ツツジ科 Ericaceae-----	
260. ヤマツツジ	04<22718, 25831, 25832> 06<24806>
261. ナツハゼ	06<22723>
----サクラソウ科 Primulaceae-----	
262. オカトラノオ	03<25256> 07<50407, 50426> 08
263. コスビ	00(ヤマゴ畑) 02<18171, 50258>
264. クサレダマ	00<17579, 22359> 00(-S5) 01<20534> 08
265. クリソウ	00(12ku) 02 04 05<17923> 06<24818> 07
266. サクラソウ	00(-S5) 00(-S6) 01<20314> 02<17793, 50143>
----エゴノキ科 Styracaceae-----	
267. ハクウンボク	02<18211> 03<22455> 05<17908, 50307, 50308> 10<17697> 11<24822> 12
----モクセイ科 Oleaceae-----	
268. オオダマ	01<20468> 02<50222> 03<22453> 04 05 06<22606, 22623> 07<22781> 08 09<50493> 10<17699> 11
269. ヤナギ	00<18262> 00(12ku) 00(13ku) 02<18120, 18126> 03<22769> 04<20562> 08
270. イボタナギ	02<18172>
271. ハシドイ	00<50079> 01<20310, 20489> 02<18131, 50220> 03<22430> 05<17881, 17922> 06<22662> 08 09 10 12<18235>
----リンドウ科 Gentianaceae-----	
272. エゾリンドウ	00(S2) 00(S3)<24301>
273. フデリンドウ	00(13-15ku)<24441> 02<17829> 04<00025> 05<50322, 50344> 07<17644>
274. ホソバツリンドウ	06<Sato s. n.> 07<50380>
275. アサボリソウ	00<17608>
----ガガイモ科 Asclepiadaceae-----	
276. イケマ	01<20530> 02<18185, 50202> 06 07<50392> 08 09
277. ガガイモ	00(-S0)<25744> 00(-S6)<25085>
278. オオカモメヅル	03<22392> 04<25828>
----アカネ科 Rubiaceae-----	
279. クルマバウ	05<17877> 06<22555> 10<17718> 11<24416>
280. エゾヨツバムグラ	11<24417>
281. ケムシグサ	00<22742> 00(12ku) 01<20471> 02<17784, 18119, 18139, 18146, 50123> 05<17897> 07<50387> 12<18247>
282. ミヤマキヌタソウ	11<24832>

283. オバノヤエムグサ 00(-14ku)<25690> 01 02-06<17500> 03<22458> 04<24777, 25839> 05<17896> 06 07
08<18272, 25709> 09 11<17732, 24831>
284. ホソバヨツバムグサ 00<22361>
285. カルマムグサ 01<20334, 20466> 02<17811, 18181, 50254> 03<22424, 22425> 04<20563, 24778> 07<50437>
- ヒルガオ科 Convolvulaceae-----
286. ナシカズラ 00<17586> 07<17680, 25960> 08 10
- ハナシノブ科 Polemoniaceae-----
287. エソハナシノブ 06<Sato s. n.>
- ムラサキ科 Boraginaceae-----
288. エソムササキ 05<50340, 50343> 06<24792>
- クマツヅラ科 Verbenaceae-----
289. ムラサキシキブ 02<22766> 04<25829> 12<25072>
290. カリガネソウ 00(3-4ku)<22791> 00(12ku) 00(ヤマゴ畑) 00(N of S2)<25927> 02<50121, 50125>
08<25727> 10<25731> 12<25057>
291. クサギ 00(11ku)<24862> 02<18114, 50158> 02(-ヤマゴ畑)<25253> 02-06<17505> 04 05
- シンソ科 Lamiaceae (Labiatae)-----
292. ヅッコウソウ 02<25934> 03<25255> 10<25736>
293. クルマハゲ 00<17626, 22345, 50384> 00(-14ku)<25699> 00(-15ku) 02<18158, 25238, 29241> 08 12
294. イヌトウハゲ 00<17627, 22360> 00(4下ku-W4)<25808> 02<25933> 03<22402> 06<22562> 07<25959>
08<25704, 25721>
295. ナギナタコウジュ 00<17596> 00(N of S2)
296. チシマオドリコソウ 00(-E2)<25843>
297. シロネ 00(-K1)<25040> 00(-S5)<25752> 00(-E8)<25819>
298. ヒメシロネ 00<50076> 02<18151>
299. コシロネ 00<22368>
300. エソシロネ 12<25051>
301. ハッカ 00(K2)<25849>
302. ヒメヅツ 00<22341> 00(4下ku-W4)<25810>
303. ウツボグサ 00<18268, 20557> 00(-S5) 02<18124>
304. ヤマハッカ 00(-S5)<25924> 01<20536> 02<18149, 18150> 05<17898> 06<22569> 07<17633> 08
305. ヒメナミキ 00<22363> 00(-S0)<25084> 01<20501>
306. エソナミソウ 01<20501> 02<18203> 04<20570> 10<17721> 12<18249, 25066>
307. エソナミキ 00(S0)<25851>
308. カルニゲクサ 00(-09) 08<25705>
- ナス科 Solanaceae-----
309. イヌハゼ 00<25950> 00(S7)<18260>
- ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae-----
310. トキハゼ 00(lawn)<25273>
311. シソハゼ 00(13ku) 02<18195, 20549> 06<24811> 12<18239>
312. オオヒナウスツボ 00(-07)<17602> 07<25956> 08
313. ナシメノフグ 00(lawn)<24453>
314. エソカゲイウ 00<17615> 07<50411>
- ハマウツボ科 Orobanchaceae-----
315. キヨスミウツボ 12<25070>
- ハエドクソウ科 Phrymaceae-----
316. ハエドクソウ 01<20495, 20536> 02<18169, 25222, 25223, 25224, 25230, 25231> 02-06<17494> 03<22427>
04<20564, 20568> 05<17898> 06<22569, 24799, 24800> 07<50456> 08<25713, 25714>
10<17729>
- オオバコ科 Plantaginaceae-----
317. オオバコ 00<17589, 22339> 00(K2, 3)<25917> 00(-W4) 02<50186, 50276> 05 06<22617> 07<50400>
08
- スイカズラ科 Caprifoliaceae-----
318. エノニトコ 00(E6) 02<17782> 05<50306, 50360> 06<22650> 08<24443> 12
319. ガザミ 01<20505> 02<18122, 20454, 50221> 03<22459> 05<50291> 06<22634> 07<17630> 09
10<17693> 12
320. カンボク 00(S5)<24460> 02<50280, 50282> 09<24424> 12
- レンブクソウ科 Adoxaceae-----
321. レンブクソウ 02<50169> 04 05<17880> 06<22554, 24813> 09 11<24397>

北海道大学農学部附属牧場の維管束植物相

----オミナエシ科 Valerianaceae-----	
322. オミナエシ	00<17628> 00(-07) 00(-14ku) 01 02<50003, 50175> 04<20575> 06<22642> 07<50423, 50443> 08
----キキョウ科 Campanulaceae-----	
323. ツリガネニンジン	00<22366> 00(-07) 00(-S0)<25745> 00(-S6) 01<20337> 08
324. バナナ	00(E2)<24846, 25844>
325. タニキョウ	00(1上)<Inaba s. n.>
----キク科 Asteraceae (Compositae)-----	
326. キクノギク	00(S5)<24461, 25751>
327. セイヨウノギク	00<24454> 07
328. ノギク	00<22372> 00(-09) 02<50053> 05 06<22594> 10<17727> 12
329. ヤマハハコ	06 07<17674>
330. ヲシロ	00(8ku)<25818>
331. オトコヨモギ	00<22384> 06<25943>
332. イヌヨモギ	02<18219> 06<22720>
333. オオヨモギ	00<17583, 22338> 00(-07)<25955> 01 02<50119> 05 06 07<50398> 08 09 10
334. ヨモギ	06<22613, 25942>
335. エノコギリ	00<17600, 22354, 22369, 25951, 50086> 02
336. エノコギリ	00<17584, 22377, 50067> 01 02 06 08 11<17742>
337. センブリ	00<17609>
338. ヨウセンギク	10<17691>
339. シラヤマギク	00(S1-3)<24298> 04<25836> 06
340. アメリカセンダングサ	10<17692>
341. エノキツネアザミ	10<17688>
342. モミジガサ	01<20330, 20485> 02<50145> 02-06<17488> 03<22418, 22451> 04 05 06<22559> 07<17659> 08 09 10 11 12
343. ヨブスミ	01<20327, 20486> 02<50172> 03<22390, 22394> 04 05 06<22574> 07 08 09<50488, 50505, 50506> 10 11 12
344. ヤブタバコ	00(12ku) 00(13ku) 00(-13ku)<25689> 00(15ku) 00(-10)<25965> 02<25930>
345. ガンクビソウ	00<17598> 00(-14ku)<25691, 25692> 00(4下ku-W4)<25811> 01<25940> 04 07<25823> 08 09<50489> 10<17704, 25738>
346. オオガンクビソウ	00(3-4ku)<22789> 00(12ku)<25742> 00(13ku) 02<18130, 20455b, 50136, Uchida & Fujinu ma s. n.> 02-06<17504> 03<22405> 06<22654, 22677> 07<24290> 12<25271>
347. ミヤマヤブタバコ	03<22399> 10<17725>
348. フランシギク	00(E7)<25263>
349. エノキアザミ	00<17585> 00(-07)<25702> 00(-9ku)<25822> 00(-E2)<25946> 00(-K1)<25804, 25805> 00(-K2, 3)<25918> 04<25838> 06 07<25961, 25962>
350. チシマアザミ	01<20508> 02<18200> 05 06<22595> 07 12
351. オオノアザミ	00<22326>
352. タカアザミ	00<17744> 00(8ku) 00(S2)<25920>
353. アメリカオニアザミ	00(5ku)<25812> 00(12ku)
354. ヒメムカシヨモギ	00(-S2) 01 07<17677>
355. ヒヨドリバナ	00<17581, 22327> 00(-13ku) 01 02-06<17485> 06 07<50419> 08
356. ササヒヨドリ	00<22364>
357. ヒメチヂコギ	00(K2-3)<25850>
358. コウリンタンポポ	00(lawn)<25265>
359. ヤナギタンポポ	00<24303>
360. オグルマ	00(-S6)<25746> 10<17689>
361. ニガナ	01<20498>
362. イワニガナ	00(6ku)<24865>
363. ヤマニガナ	00(-09) 01 02<18209> 03<22428> 04<24781> 07<17657> 08 09
364. ヤブタバコ	02<50150>
365. センボンヤリ	02<50242> 06<22629> 10<17730>
366. コシカギク	00<18229, 20551>
367. アキタブキ	00<17862, 22351> 01<00001> 02<22509, 50165> 03 04 05 06<22612> 08 09 10 11 12
368. コウゾリナ	02 06 07<17660>
369. オオハンゴンソウ	00<17745, 22374> 00(-07) 06 09<50484>
370. ハンゴンソウ	02 05 06<22631, Sato s. n. -ヒトツバハンゴンソウ> 11<17741>
371. ノボロギク	00<18228>
372. メナモミ	00<17620> 00(8ku)<25815> 00(N office)<25802-コマナモミ> 07<17681>

373. オアワヂソウ 00(-W6)<25841>
 374. ミヤマキノキリンソウ 01 02<50194> 03<22450> 06 07<17632>
 375. オニゲシ 00(N Office)<25276>
 376. ノゲシ 01<Sato s. n.>
 377. ヒメジョオン 00(-office) 00(-S0) 00(-S5) 02<18177, 50056> 05 07<50444, 50445> 09<50502> 12
 378. ヘバヒメジョオン 00<17587, 22333> 00(-8ku) 06<Sato s. n.>
 379. エソタンボク 00(E9)<22698> 02<17858, 50137>
 380. セイヨウタンボク 00<17859, 22350, 50090, 50098> 00(E9)<22699> 00(-S0) 02 05
 381. オナモミ 00(5ku)<25813>
 382. オニタビラコ 02 12<25069>

――＜単子葉植物 Monocotyledoneae＞

----ユリ科 Liliaceae-----

383. キョウジャニンニク 01 02<17843, 22513> 03 04<22710> 05<50337, 50375> 07 09
 384. キジカクシ 02<18154>
 385. オウバユリ 01 02<20455a, 50253> 03<22452> 04 05 09 10 11 12
 386. スズラン 02<18155, 50195>
 387. ホウチヤクソウ 02<17827, 22749, 50164, 50179, 50180> 05 06<22588> 07<17670> 09<50525> 10<17716>
 388. チゴユリ 01<20543, 20479> 02<17809, 17815, 17816, 17834, 22755, 50156, 50293> 03<22420>
 04<22715> 05 06<22637> 07<26000> 10<17717>
 02<17833> 03 04<20344> 05 06<22572> 09 11
 389. カタクリ 09<24428-1>
 390. ヒメアマナ 02<22510> 03<22515, 22517> 04<22714> 05 09<24428-2> 12
 391. キバナアマナ 01<20323> 08<18279>
 392. センテイカ 00(-W4) 01<20316> 02<25250, 50142> 03<22393, 25261> 04 06<22676> 07<50418> 08 09
 10 12
 394. エソスカシユリ 00(-S5)<25082>
 395. クルマユリ 04<22710B> 05<17894, 50323> 06<22603> 09<50507> 12
 396. ホソバアマナ 02<17812, 17840> 04 06<22585>
 397. マイザルソウ 01<20488> 02<17822> 03<22426> 04<22707B> 05 06<22598> 08 11 12
 398. クルマバツグバネソウ 02<17841, 50168> 04<00012, 22707C> 06<22571>
 399. ヒメイズミ 01<20336> 02<17790>
 400. オオアマドコロ 00(13-15ku)<24435> 00(-W4) 01<1-02> 02<17779-アマドコロ, 17785, 50115> 04 05 06<22657>
 09 11<24396>
 401. ツルボ 02<Uchida s. n.>
 402. ヌキザサ 00 01<20311, 20336> 02<17775, 50026> 04 05 06<22560> 07 08 09 10<17719> 11
 403. シオデ 01<20546> 02<18118, 20457> 12
 404. エンレイソウ 01<20320> 02<17798, 22765, 50014> 04<22704> 05 06<22568> 07 09 11<24407>
 405. オオバノエンレイソウ 01<20306> 02<17801, 50011, 50260> 04<00005> 05<17886> 07 09 11
 ***. シラオイエンレイソウ 02<17802> 04<22711> 05<17887> 06<22565> 11<24405>
 ***. ヒダカエンレイソウ 09<24423> 11<24406>
 406. ミヤマエンレイソウ 01<20329> 02<50259, 50262> 04 05 06<22671> 09 11
 407. バイクイソウ 03<22775> 12
 408. シュロソウ 02-06<17491> 02<18202, 50257> 04 06<22635, 22675> 07<50404> 11

----アヤメ科 Iridaceae-----

409. ハナショウブ 03(-E7)<25262>
 410. キショウブ 00(W office)<26004>
 411. ヒオウギアヤメ 01<20323> 03<22772>

----イグサ科 Juncaceae-----

412. ヒメコウガイゼキショウ 00<20553>
 413. イグサ 00(E6-8)<24770> 12<25046, 25060>
 414. クサイ 00<17616, 22342a, 22780> 00(3-4ku)<22787> 00(12ku)<24858> 02<18184, 25243> 07
 12<18234>
 415. スズメノヤリ 00(S2-5)<24459> 02<50182>
 416. ヤマズミノヒエ 00(13-15ku)<24437> 02<17831> 09<50501>

----ツユクサ科 Commelinaceae-----

417. ツユクサ 00<22352> 00(-14ku) 08 09<Sato s. n.>

----イネ科 Poaceae(Gramineae)-----

418. コメカサ 00(3-4ku)<22786> 00(-07)<25739> 00(N office)<25037> 07<50386> 12<25270>
 419. スズメノテッポウ 00(E6-8)<24768, 24769> 00(W4-4下)<24843, 25807> 12

北海道大学農学部附属牧場の維管束植物相

420. オオスズメノテッポウ	00<17860, 22740, 24458, 50108> 00(E9)<22697> 00(牛舎)<25853> 12
421. ハルガヤ	00<50088> 00(W4-4下)<24842-ナナシハルガヤ> 12<25061-ナナシハルガヤ>
422. ヤマカモジガサ	02<20460, 25233>
423. キツネガヤ	02<20459, 25226> 02-06<17502> 04<20577> 07<17655> 08<25708> 09 10 12<25042>
424. ホガエリガヤ	12<25075>
425. ノガリヤス	00(-07)<25963>
426. ヤマアワ	00<22376> 07<17658>
427. ヒメノガリヤス	04<25834> 10<17731>
428. カモガヤ	00<50087> 00(N office)<25032> 00(-S5) 00(-W4) 01<20522> 02<17853, 18127> 05 10
429. タツノヒゲ	02<25225> 07<17635> 08<18275, 18276> 10 12
430. ナシバ	00(office)<25847>
431. アキメヒシバ	00<17591, 17593, 22334, 25954>
432. イヌビエ	00<17588-ヒメイヌビエ, 17597-ヒメイヌビエ, 24292, 24293> 00(-S2) 01
433. シバムギ	00(ヤマコ畑)<25254> 00(N office)<25033-ノギシバムギ> 02<20519, 20521> 12
434. ニワホコリ	00(8ku)<25816>
435. ホニウシノケガサ	09<50479>
436. トボシガラ	01<20483> 02<18163, 18178> 04<24788> 12<25056>
437. ヒロハノウシノケガサ	00<22784> 00(12ku) 00(12-W4)<24837> 00(-E2)<25996> 00(E4-7)<18225> 09<50486> 12<25035>
438. ドジョウツナギ	00<18257> 00(5ku)<24868> 02 12<18233, 25043, 25048>
439. ヒロハノドジョウツナギ	00(-S5)<25749> 00(4下ku-W4)
440. コウボク	00<17924, 50109> 00(13-15ku)<24433>
441. アシボリ	00<17624-ヒメアツボリ> 00(4下ku-W4)<25809>
442. イブキカホ	01<20472> 02<17814, 22752, 50174, 50240> 04<24789> 07 10 12
443. ススキ	00<17582, 22380, 50074> 00(-S2) 08
444. ミヤマネズミガヤ	00<17734> 02<25236> 08<25707>
445. ネズミガヤ	00<17592, 17605, 22337>
446. スカキビ	00<22335>
447. ニコダマカキビ	00<17607> 00(-S5)<25083>
448. クサヨシ	00<17650, 18224, 18227, 22387> 00(N office)<25031> 00(-S5) 00(-W4) 12
449. オオアワガエリ	00<18226> 02<20520> 05 07<50408> 12
450. ヨシ	00(-S2)<25919> 05
451. スズメノカタビラ	00<17629, 22353> 00(E9)<22691> 02<50167> 05 12
452. ナガハツサ	00(12ku) 00(E9)<22700> 02<17824, 17847> 03<22768>
453. ヤマミミチゴツナギ	02<17796, 17844, 50054, 50170, 50275> 04<22713B, 24787> 05<50327> 06<22605>
454. オオスズメノカタビラ	00<22745> 02<20450, 50269> 12<25044>
455. ミヤコザサ	00<17603, 22367, 50071> 01<20307, 20464> 05 06<22577> 07 08 09 10 11 12
456. スズクサ	06<22643>
457. キンエノコロ	00<17604, 17621, 22329, 25947> 00(-S2)
458. オオアブラススキ	00(-07)<25703>
459. ヒロハノハネガヤ	07<25957> 09<50531> 10<25737>
460. ハネガヤ	00(-S5)<25750> 00(K1)<25803>
461. カニツリガサ	01<20484> 02<18128, 22763> 12<25055>
-----サトイモ科 Araceae-----	
462. マムシガサ	00(12ku) 02<17778, 22767, 50116> 05 06<22557> 08<24447>
463. ミズバショウ	01<20328, 20500> 02<18193> 12<18248, 22521>
464. ザゼンソウ	01 02<20342, 22506, 50118> 03 04 05<17878, 22519, 25966> 07 08 09 10 11 12
465. ヒメザゼンソウ	12<25272>
-----ガマ科 Typhaceae-----	
466. ガマ	00(-K1)<25848>
-----カヤツリグサ科 Cyperaceae-----	
467. ミノボロスゲ	00<17861> 00(13-15ku)<24438>
468. エナシゴウサ	00(12ku) 01<20512> 02<18174, 22760, 25237> 03<22398> 05<17900> 12<25047>
469. ショウジョウスゲ	01<20325>
470. アオスゲ	00<50089, 50091> 02<17788, 50296> 04<22708, 24784> 09<24420>
471. ナルコスゲ	05<17873>
472. カサスゲ	00<Takita s. n.> 02<22751> 03<25259> 04<20580> 05<17891, 50330> 06<22664>
473. ミヤマシラスゲ	00<Takita s. n.> 00(12ku)<24849> 02<18197> 12<25059>
474. ヒロードスゲ	00<17863, 50077> 00(11ku)<24848> 00(13-15ku)<24436, 24439> 00(12-W4)<24836, 24838, 24839, 24841> 00(N office)<25038> 02<18212>

475. タニガワスゲ	00<13-15ku><24440> 05<17872> 12
476. カワラスゲ	00<50062> 00(12ku) 00(-14ku)<25695> 02<17846, 50019, 50057, 50197, 50200> 05<50325> 12<18231>
477. ヒゴクサ	01<20515> 02<17857, 50166, 50185> 02-06<17489> 04<24779>
478. ヒカゲスゲ	02<17835>
479. ハナベスゲ	00(12-W4)<24840>
480. ヤガミスゲ	00<Takita s. n.>
481. ヨウソ	03<22773>
482. ヒメシラスゲ	06<24814, 24815, 24816, 24817> 08<25718, 25719>
483. ヒカゲハリスゲ	01<20305> 02<17819, 18216, 22757, 50184, 50255> 04<24785> 05<17875, 50311> 06<22622> 12<18250, 25053>
484. ウスイロスゲ	02<17855>
485. サッポロスゲ	02<22547, 50162> 05<17888, 50332> 06<22592>
486. シラコスゲ	02<18194, 18196, 22761> 04<24775> 05<50325, 50366> 07<25999> 12<18244>
487. オオイトスゲ	04<22708, 24786> 06<22633>
488. タガネソウ	01 02<17805> 04<20573, 22712> 08
489. オオカワスゲ	00<22746> 00(12ku)<24850> 02<18198> 03<22771> 12<18232, 25058>
490. エソハリスゲ	00(W4-4下)<24845> 12<Takita s. n.>
491. ヒメクグ	00<22342b>
492. ウシクグ	00<25948>
493. クロヌマハリイ	00<18258>
494. アブラガヤ	00(-13ku)<24289> 00(-14ku)
-----ラン科 Orchidaceae-----	
495. ユウシュンラン	04<22707>
496. ササバギンラン	02<18162> 08<18278> 11<24829> 12
497. アオイチドリ	02<17845, 18205, 50173> 04<20574, 22706> 06<22584>
498. オニノヤガラ	02-06<17492> 08<25720> 12<18253>
***. シュスラン属	11<25729>
499. ノビネチドリ	06<22619>
500. セイタカスズムシソウ	02<20548> 12<25064>
501. クモキリソウ	01<20480>
502. スズムシソウ	02<17817> 04<24791>
503. コケイラン	01<20326, 20513> 02<17818> 03<22447> 04<20572> 05 07
504. オオヤマサギソウ	02<18220> 04<25835>
505. ネツバ	00(4下ku-W4)<25806> 00(-13-15ku) 08<25726>
506. トンボソウ	03<22397> 08<25722> 12<25266>

Specimens collected by H. Takahashi are <No;1****,2****> and those by T. Sato are <No;50****>, collector names are cited in other specimens. Specimens of the underlined numbers are deposited at Hokkaido University. Other duplicates are sent to TUS, VLA, TAIP, and so on.

北海道大学農学部附属牧場の維管束植物相

種名・科名索引					
[ア]		イヌビエ	432	エノニワトコ	318
アオスゲ	470	イヌホオズキ	309	エノノギシギシ	088
アオダモ	268	イヌヨモギ	332	エノノキツネアザミ	341
アオチドリ	497	イヌワラビ	026	エノノキヌヤナギ	049
アオミズ	069	イネ科	418-461	エノノクロクモソウ	149
アカイタヤ	201	イノコズチ	101	エノノコンギク	335
アカザ科	100	イブキヌカバ	442	エノノシモツケソウ	157
アカシデ	057	イボタノキ	270	エノノジャニンジン	136
アカソ	066	イラクサ科	66-71	エノノハッコヤナギ	047
アカツメクサ	183	イワアカバナ	231	エノノハナシノブ	287
アカネ科	279-285	イワイタチソウ	017	エノノミツモトソウ	163
アカバナ	233	イワオモダカ	039	エノノヨツバムグラ	280
アカバナ科	228-234	イワガネゼンマイ	012	エノノヨロイグサ	243
アキカラマツ	118	イワガラミ	150	エノノリュウキンカ	112
アキグミ	216	イワニガナ	362	エノハリスゲ	490
アキタブキ	367	ウコギ科	237-242	エノフユノハナワラビ	004
アキノウナギツカミ	081	ウツクグ	492	エゾミソハギ	227
アキメヒシバ	431	ウツタキノソウ	228	エゾムラサキ	288
アケボノソウ	275	ウシハコバ	096	エゾメシタ	024
アサダ	058	ウスイロスゲ	484	エゾヤマアザミ	349
アシボソ	441	ウダイカシバ	054	エゾヤマザクラ	167
アズキナシ	175	ウツボグサ	303	エゾヤマハギ	180
アズマイチゲ	111	ウド	240	エノヨモギ	333
アブラガヤ	494	ウマノスズクサ科	123	エノリンドウ	272
アブラナ科	131-140	ウマノミツバ	253	エナシヒゴクサ	468
アマチャヅル	225	ウメガサソウ	257	エビガライチゴ	172
アマドコロ	400	ウラジロイチゴ	172	エフデギク	358
アマニュウ	244	ウラボシ科	36-39	エンレイソウ	404
アメリカオニアザミ	353	ウリ科	225-226	オウレンソウ	009
アメリカセンダングサ	340	ウリノキ	235	オオアブラスギ	458
アヤメ科	409-411	ウリノキ科	235	オオアマドコロ	400
アザゲガマズミ	319	ウルシ科	195-196	オオアワガエリ	449
イ	413	エゴノキ科	267	オオアワダチソウ	373
イグサ	413	エゾアブラガヤ	494	オオイタドリ	085
イグサ科	412-416	エゾイタヤ	201	オオイストゲ	487
イケマ	276	エゾイラクサ	071	オオイヌタデ	075
イシミカワ	079	エゾエンゴサク	129	オオウバユリ	385
イチヤクソウ	258	エゾカンゾウ	392	オオカモメヅル	278
イチヤクソウ科	257-259	エゾクガイソウ	314	オオカワズスゲ	489
イッポンワラビ	029	エゾゴマナ	336	オオガンクビソウ	346
イトアオスゲ	470	エゾシロネ	300	オオスズメノカタビラ	454
イヌエンジュ	182	エゾスカシユリ	394	オオスズメノテッポウ	420
イヌガラシ	138	エゾタチカタブミ	188	オオダイコンソウ	158
イヌガンソク	034	エゾタツナソウ	306	オオタチツボスミレ	218
イヌコリヤナギ	048	エゾタンポポ	379	オオノアザミ	351
イヌタデ	076	エソトリカブト	106	オオハコ	317
イストウバタ	294	エゾナミキ	307	オオハコ科	317
		エゾナミキソウ	307	オオハセンキョウ	245
		エゾニュウ	246	オオバタチツボスミレ	219
				オオハナウド	250
				オオバナノエンレイソウ	405
				オオバナノヤエムグラ	283
				オオバボダイジュ	214
				オオハンゴンソウ	369
				オオヒナノウスツボ	312
				オオブキ	367
				オオミミナグサ	090
				オオメシタ	031
				オオモミジ	202
				オオヤマザクソウ	504
				オオヤマザクラ	167
				オオヤマフスマ	091
				オオヨモギ	333
				オオトラノオ	262
				オクエゾサイシン	123
				オクミチヤナギ	084下
				オグルマ	360
				オンダ	014
				オンダ科	014-021
				オンジャグジソウ	038
				オーチャード	428
				オトギリソウ	127
				オトギリソウ科	127
				オトコエン	322
				オトコヨモギ	331
				オナモミ	381
				オニイタヤ	201
				オニウシノケグサ	435
				オニグルミ	045
				オニシモツケ	156
				オニタビラコ	382
				オニツルウメモドキ	205
				オニノゲシ	375
				オニノヤガラ	498
				オノエヤナギ	050
				オミナエン科	322
				オロシヤギク	366
				[カ]	
				カエデ科	197-202
				ガガイモ	277
				ガガイモ科	276-278
				カサスゲ	472
				カシワ	060
				カスミザクラ	169
				カタクリ	389
				カタバミ	187
				カタバミ科	187-188
				カワラ	105

カツラ科	105	クマイチゴ	171	サクラソウ科	262-266	スズメノヤリ	415
カニツリグサ	461	クマツヅラ科	289-291	サクラ属	169下	スズラン	386
カノツメソウ	255	グミ科	216	ササバギンラン	496	ズダクシュ	151
カバノキ科	052-058	クモキリソウ	501	ザゼンソウ	464	スベリヒユ科	089
ガマ	466	クモノスンダ	013	サッポロスゲ	485	スミレ科	217-224
ガマ科	466	クリ	059	サトイモ科	462-465	スモモ	166
ガマズミ	319	クリソソウ	265	サナエタデ	080	セイタカスズムシソウ	500
カマツカ	164	クルマバソウ	279	サビタ	147	セイヨウタンポポ	380
カモガヤ	428	クルマバツクバネソウ	398	サランナショウマ	113	セイヨウノコギリソウ	327
カヤツリグサ科	467-494	クルマバタ	293	サルナシ	125	セイヨウヤマガラシ	132
カウコギカエデ	198	クルマムグラ	285	サワソバ	056	セリ	251
カウハナソウ	064	クルマユリ	395	サワヒヨドリ	356	セリ科	243-256
カウフトアカバタ	232	クルマミ科	045	サンシキスミレ	222	ゼンテイカ	392
カウフトホソバハコバ	099	クロスマハライ	493	サンショウ	193	セントウソウ	248
カラムツ	041	クロビイタヤ	200	シウリザクラ	168	センボンヤリ	365
カラムツソウ	117	クロミノエンレイソウ	404	シオデ	403	ゼンマイ	008
カリガネソウ	290	クワ科	064-065	シコタンキンボウゲ	114	ゼンマイ科	007-008
カワラスゲ	476	ケン科	128-130	シソ科	292-308	センリョウ科	121-122
ガンクビソウ	345	ケナシナルガヤ	421	シナノキ	213	[タ]	
カンボク	320	ケヤマウコギ	237	シナノキ科	213-214	ダイコンソウ	159
キキョウ科	323-325	ケヤマハノノキ	052	シバムギ	433	タカアザミ	352
キク科	326-382	ケンタッキ-ブルーグラス	452	シヤク	247	タガネソウ	488
キクムグラ	281	ゲンノショウコ	189	ジャコウソウ	292	タチヌノフグリ	313
キジカクシ	384	ゴウソ	481	ジュウモンジシダ	021	タチギボウシ	393
キショウブ	410	コウゾリナ	368	シュスラン属	498下	タチツボスミレ	217
キタコブシ	102	コウボウ	440	シュロソウ	408	タチハコバ	092
キタゴヨウ	044	コウヤワラビ	035	ショウジョウスゲ	469	タチヤナギ	051
キタノコギリソウ	326	コウライテンナンショウ	462	シラオイエンレイソウ	405下	タツノヒゲ	429
キタミフクジュソウ	108	コウリントンポ	358	シラカンバ	055	タデ科	073-088
キツネガヤ	423	コクワ	125	シラコスゲ	486	タニガワスゲ	475
キツネノボタン	116	コケイラン	503	シラネアオイ	119	タニギキョウ	325
キツリフネ	203	コメウツギ	177	シラネアオイ科	119	タニソバ	077
キハダ	192	コシアブラ	238	シラネワラビ	015	タニタデ	229
キバナノアマナ	391	コンカギク	366	シラヤマギク	339	タニヘゴ	018
ギョウジャニンニク	383	コンロネ	299	シロザ	100	タニミツバ	254
ギヨスミウツボ	315	ゴトウツル	148	シロツメクサ	184	タネツケバナ	134
キレハイスガラシ	140	コナスビ	263	シロネ	297	トラノギ	241
キンエノコロ	457	コナラ	062	シロバネエンレイソウ	406	チゴリ	388
キンボウゲ科	106-118	コスカグサ	418	ジンチョウゲ科	215	チシマアザミ	350
キンミズヒキ	153	コバギボウシ	393	ジンヨウイチヤクソウ	259	チシマオドリコソウ	296
クサイ	414	コバノイシカグマ科	009-010	スイカズラ科	318-320	チシマネコノメソウ	145
クサギ	291	コバノイラクサ	070	スイバ	086	チモン	449
クサコアカソ	066	ゴボウ	330	スカンタゴボウ	139	チョウセンゴミシ	104
クサソテツ	033	ゴマノハダサ科	310-314	スギナ	002	チョウセンゴヨウ	043
クサノオウ	128	コメナモミ	372	ススキ	443	ツダ科	210
クサフジ	186	コンロンソウ	135	スズタケ	456	ツタウルシ	195
クサヨシ	448	[サ]		スズムシソウ	502	ツツジ科	260-261
クサレダマ	264	サカゲイノデ	020	スズメノカタビラ	451	ツボスミレ	223
クジャクシダ	011	サクラソウ	266	スズメノテッポウ	419	ツメクサ	093

北海道大学農学部附属牧場の維管束植物相

ツクサ	417	ヌカキビ	446	ヒトリシズカ	121	ホソバトウゲンバ	001
ツクササネ	417	ネコノメソウ	143	ヒナスミレ	221	ホソバノアマナ	396
ツリガネニンジン	323	ネコヤナギ	046	ヒメアマナ	390	ホソバノツルリンドウ	274
ツリバナ	207	ネジバナ	505	ヒメイ	413	ホソバノヨツバムグラ	284
ツリフネソウ	204	ネズミガヤ	445	ヒメイズイ	399	ボタン科	124
ツリフネソウサネ	203-204	ネナシカズラ	286	ヒメイチゲ	109	ホテイシダ	036
ツルアジサイ	148	ネバリノギク	337	ヒメイヌビエ	432	[マ]	
ツルウメモドキ	205	ノイバラ	170	ヒメキンミズヒキ	152	マイヅルソウ	397
ツルニガクサ	308	ノガリヤス	425	ヒメクサ	491	マキバヌマハコバ	089
ツルネコノメソウ	142	ノゲシ	376	ヒメコウガイゼキショウ	412	マタタビ	126
ツルアジバカマ	185	ノハナショウブ	409	ヒメサゼソウ	465	マタタビ科	125-126
ツルボ	401	ノビネチドリ	499	ヒメジョ	302	マツ科	040-044
ツルマサキ	206	ノブキ	328	ヒメシダ科	022-023	マツササ科	104
ドイトウトウ	042	ノブドウ	211	ヒメジョオン	377	マツヨイセンノウ	094
トウゲンバ	001	ノボロギク	371	ヒメシラスゲ	482	マムシグサ	462
トウダイグサ科	191	ノミノフスマ	095	ヒメシロネ	297	マメ科	178-186
トキワハゼ	310	ノリウツギ	147	ヒメスイバ	087	マメゲンバイナズナ	137
トクサ	003	[ハ]		ヒメチチコグサ	357	マユミ	208
トクササネ	002-003	バアソブ	324	ヒメナミキ	305	マルバネコノメソウ	146
ドジョウツナギ	438	ハイキンボウゲ	115	ヒメノガリヤス	427	マルミノウルシ	191
ドスナラ	271	バイケイソウ	407	ヒメヘビイチゴ	160	ミカン科	192-193
トドマツ	040	ハウチワカエデ	199	ヒメムカシヨモギ	354	ミズ	068
トボシガラ	436	ハエドクソウ	316	ヒユ科	101	ミズキ	236
トールフェスク	435	ハエドクソウ科	316	ヒヨドリバナ	355	ミズキ科	236
トンボソウ	506	ハクウンボク	267	ヒルガオ科	286	ミズタマソウ	230
[ナ]		ハコバ	097	ヒロードスゲ	474	ミズナラ	061
ナガハグサ	452	ハンDOI	271	ヒロハノウシノケグサ	437	ミズバショウ	463
ナガバハエドクソウ	316	ハタベスゲ	479	ヒロハノキハダ	192	ミズヒキ	073
ナガバヤナギ	050	ハッカ	301	ヒロハノドジョウツナギ	439	ミズワラビ科	011-012
ナガボノシロワレモコウ	174	ハナタデ	083	ヒロハノハネガヤ	459	ミソソバ	082
ナガホノナツノハナワラビ	005	ハナマダリスゲ	485	フウロソウ科	189-190	ミソハギ科	227
ナギナタコウジュ	295	ハナヤスリ科	004-006	フクジュソウ	108	ミソオズキ	311
ナス科	309	ハネガヤ	460	フクリシズカ	122	ミヤナギ	084
ナズナ	133	ハマウツボ科	315	フッキソウ	210	ミヤナギ属	084下
ナツノハナワラビ	006	バラ科	152-177	フデリンドウ	273	ミツデカエデ	197
ナツハゼ	261	ハリギリ	242	ブドウ科	211-212	ミツバ	249
ナデシコ科	090-099	ハルガヤ	421	ブナ科	059-062	ミツバウツギ	209
ナニワズ	215	ハルザキヤマガラシ	132	フランスギク	348	ミツバウツギ科	209
ナルコスゲ	471	ハルニレ	063	ヘビイチゴ	155	ミツバツチグリ	162
ナワシロイチゴ	173	ハンゴンソウ	370	ヘビノネゴサ	028	ミツバフウロ	190
ニガキ	194	ハンノキ	050	ヘラバヒメジョオン	378	ミツバベンケイソウ	141
ニガキ科	194	ヒオウギアヤメ	411	ベンケイソウ科	141	ミツモトソウ	161
ニガナ	361	ヒカゲスゲ	478	ベンベングサ	133	ミノボロスゲ	467
ニコゲヌカキビ	447	ヒカゲスミレ	224	ホウチャクソウ	387	ミミナグサ	090
ニシキギ科	205-208	ヒカゲノカズラ科	001	ホオノキ	103	ミヤコササ	455
ニョイスミレ	223	ヒカゲハリスゲ	483	ホガエリガヤ	424	ミヤマアキノキリンソウ	374
ニリンソウ	110	ヒゴクサ	477	ホザキシモツケ	176	ミヤマエンレイソウ	406
ニレ科	063	ヒダカエンレイソウ	406上	ホソイノデ	019	ミヤマキヌタソウ	282
ニワホコリ	434	ヒトツバハンゴンソウ	370	ホソバシケンダ	030	ミヤマザクラ	165

ミヤマシセンダ	032	ヤマスズメノヒエ	416	Adenophora	323	Barbarea	132
ミヤマシラスゲ	473	ヤマツツジ	260	Adiantum	011	Berberidaceae	120
ミヤスマシ	220	ヤマドリゼンマイ	007	Adonis	108	Berberis	120
ミヤマニガウリ	226	ヤマニガナ	363	Adoxa	321	Betula	054-055
ミヤマネズミガヤ	444	ヤマネコノメソウ	144	Adoxaceae	321	Betulaceae	052-058
ミヤマノキシノブ	037	ヤマハギ	180	Agrimonia	152-153	Bidens	340
ミヤマハコベ	098	ヤマハタザオ	131	Agrostis	418	Boehmeria	066
ミヤマベニシダ	016	ヤマハッカ	304	Alangiaceae	235	Boraginaceae	288
ミヤマメシダ	025	ヤマハハコ	329	Alangium	235	Botrychium	004-006
ミヤマヤブタバコ	347	ヤマブキショウマ	154	Allium	383	Brachypodium	422
ミヤマワラビ	023	ヤマブドウ	212	Alnus	052-053	Brassicaceae	
ムカゴイラクサ	067	ヤマミソイチゴツナギ	453	Alopecurus	419-420		131-140
ムラサキ科	288	ユウシュンラン	495	Amaranthaceae	101	Breea	341
ムラサキケマン	130	ユウゼンギク	338	Ampelopsis	211	Bromus	423
ムラサキシキブ	289	ユキザサ	402	Amphicarpaea	178	Brylkinia	424
ムラサキツメクサ	183	ユキノシタ科	142-151	Anacardiaceae		Buxaceae	210
メギ	120	ユリ科	383-408		195-196	[C]	
メギ科	120	ヨシ	450	Anaphalis	329	Cacalia	342-343
メンダ科	024-035	ヨブスマソウ	343	Anemone	109-111	Calamagrostis	
メドウフェスク	437	ヨモギ	334	Angelica	243-246		425-427
メドハギ	181	[ラ]		Antenoron	073	Callicarpa	289
メナモミ	372	ラン科	495-506	Anthoxanthum	421	Caltha	112
メヒシバ	430	リードカナリ-グラス	448	Anthriscus	247	Campanulaceae	
メマツヨイグサ	234	リンドウ科	272-275	Apiaceae	243-256		323-325
モイワボダイジュ	214	ルイヨウショウマ	107	Arabis	131	Caprifoliaceae	
モクセイ科	268-271	レッドトップ	418	Araceae	462-465		318-320
モクレン科	102-103	レンブクソウ	321	Aralia	240-241	Capsella	133
モミジガサ	342	レンブクソウ科	321	Araliaceae	237-242	Cardamine	134-136
[ヤ]		[ワ]		Arctium	330	Cardiocrinum	385
ヤガミスゲ	480	ワラビ	010	Arisaema	462	Carex	467-490
ヤチダモ	269			Aristolochiaceae		Carpesium	344-347
ヤドリギ	072				123	Carpinus	056-057
ヤドリギ科	072	Index of Genus and		Artemisia	331-334	Caryophyllaceae	
ヤナギ科	046-051	Family Names		Aruncus	154		090-099
ヤナギタデ	074			Asclepiadaceae		Caryopteris	290
ヤナギタンホホ	359	[A]			276-278	Castanea	059
ヤノネグサ	078	Abies	040	Asiasarum	123	Celastraceae	
ヤブヅラミ	256	Acanthopanax		Asparagus	384		205-208
ヤブタバコ	344		237-239	Asperula	279	Celastrus	205
ヤブタビラコ	364	Acer	197-202	Aspleniaceae	013	Cephalanthera	
ヤブニンジン	252	Aceraceae	197-202	Asplenium	013		495-496
ヤブハギ	179	Achillea	326-327	Aster	335-339	Cerastium	090
ヤブマメ	178	Achyranthes	101	Asteraceae	326-382	Cercidiphyllaceae	
ヤマアワ	426	Aconitum	106	Athyriaceae			105
ヤマイヌワラビ	027	Actaea	107		024-035	Cercidiphyllum	105
ヤマウルシ	196	Actinidia	125-126	Athyrium	024-028	Chamaele	248
ヤマカモジグサ	422	Actinidiaceae		[B]		Chelidonium	128
ヤマグワ	065		125-126	Balsaminaceae		Chelonopsis	292
ヤマシキヤク	124	Adenocaulon	328		203-204	Chenopodiaceae	100

北海道大学農学部附属牧場の維管束植物相

Chenopodium 100	Duchesnea 155	[H]	Lythraceae 227
Chimaphila 257	[E]	Hemerocallis 392	Lythrum 227
Chloranthaceae 121-122	Echinochloa 432	Heracleum 250	[M]
Chloranthus 121-122	Elaeagnaceae 216	Hieracium 358-359	Maackia 182
Chrysanthemum 348	Elaeagnus 216	Hierochloe 440	Magnolia 102-103
Chrysosplenium 142-146	Eleocharis 493	Hosta 393	Magnoliaceae 102-103
Cimicifuga 113	Elsholtzia 295	Hydrangea 147-148	Maianthemum 397
Circaea 228-230	Elymus 433	Hylotelephium 141	Matricaria 366
Cirsium 349-353	Epilobium 231-233	Hypericaceae 127	Matteuccia 033
Clerodendron 291	Equisetaceae 002-003	Hypericum 127	Mazus 310
Clinopodium 293-294	Equisetum 002-003	Humulus 064	Mentha 301
Codonopsis 324	Eragrostis 434	[I]	Metaplexis 277
Coeloglossum 497	Ericaceae 260-261	Impatiens 203-204	Microstegium 441
Commelina 417	Erigeron 354	Inula 360	Milium 442
Commelinaceae 417	Erythronium 389	Iridaceae 409-411	Mimulus 311
Compositae 326-382	Euonymus 206-208	Iris 409-411	Miscanthus 443
Coniogramme 012	Eupatorium 355-356	Ixeris 361-362	Moehringia 091-092
Convallaria 386	Euphorbia 191	[J]	Montia 089
Convolvulaceae 286	Euphorbiaceae 191	Juglandaceae 045	Moraceae 064-065
Cornaceae 236	[F]	Juglans 045	Morus 065
Cornopteris 029	Fabaceae 178-186	Juncaceae 412-416	Mosla 302
Corydalis 129-130	Fagaceae 059-062	Juncus 412-414	Muhlenbergia 444-445
Crassulaceae 141	Festuca 435-437	[K]	Myosotis 288
Cruciferae 131-140	Filipendula 156-157	Kalopanax 242	[O]
Cryptotaenia 249	Fraxinus 268-269	[L]	Oenanthe 251
Cucurbitaceae 225-226	[G]	Labiatae 292-308	Oenothera 234
Cuscuta 286	Gagea 390-391	Lactuca 363	Oleaceae 268-271
Cynanchum 276	Galeopsis 296	Lamiaceae 292-308	Onagraceae 228-234
Cyperaceae 467-494	Galium 280-285	Laportea 067	Onoclea 034-035
Cyperus 491-492	Gastrodia 498	Lapsana 364	Ophioglossaceae 004-006
[D]	Gentiana 272-273	Larix 041	Orchidaceae 495-506
Dactylis 428	Gentianaceae 272-275	Leguminosae 178-186	Oreorchis 503
Daphne 215	Geraniaceae 189-190	Leibnitzia 365	Orobanchaceae 315
Dennstaedtiaceae 009-010	Geranium 189-190	Lepidium 137	Osmorhiza 252
Dennstaedtia 009	Geum 158-159	Lepisorus 036-037	Osmunda 007-008
Deparia 030-032	Glaucidiaceae 119	Lespedeza 180-181	Osmundaceae 007-008
Desmodium 179	Glaucidium 119	Ligustrum 270	Ostrya 058
Diarrhena 429	Glyceria 438-439	Liliaceae 383-408	Oxalidaceae 187-188
Digitaria 430-431	Gnaphalium 357	Lilium 394-395	Oxalis 187-188
Disporum 387-388	Goodyera 498下	Liparis 500-502	[P]
Dryopteridaceae 014-021	Gramineae 418-461	Lloydia 396	Pachysandra 210
Dryopteris 014-018	Guttiferae 127	Loranthaceae 072	Paeonia 124
	Gymnadenia 499	Luzula 415-416	Paeoniaceae 124
	Gynostemma 225	Lycopodiaceae 001	
		Lycopodium 001	
		Lycopus 297-300	
		Lysichiton 463	
		Lysimachia 262-264	

Panicum 446-447	Pterygocalyx 274	Simaroubaceae 194	Ulmus 063
Papaveraceae 128-130	Pyrola 258-259	Sium 254	Umbelliferae 243-256
Paris 398	Pyrolaceae 257-259	Smilacina 402	Urtica 070-071
Parkeriaceae 011-012	Pyrrosia 039	Smilax 403	Urticaceae 066-071
Patrinia 322	[Q] Quercus 060-062	Solanaceae 309	[V] Vaccinium 261
Peracarpa 325	[R] Rabbosia 304	Solanum 309	Valerianaceae 322
Persicaria 074-083	Ranunculaceae 106-118	Solidago 373-374	Veratrum 407-408
Petasites 367	Ranunculus 114-116	Sonchus 375-376	Verbenaceae 289-291
Phacellanthus 315	Reynoutria 085	Sorbus 175	Veronica 313
Phalaris 448	Rhododendron 260	Spiraea 176	Veronicastrum 314
Phellodendron 192	Rhus 195-196	Spiranthes 505	Viburnum 319-320
Phleum 449	Rorippa 138-140	Spodiopogon 458	Vicia 185-186
Phragmites 450	Rosa 170	Spuriopimpinella 255	Viola 217-224
Phryma 316	Rosaceae 152-177	Staphylea 209	Violaceae 217-224
Phrymaceae 316	Rubiaceae 279-285	Staphyleaceae 209	Viscum 072
Picea 042	Rubus 171-173	Stellaria 095-099	Vitaceae 211-212
Picrasma 194	Rudbeckia 369	Stenactis 377-378	Vitis 212
Picris 368	Rumex 086-088	Stephanandra 177	[X] Xanthium 381
Pilea 068-069	Rutaceae 192-193	Stipa 459-460	[Y] Youngia 382
Pinaceae 040-044	[S] Sagina 093	Styracaceae 267	[Z] Zanthoxylum 193
Pinus 043-044	Salicaceae 046-051	Styrax 267	
Plantaginaceae 317	Salix 046-051	Swertia 275	
Plantago 317	Sambucus 318	Swida 236	
Platanthera 504	Sanguisorba 174	Symplocarpus 464-465	
Poa 451-454	Sanicula 253	Syringa 271	
Poaceae 418-461	Sasa 455	[T] Taraxacum 379-380	
Polemoniaceae 287	Sasamorpha 456	Teucrium 308	
Polemonium 287	Saxifraga 149	Thalictrum 117-118	
Polygonaceae 073-088	Saxifragaceae 142-151	Thelypteridaceae 022-023	
Polygonatum 399-400	Schisandra 104	Thelypteris 022-023	
Polygonum 084	Schisandraceae 104	Thymelaeaceae 215	
Polypodiaceae 036-039	Schizopepon 226	Tiarella 151	
Polypodium 038	Schizophragma 150	Tilia 213-214	
Polystichum 019-021	Scilla 401	Tiliaceae 213-214	
Portulacaceae 089	Scirpus 494	Torilis 256	
Potentilla 160-163	Scrophularia 312	Trifolium 183-184	
Pourthiaea 164	Scrophulariaceae 310-314	Trillium 404-406	
Primula 265-266	Scutellaria 305-307	Trisetum 461	
Primulaceae 262-266	Senecio 370-371	Tulotis 506	
Prunella 303	Setaria 457	Tylophora 278	
Prunus 165-169	Siegesbeckia 372	Typha 466	
Pteridium 010	Silene 094	Typhaceae 466	
		[U] Ulmaceae 063	